

第2次春日部市総合振興計画

重点プロジェクト

《子育て・健康長寿プロジェクト》

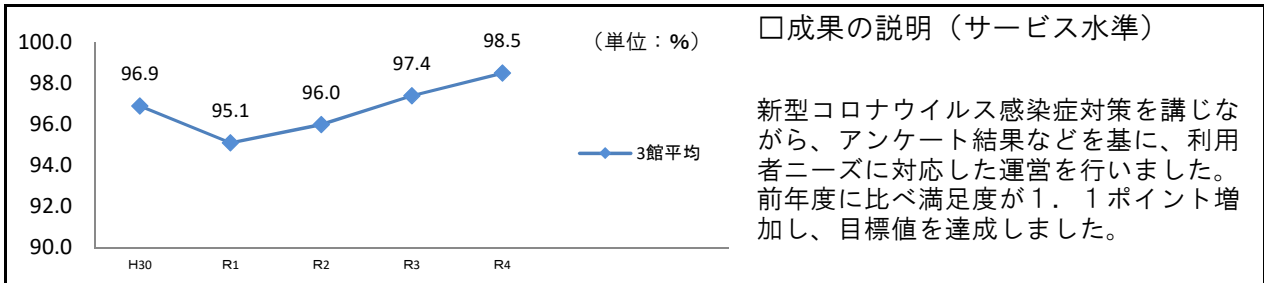
進捗管理シート

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

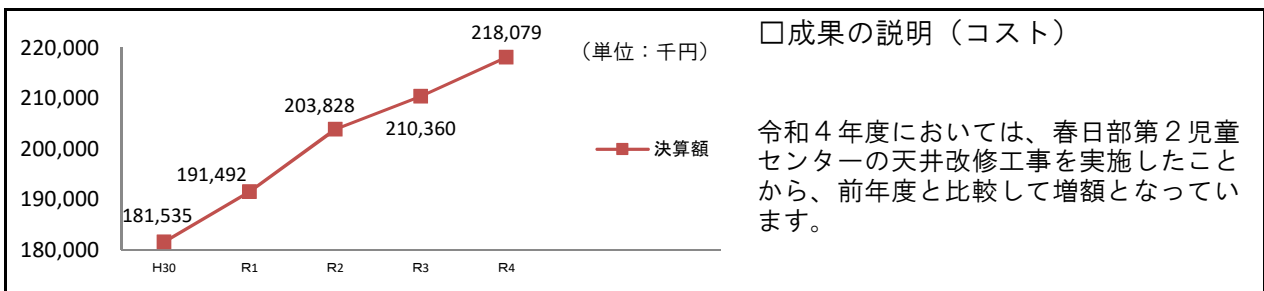
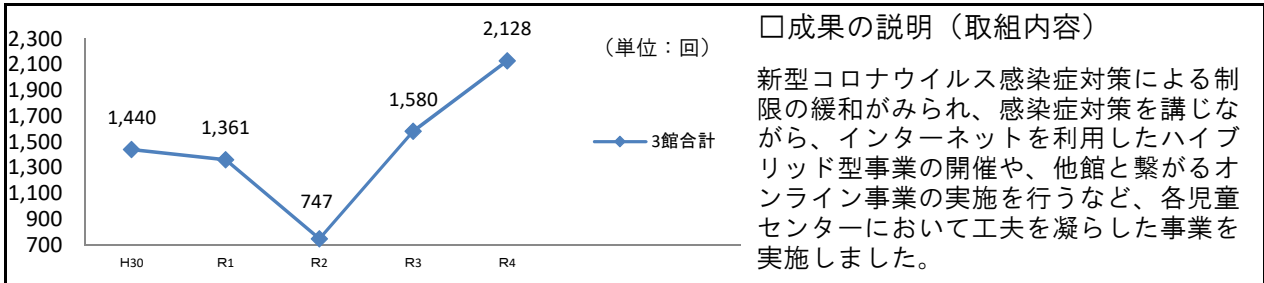
施策番号	1-1-1	実施計画No.	1	重点プロジェクトNo.	①-1	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	児童館運営事業					課名	こども政策課	
事業内容	児童の健全育成を図るため児童センターにおいて、さまざまな事業を展開することにより、子どもの居場所・遊び場の提供を行います。					事業開始年度	平成17年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	児童センター利用者の満足度				現状値 (平成29年度)	96.4%		
現状と課題	本市では、子どもが安心して過ごせる場所として、児童センターの整備を進めてきましたが、多種多様なニーズに対応できる、より充実した子どもの居場所づくり、遊び場づくりが求められています。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	96.7%	97.0%	97.3%	97.6%	98.0%
成果指標の実績値	96.9%	95.1%	96.0%	97.4%	98.5%
達成率	100.2%	98.0%	98.7%	99.8%	100.5%
決算額(千円)	181,535	191,492	203,828	210,360	218,079

1 児童センター利用者の満足度



2 児童センター事業実施数



令和4年度の 評価	各児童センターで実施しているアンケート結果などを基に、利用者のニーズに対応した事業を実施し、問題点等は即座に改善を図るなどの対応を取っています。 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、利用人数や利用時間の制限を行いながらの運営をしていましたが、令和4年9月から、利用人数及び利用時間の制限を解除し、運営しております。制限を緩和するとともに、利用者が安心安全に利用できるよう、消毒や換気等の基本的な対策を講じ、工夫を凝らした事業を実施したことで、満足度が前年度を上回ったと考えています。	
今後の 方向性	現状維持	今後も、利用者のニーズに沿った多様な事業を展開し、より充実した子どもの居場所づくりを進めていきます。

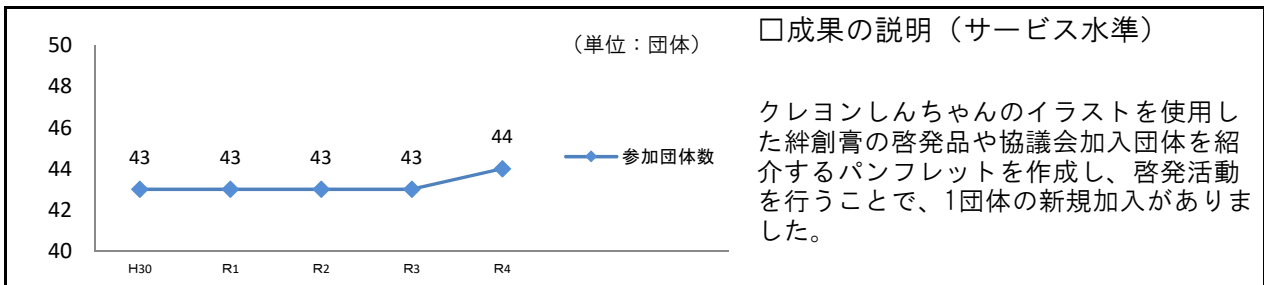
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

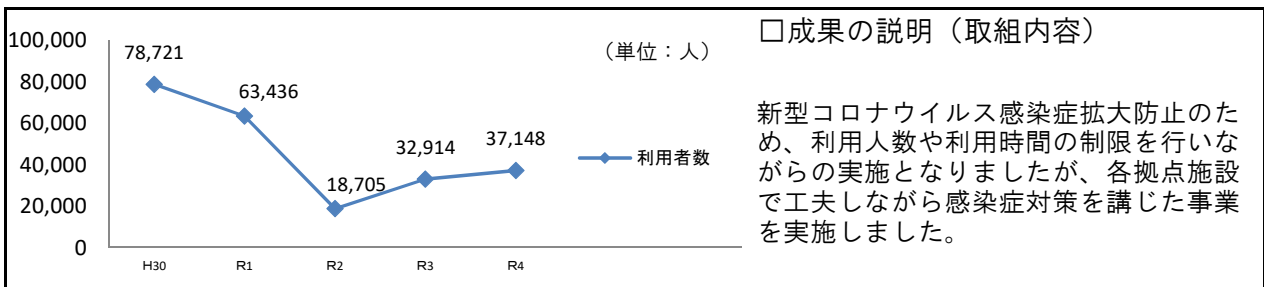
施策番号	1-1-1	実施計画No.	4	重点プロジェクトNo.	①-2	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	地域子育て推進事業					課名	こども政策課	
事業内容	地域で子育てを支援する地域子育て支援拠点施設や子育て支援団体の充実を図るため、子育て支援活動のネットワーク化を推進し、地域全体で子育てを応援します。					事業開始年度	平成21年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	地域子育て支援協議会参加団体数				現状値 (平成29年度)	41団体		
現状と課題	核家族化が進むなか、家庭における子育てにかかる負担は大きく、乳幼児を養育する家庭の孤立化を防ぐためにも、地域における子育て支援の充実と併せて、情報提供・相談体制の充実などのきめ細かな支援が求められています。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	43団体	44団体	45団体	46団体	47団体
成果指標の実績値	43団体	43団体	43団体	43団体	44団体
達成率	100.0%	97.7%	95.6%	93.5%	93.6%
決算額(千円)	16,115	18,947	19,566	21,536	29,043

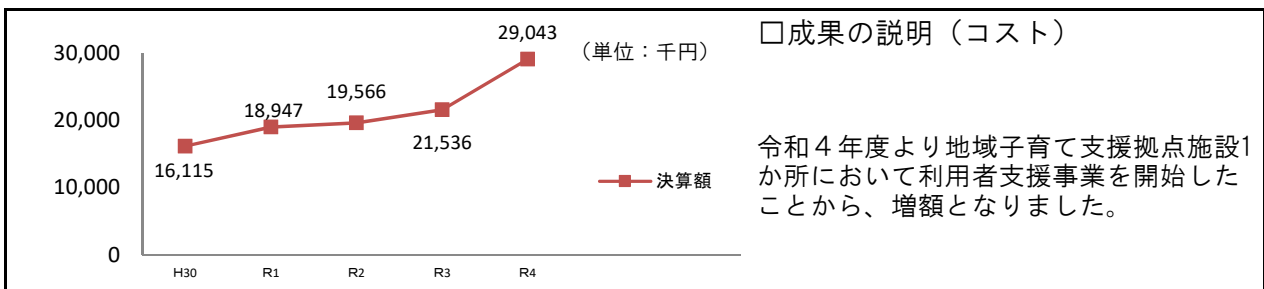
1 地域子育て支援協議会参加団体数の推移



2 地域子育て支援拠点施設延べ利用者数の推移



3 決算額の推移



令和4年度の評価	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、研修会は開催を中止しましたが、地域子育て支援協議会独自事業である「かすかべM・A・C（マック）子育てホットひろば」については感染防止対策を取りながら開催しました。昨年度と同様にクレヨンしんちゃんのイラストを使用した絆創膏の啓発品を作成し、協議会のパンフレットとともに加入団体に協力いただきながら啓発活動を行うことで新規加入団体を迎えることができました。	
今後の方向性	現状維持	今後も、新型コロナウイルス感染症対策を徹底したうえで、活動を進めていくとともに、様々な方法で情報発信していき、参加団体数の増加に努めます。

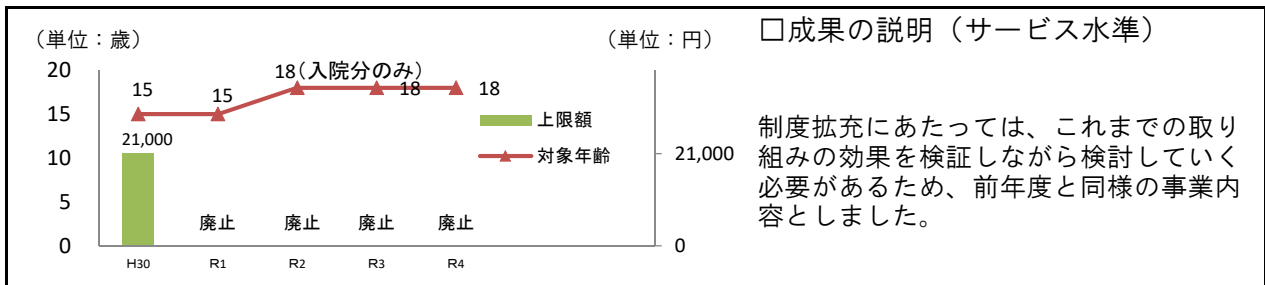
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

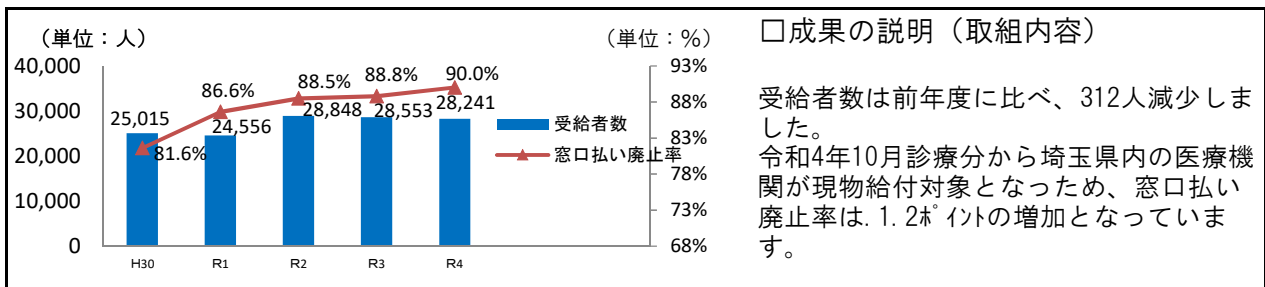
施策番号	1-1-1	実施計画No.	5	重点プロジェクトNo.	①-3	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	子ども医療費支給事業					課名	子ども政策課	
事業内容	子どもの保健の向上と福祉の増進を図るため、医療費の保険診療における自己負担額を支給します。					事業開始年度	平成17年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	助成対象年齢及び窓口払いが不要となる医療費の上限額				現状値 (平成29年度)	対象年齢：15歳 上限額：21,000円		
現状と課題	これまで、段階的に拡充を図ってきましたが、子どもたちが必要な医療を安心して受けられる環境を整備していくため、更なる医療費助成制度の拡充が求められています。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	対象年齢：15歳 上限額：廃止検討	対象年齢：拡充検討 上限額：廃止実施	対象年齢：拡充実施 上限額：廃止実施	対象年齢：拡充実施 上限額：廃止実施	対象年齢：拡充実施 上限額：廃止実施
成果指標の実績値	対象年齢：15歳 上限額：21,000円	対象年齢：拡充検討 上限額：廃止実施	対象年齢：拡充実施(入院) 上限額：廃止実施	対象年齢：拡充実施(入院) 上限額：廃止実施	対象年齢：拡充実施(入院) 上限額：廃止実施
達成率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
決算額(千円)	673,711	670,191	506,188	577,590	614,740

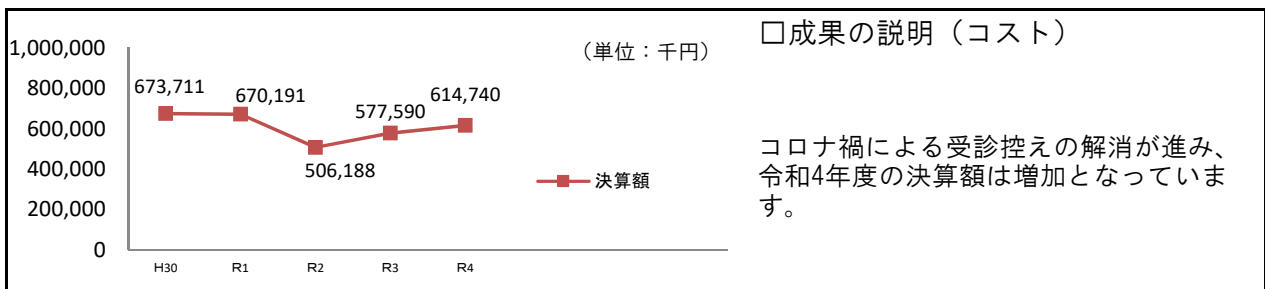
1 助成対象年齢及び窓口払いが不要となる医療費の上限額の推移



2 受給者数及び窓口払い廃止率の推移



3 決算額の推移



令和4年度の評価	令和4年10月診療分からの県内医療機関での窓口払い廃止（現物給付化）を滞りなく開始することができました。	
今後の方向性	現状維持	引き続き、これまでの取り組みの効果を検証しながら、対象年齢の拡充を含め、あらゆる角度から制度充実に向けた検討を進めていきます。

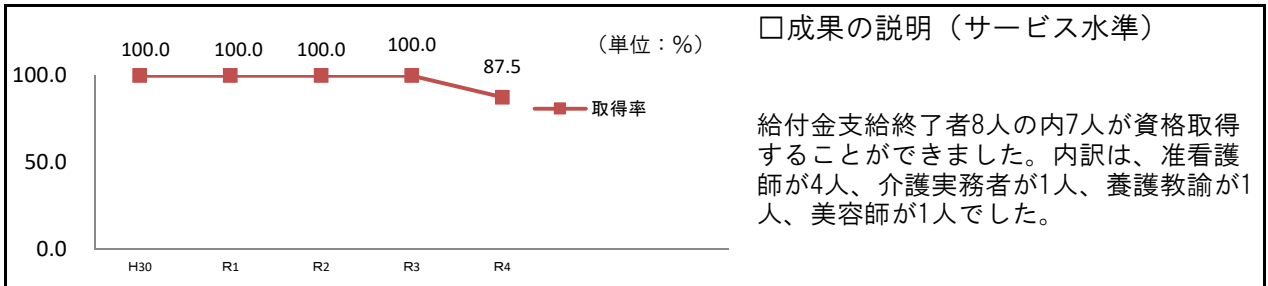
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

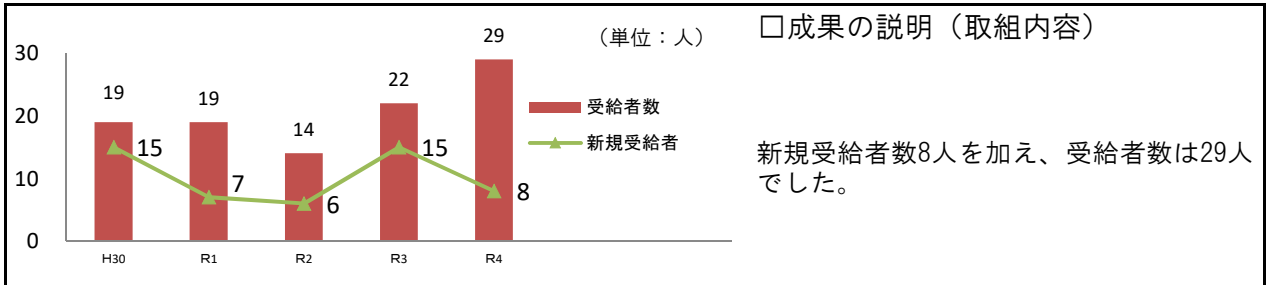
施策番号	1-1-1	実施計画No.	6	重点プロジェクトNo.	①-4	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	母子家庭等自立支援給付金事業					課名	こども政策課	
事業内容	母子家庭等の経済的自立を促進するため、高等技能訓練促進費を支給します。					事業開始年度	平成22年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	高等技能訓練促進費受給者の資格取得率				現状値 (平成29年度)	100.0%		
現状と課題	看護師や介護福祉士などの資格の取得を目指すひとり親家庭で、経済的な理由により、修業が困難な方に、高等職業訓練促進給付金を支給するものです。支給対象範囲が拡充されたことにもない、より一層の制度の周知や活用が求められています。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
成果指標の実績値	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	87.5%
達成率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	87.5%
決算額(千円)	20,678	24,962	18,606	26,845	33,617

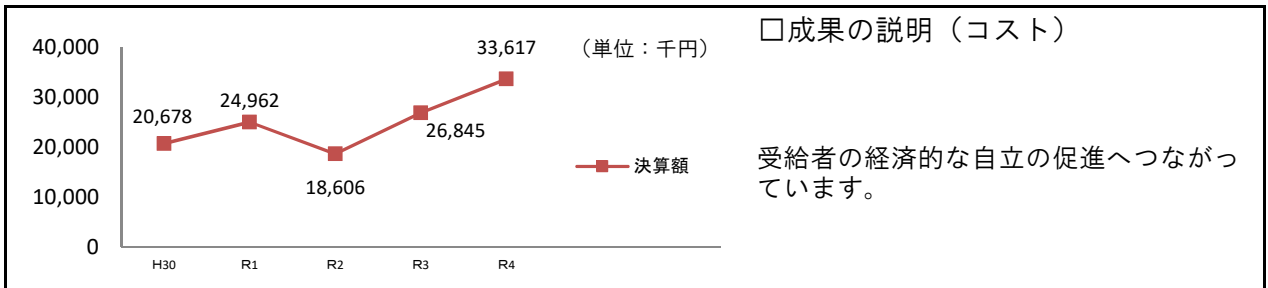
1 高等技能訓練促進費受給者の資格取得率



2 受給者数及び新規受給者数の推移



3 決算額の推移



令和4年度の評価	令和4年度は、給付金支給終了者8人の内7人（准看護師4名、介護実務者1名、養護教諭1名、美容師1名）が資格を取得しており、ひとり親世帯の経済的な自立の一助となっています。	
今後の方向性	現状維持	今後も、母子家庭等の自立促進に向け、児童扶養手当の現況届提出時等の機会を捉えて、制度を周知していきます。

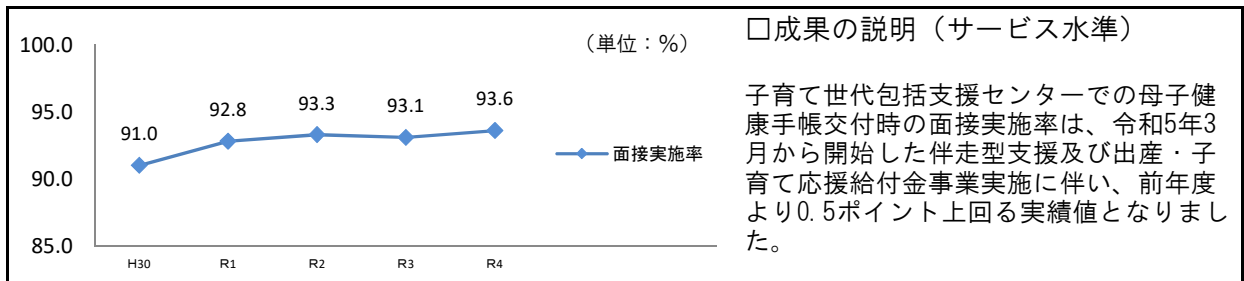
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

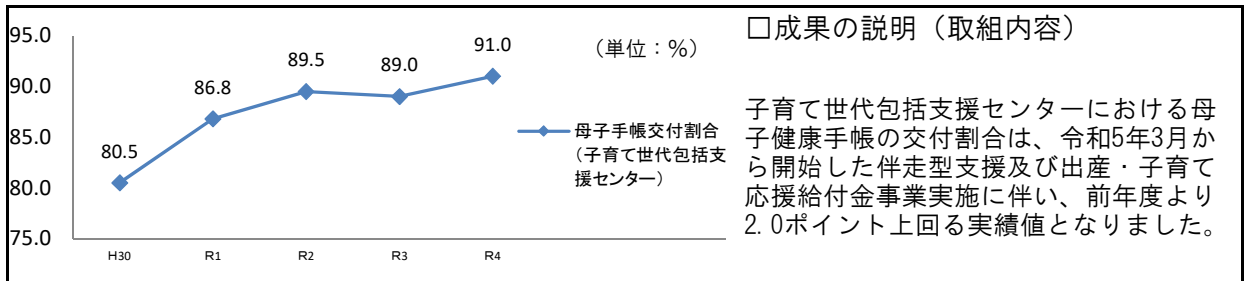
施策番号	1-1-1	実施計画No.	7	重点プロジェクトNo.	①-5	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	子育て世代包括支援センター運営事業					課名	こども相談課	
事業内容	助産師、保健師などの専門職が妊娠や出産、育児についての疑問や相談に対応するとともに、子どもに係る各種手続きなどができるワンストップ窓口を設置し、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援を行います。					事業開始年度	平成30年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	母子健康手帳交付時の助産師、保健師による面接実施率					現状値 (平成29年度)	平成30年度から	
現状と課題	母子健康手帳の交付時に助産師、保健師が面接を行い、妊婦の心身の状況を把握し、必要に応じて支援プランを作成し、継続した支援を行っています。妊婦の状況を把握するためには、子育て世代包括支援センターでの交付件数を増やしていくことが課題となっています。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	85.0%	92.0%	93.0%	94.0%	95.0%
成果指標の実績値	91.0%	92.8%	93.3%	93.1%	97.9%
達成率	107.1%	100.9%	100.3%	99.0%	103.1%
決算額(千円)	4,658	4,955	6,513	6,236	5,140

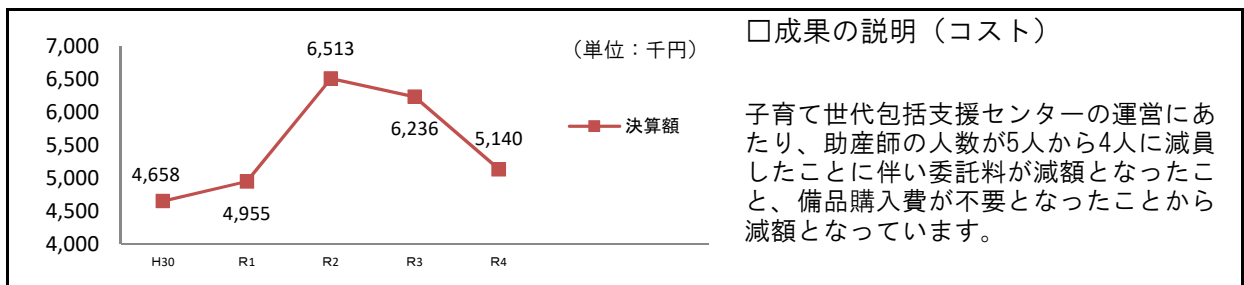
1 母子健康手帳交付時の助産師、保健師による面接実施率



2 母子手帳の交付割合（子育て世代包括支援センター）



3 決算額の推移



令和4年度の評価	子育て世代包括支援センターでの母子健康手帳の交付割合、面接実施率は増加傾向にあります。令和4年3月より出産・子育て応援事業を開始したことにより、面接やアンケートを実施することで、妊産婦などを包括的、継続的に支え、出産や子育てに対する不安の軽減に繋げる体制をより強化することができました。	
今後の方向性	現状維持	引き続き、面接やアンケートを実施し、妊娠期からのきめ細かい支援を行い、安心して子どもを産み育てられる体制づくりに努めます。

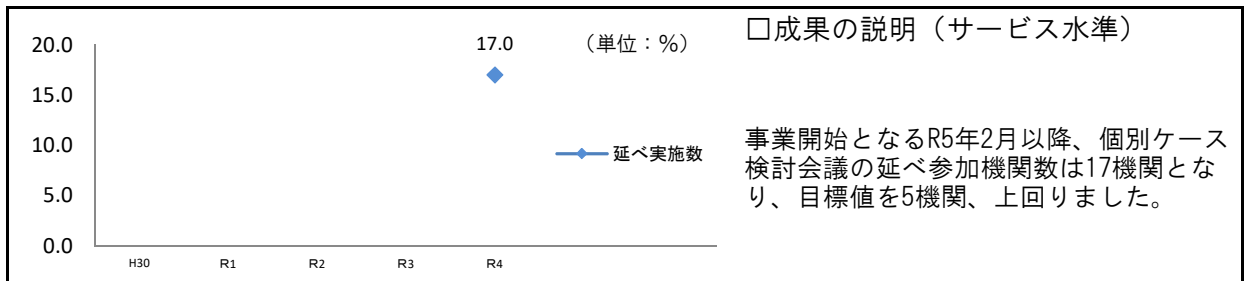
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

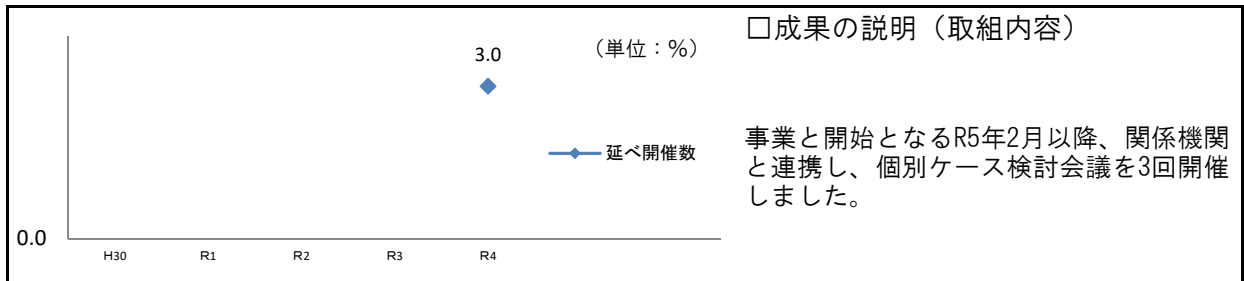
施策番号	1-1-1	実施計画No.	8	重点プロジェクトNo.	①-6	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	子ども家庭総合支援拠点運営事業					課名	こども相談課	
事業内容	子育てで家庭と妊産婦等を対象に、社会福祉士や保健師などの専門職が子育てに関する相談に応じ、必要な調査、情報の提供、訪問等による継続的な支援を行う。					事業開始年度	令和4年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	個別ケース検討会議延べ参加機関数				現状値 (平成29年度)	-		
現状と課題	子育てに関する相談窓口として個別具体的に相談対応を行うほか、相談者に適した各種行政サービスの活用を案内しました。 支援対象家庭の状況把握と、必要な支援や児童虐待要素の発見を目的に活用している、リスク評価シートの改訂が当面の課題となっております。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値					12機関
成果指標の実績値					17機関
達成率					141.7%
決算額(千円)					185

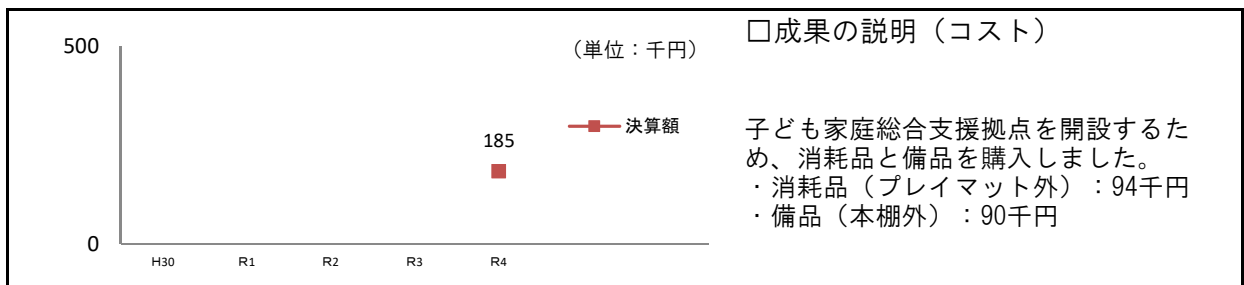
1 母子健康手帳交付時の助産師、保健師による面接実施率



2 母子手帳の交付割合（子育て世代包括支援センター）



3 決算額の推移



令和4年度の評価	必要に応じて個別ケース検討会議を開催し、支援対象家庭に関わる関係機関との連携を図りました。 また、ハイリスクな家庭環境の家庭については、要保護児童対策地域協議会においても支援方針を検討し、検討結果を個別ケース検討会議にフィードバックしました。	
今後の方向性	現状維持	引き続き、子育て家庭と妊産婦等からの相談に対し、社会福祉士や保健師などの専門職がきめ細かく相談に応じるとともに、必要に応じて関係機関と連携し、調査、情報共有、訪問等を行い、継続的な支援に努めます。

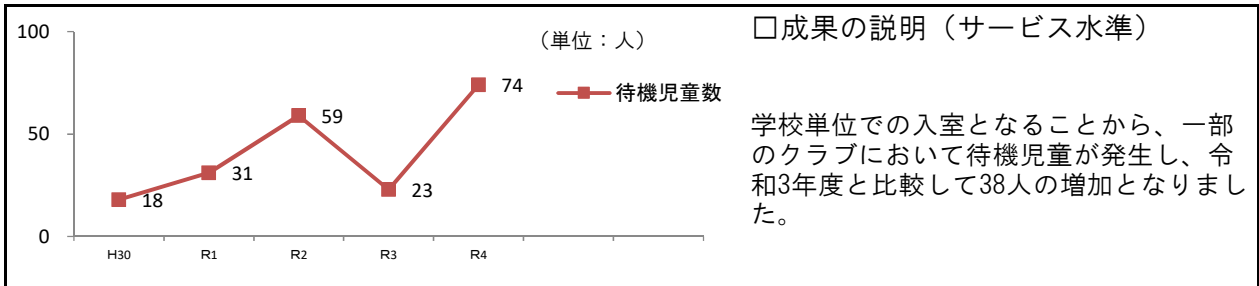
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

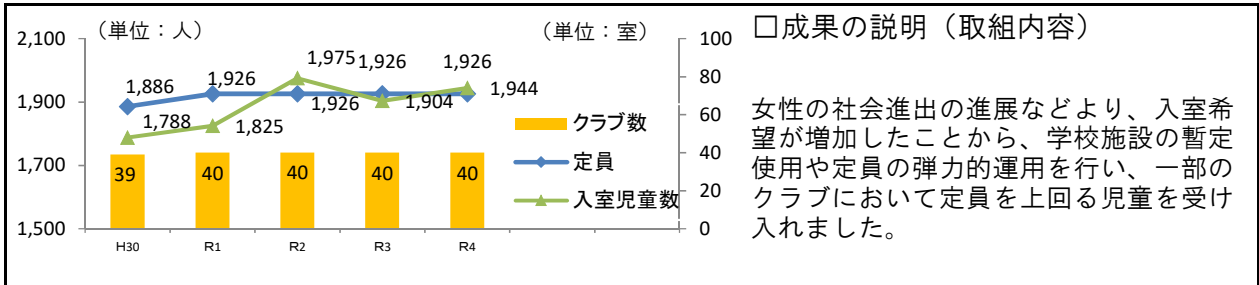
施策番号	1-1-2	実施計画No.	10	重点プロジェクトNo.	①-7	-	補助金No.	35	
事業名 (補助金名)	放課後児童健全育成事業					課名	保育課		
事業内容	指定管理者制度を導入している、市内公設の放課後児童クラブの管理運営を行います。					事業開始年度	平成17年度		
						事業見直し年度	令和2年度		
成果指標	放課後児童クラブ待機児童数					現状値 (平成29年度)	8人		
現状と課題	近年、女性の社会進出や家庭の就労形態の多様化など、児童を取り巻く環境の変化により、放課後児童クラブに対する利用ニーズは増加傾向にあり、受け入れ態勢の確保とともに、更なるサービスの向上が求められています。								

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	0人	0人	0人	0人	0人
成果指標の実績値	18人	31人	59人	23人	74人
達成率	99.0%	98.4%	96.9%	98.8%	96.2%
決算額(千円)	369,738	434,321	466,341	450,139	523,684

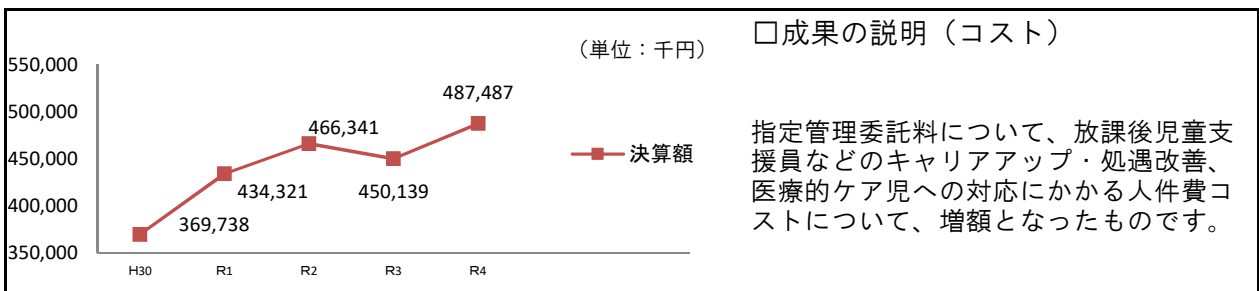
1 放課後児童クラブ待機児童数の推移



2 放課後児童クラブの定員、入室児童数及びクラブ数の推移



3 決算額の推移



令和4年度の 評価	令和4年度も定員を上回る入室希望者があり、教育委員会や学校と連携を図り学校施設の暫定利用や定員の弾力的運用を行い、受け入れ児童の増加を図りましたが、一部のクラブにおいて待機児童が発生しました。
今後の 方向性	<b>現状維持</b> 小学校の児童数は減少傾向にあるものの、放課後児童クラブの入室希望者数は増加傾向にあることから、引き続き保育需要の把握及び児童の受入環境の整備に努めるとともに、指定管理者による管理運営のメリットを活かし、更なる保育サービスの質の向上を目指します。

【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

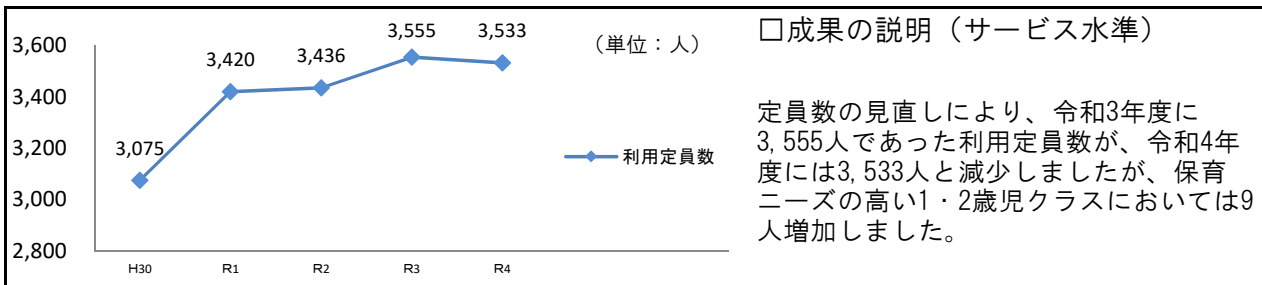


◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

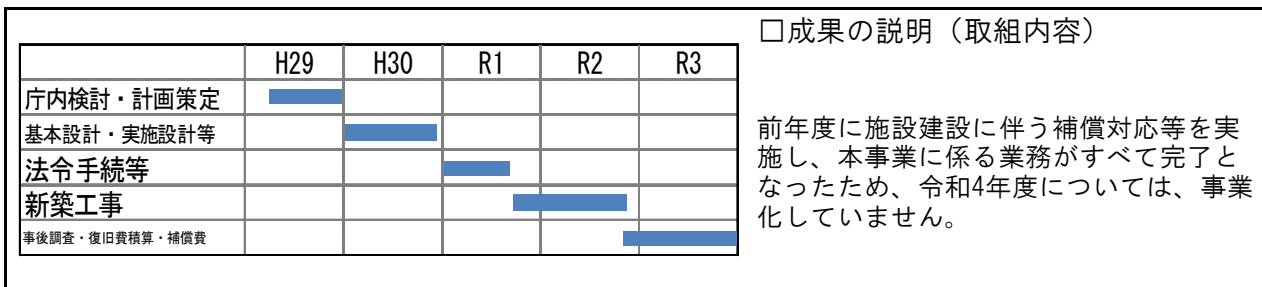
施策番号	1-1-2	実施計画No.	12・46	重点プロジェクトNo.	①-8	①-37	補助金No.	-	
事業名 (補助金名)	複合型子育て支援施設整備事業					課名	保育課		
事業内容	保育所（病児保育事業対応）及び児童発達支援センターの複合施設を整備し、令和3年4月開所を目指すものです。					事業開始年度	平成30年度		
						事業見直し年度	令和2年度		
成果指標	保育所等の利用定員数					現状値 (平成29年度)	2,812人		
現状と課題	令和3年度をもって事業が完了しています。								

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	3,099人	3,441人	3,460人	3,646人	3,646人
成果指標の実績値	3,075人	3,420人	3,436人	3,555人	3,533人
達成率	99.2%	99.4%	99.3%	97.5%	96.9%
決算額(千円)	72,407	116,878	9,710,544	22,111	—

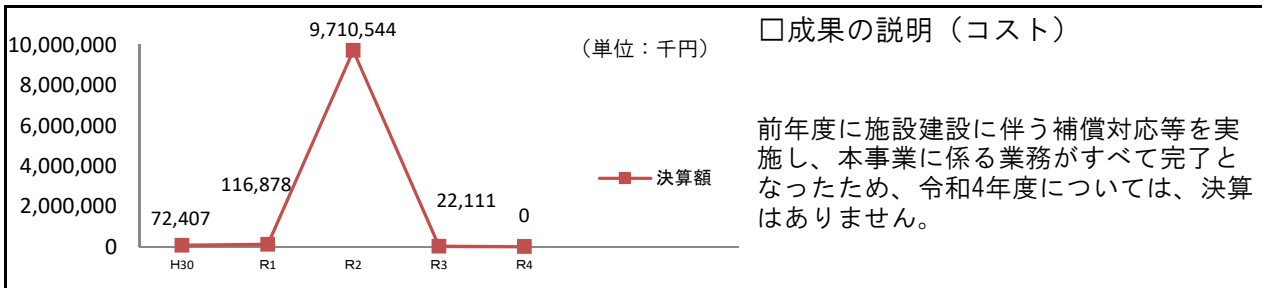
1 保育所等の利用定員数の推移



2 事業の進捗状況



3 決算額の推移



令和4年度の評価	前年度に本事業に係る業務がすべて終了となり、令和4年度も含め、今後本事業の実施はありません。	
今後の方向性	現状維持	県内初の複合型子育て支援施設として、保育所と児童発達支援センターの一体的な運営によるインクルーシブ保育の実践に取り組んでいくと共に、指定管理者と連携し、地域に根差した施設運営を目指します。

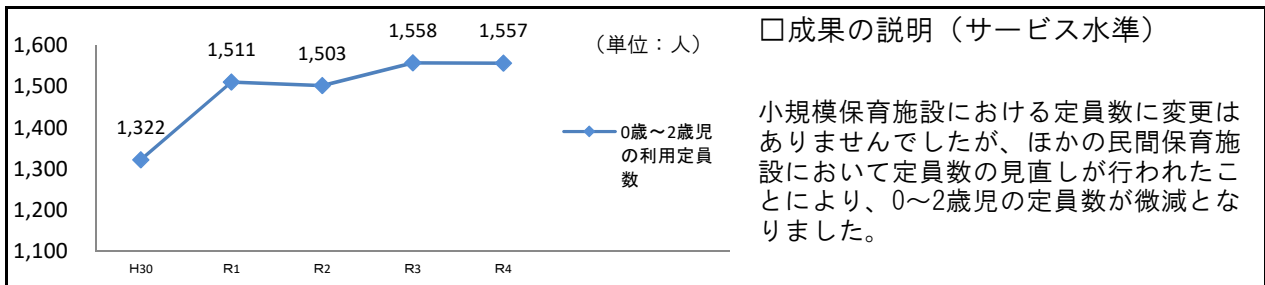
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

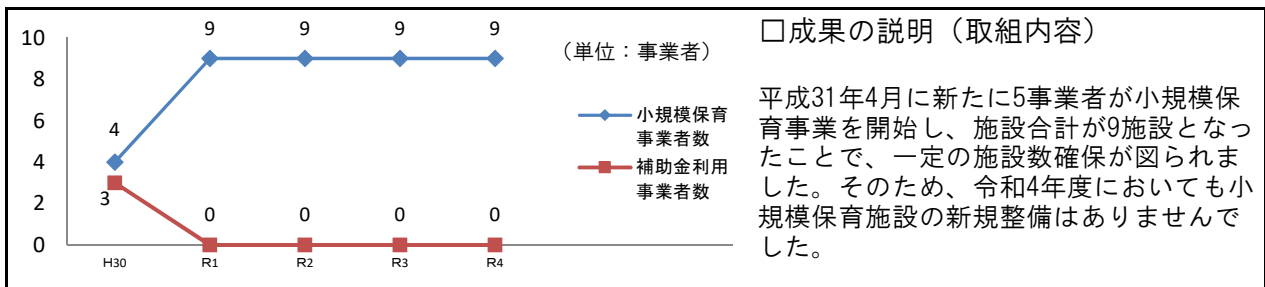
施策番号	1-1-2	実施計画No.	13	重点プロジェクトNo.	①-9	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	小規模保育改修費等補助金					課名	保育課	
事業内容	賃貸物件を活用した小規模保育事業を実施する事業者に対し、改修費や賃借料の一部を補助するものです。					事業開始年度	平成29年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	保育所等における0歳～2歳児の利用定員数				現状値 (平成29年度)	1,191人		
現状と課題	全国的な保育ニーズの高まりを背景に、本市の保育所等における待機児童数は増加傾向にあり、その解消が喫緊の課題となっています。特に本市の待機児童数の約9割が0歳児から2歳児という現状を踏まえ、入所定員数の確保が急務となっています。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	1,322人	1,511人	1,548人	1,594人	1,594人
成果指標の実績値	1,322人	1,511人	1,503人	1,558人	1,557人
達成率	100.0%	100.0%	97.1%	97.7%	97.6%
決算額(千円)	44,285	-	-	-	-

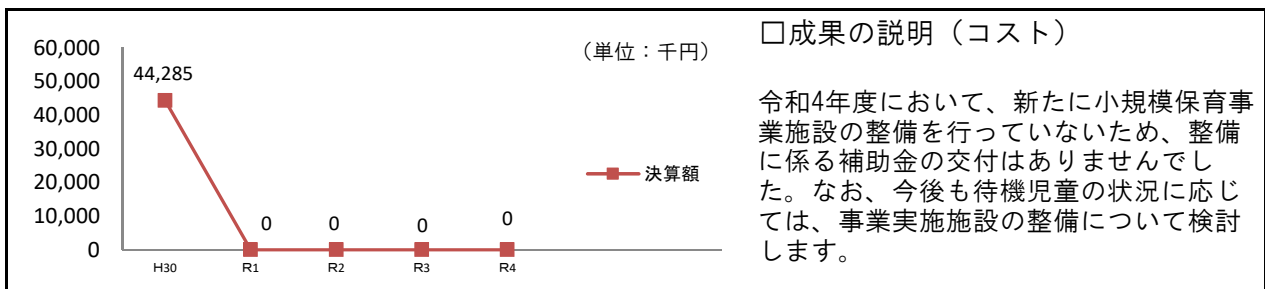
1 保育所等における0歳～2歳児の利用定員数の推移



2 小規模保育事業者数と補助金利用事業者数の推移



3 決算額の推移



令和4年度の評価	平成31年4月に新たに5施設の小規模保育事業が開業され、施設合計が9施設となり、一定の施設数確保が図られたことにより、令和4年度においても新規の整備はありませんでした。今後も待機児童の状況を勘案し、既存施設を活用した小規模保育事業の整備の可能性も含め、幼稚園から認定こども園への移行支援などにより定員の確保に努めます。	
今後の方向性	現状維持	今後の0歳児から2歳児の利用希望の推移や保護者の働き方などの状況を勘案し、待機児童ゼロを目指します。

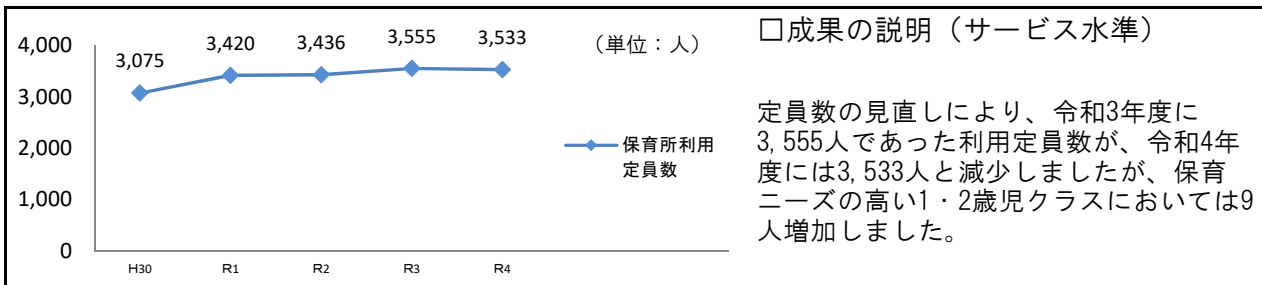
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

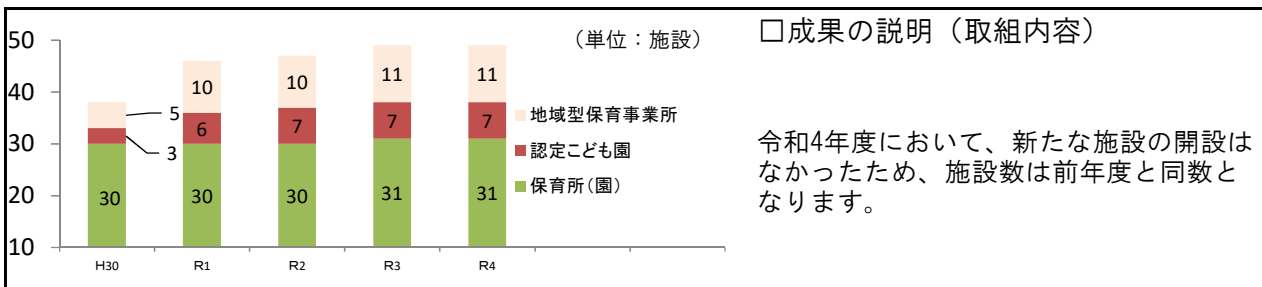
施策番号	1-1-2	実施計画No.	14	重点プロジェクトNo.	①-10	-	補助金No.	41
事業名 (補助金名)	特定教育・保育施設等整備事業費補助金					課名	保育課	
事業内容	幼稚園から認定こども園へ移行する施設に対し、施設整備に係る費用の一部を補助するものです。					事業開始年度	平成30年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	保育所等の利用定員数				現状値 (平成29年度)	2,812人		
現状と課題	全国的な保育ニーズの高まりを背景に、本市の保育所等における待機児童数は増加傾向にあり、その解消が喫緊の課題となっています。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	3,099人	3,441人	3,460人	3,646人	3,646人
成果指標の実績値	3,075人	3,420人	3,436人	3,555人	3,533人
達成率	99.2%	99.4%	99.3%	97.5%	96.9%
決算額(千円)	541,252	117,067	—	—	—

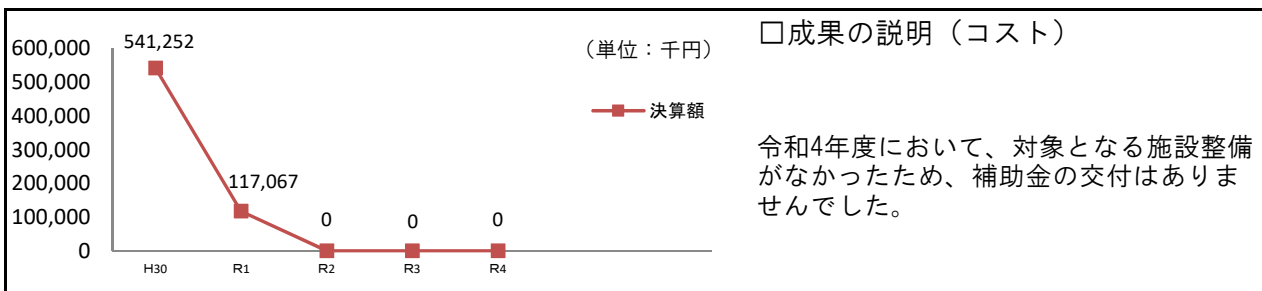
1 保育所等の利用定員数の推移



2 特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業所の施設数の推移



3 決算額の推移



令和4年度の評価	令和4年度においては、対象となる施設がなかったため、整備に係る補助は実施しませんでした。なお、今後も私立幼稚園から認定こども園への移行支援を継続して行っています。	
今後の方向性	現状維持	本市の待機児童数や施設の入所状況などを踏まえ、予算の範囲内で必要に応じ、認定こども園への移行施設数の見直しを柔軟に進めるなど、適切な保育サービスが提供されるよう、引き続き、利用定員確保に向けた取組を進め、待機児童ゼロを目指します。

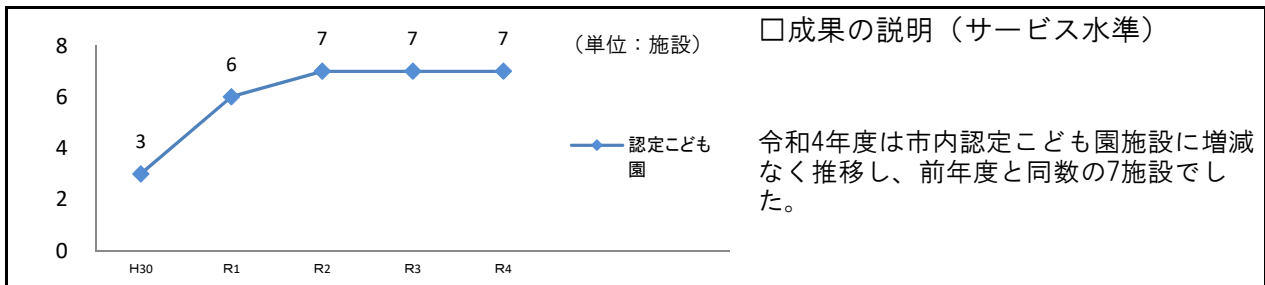
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

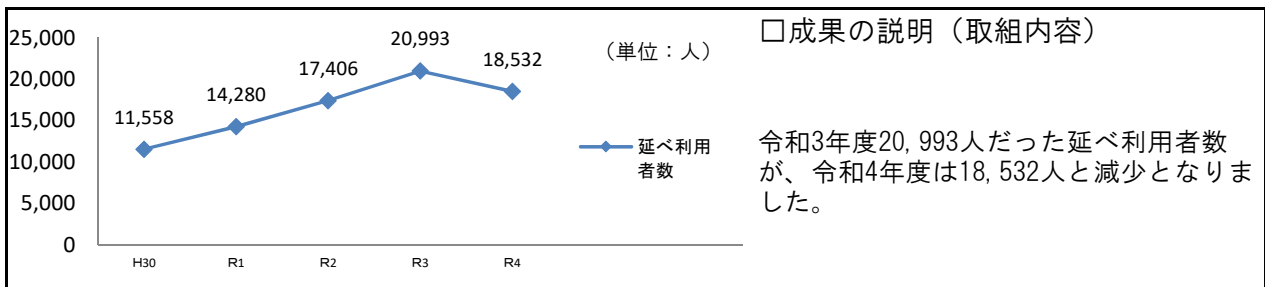
施策番号	1-1-2	実施計画No.	15	重点プロジェクトNo.	①-11	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	施設型給付一時預かり事業					課名	保育課	
事業内容	保護者が教育を希望する満3歳以上の園児を対象に行う一時預かり事業について、施設型給付を受ける認定こども園に委託するものです。					事業開始年度	平成27年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	市内認定こども園数				現状値 (平成29年度)	2施設		
現状と課題	短時間での就労を希望する保護者に対する支援が課題となっています。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	3施設	6施設	8施設	8施設	8施設
成果指標の実績値	3施設	6施設	7施設	7施設	7施設
達成率	100.0%	100.0%	87.5%	87.5%	87.5%
決算額(千円)	5,748	10,294	16,735	20,904	17,067

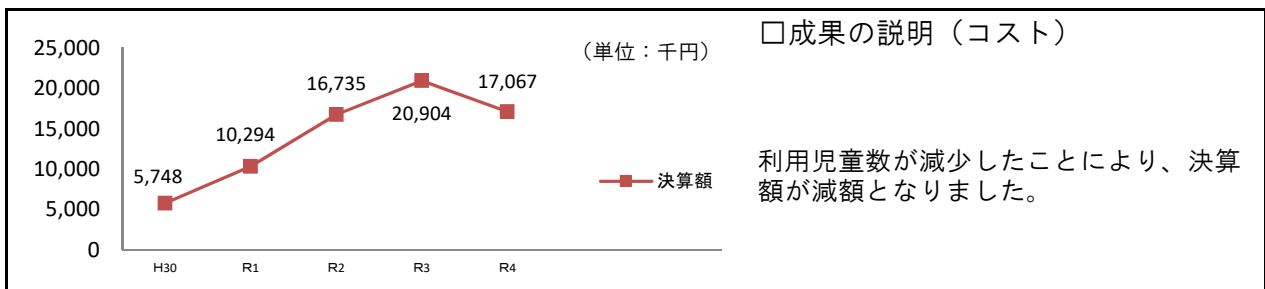
1 市内認定こども園数の推移



2 一時預かり事業利用児童数の推移



3 決算額の推移



令和4年度の 評価	令和3年度と比較して延べ利用者数、決算額の減少がみられましたが、パートなど短時間で働く保護者への支援を行うことができ、多様な保育ニーズへの対応が図れました。	
今後の 方向性	現状維持	私立幼稚園から認定こども園へ移行する施設への支援を進めるとともに、幼児教育・保育の無償化の対象となったことを利用児童拡充の機会と捉え、積極的な事業周知などにより、引き続き一時預かり事業の拡充を図っていきます。

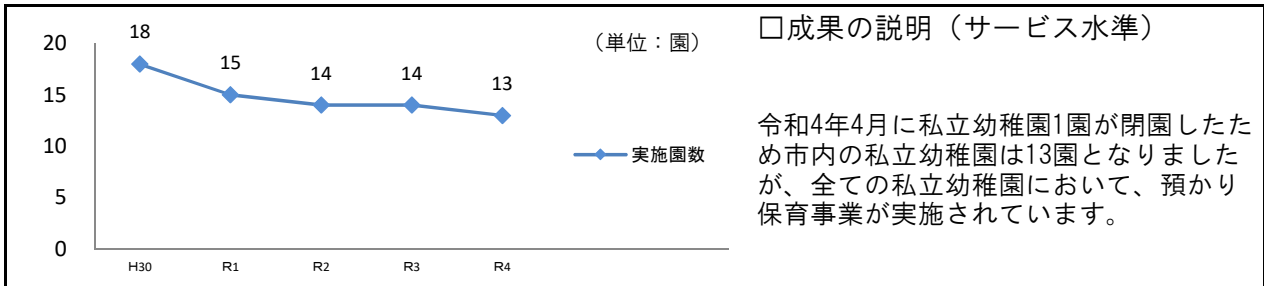
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

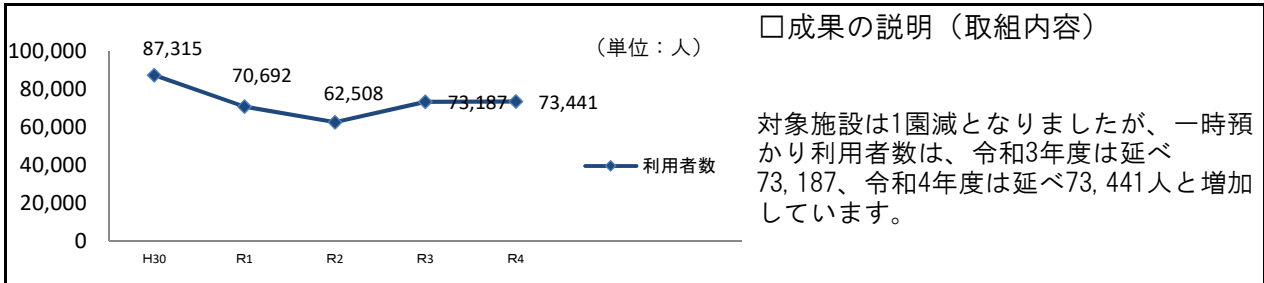
施策番号	1-1-2	実施計画No.	16	重点プロジェクトNo.	①-12	-	補助金No.	37
事業名 (補助金名)	私立幼稚園預かり保育事業費補助金					課名	保育課	
事業内容	通常の教育時間（1日4時間）の前後の時間外に預かり保育を実施する市内私立幼稚園設置者に対し、補助金を交付するものです。					事業開始年度	平成22年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	実施園数				現状値 (平成29年度)	19園		
現状と課題	短時間での就労を希望する保護者に対する支援が課題となっています。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	18園	15園	13園	13園	13園
成果指標の実績値	18園	15園	14園	14園	13園
達成率	100.0%	100.0%	107.7%	107.7%	100.0%
決算額(千円)	4,320	3,600	3,360	3,360	3,120

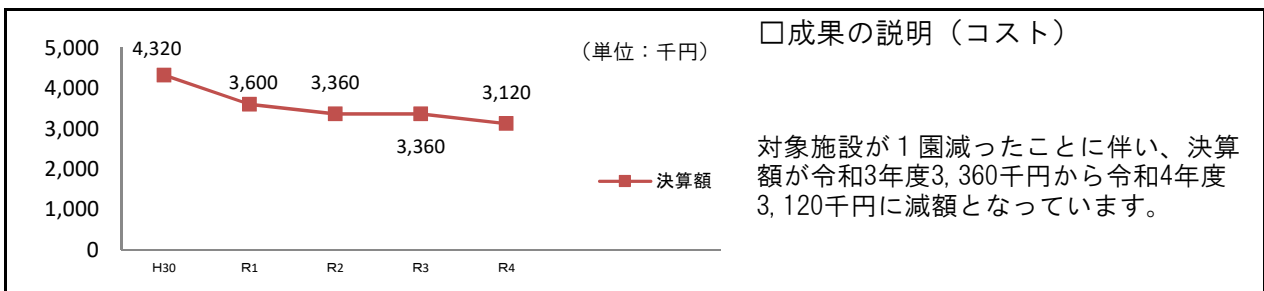
1 実施園数の推移



2 一時預かり利用者数の推移



3 決算額の推移



令和4年度の評価	市内全ての私立幼稚園において預かり保育事業を実施していることから、パートなど短時間で働く保護者への支援を行うことができ、多様な保育ニーズへの対応が図れました。	
今後の方向性	現状維持	幼稚園から認定こども園への移行が進んでいることから、預かり保育事業の利用者数は減少傾向にあります。なお、幼稚園の預かり保育事業は、令和元年10月に開始された幼児教育・保育の無償化の対象とされていることから、多様な保育ニーズへの対応を図るとともに、引き続き、保護者の就労支援や子育て支援を行います。

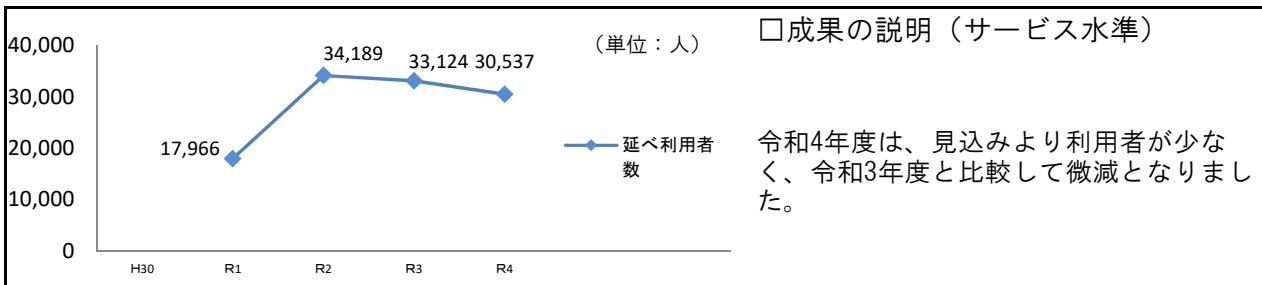
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

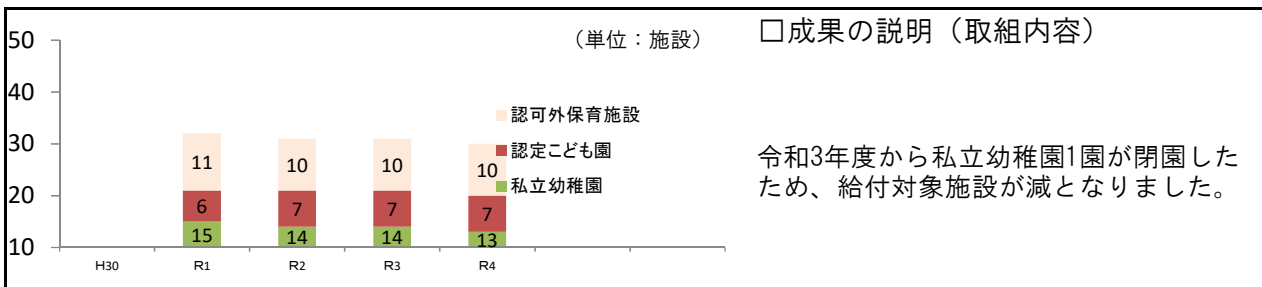
施策番号	1-1-2	実施計画No.	17	重点プロジェクトNo.	①-13	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	子育てのための施設等利用給付負担金				課名	保育課		
事業内容	私立幼稚園、認定こども園（教育利用）、認可外保育施設等の保育料や利用料等について、一定の条件を満たす保護者に対し、負担金を交付するものです。				事業開始年度	令和元年度		
					事業見直し年度	令和2年度		
成果指標	延べ利用者数				現状値 (平成30年度)	-		
現状と課題	幼児教育・保育の無償化の実施により全国的に保育ニーズは高まっており、引き続き子育て世帯の負担軽減のため、経済的な支援が必要となります。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	-	20,000人	20,500人	21,000人	21,500人
成果指標の実績値	-	17,966人	34,189人	33,124人	30,537人
達成率	-	89.8%	166.8%	157.7%	142.0%
決算額(千円)	-	389,977	727,487	694,523	658,007

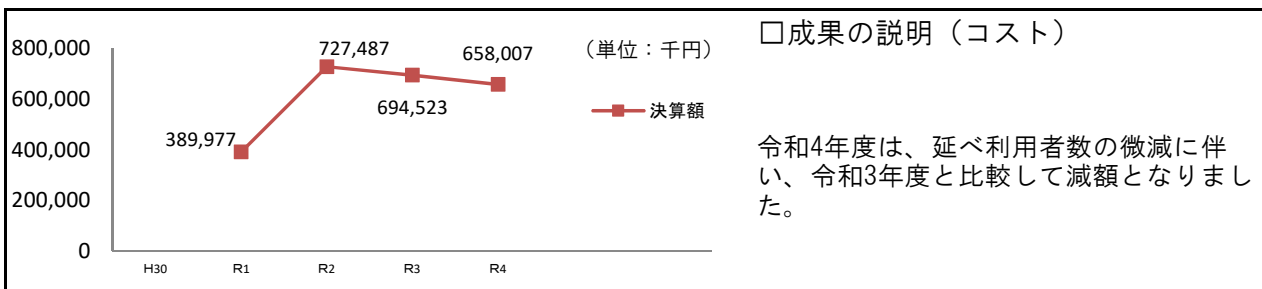
1 延べ利用者数の推移



2 対象となる市内の施設数推移



3 決算額の推移



令和4年度の評価	私立幼稚園、認定こども園、認可外保育施設等の利用料等について、負担金として交付することにより、保護者の経済的負担の軽減が図られました。	
今後の方向性	現状維持	幼児教育・保育の無償化の対象となったことを利用児童拡充の機会と捉え、積極的に事業周知を実施するとともに、多様な保育ニーズへの対応を図りながら引き続き、保護者の経済的支援を行います。

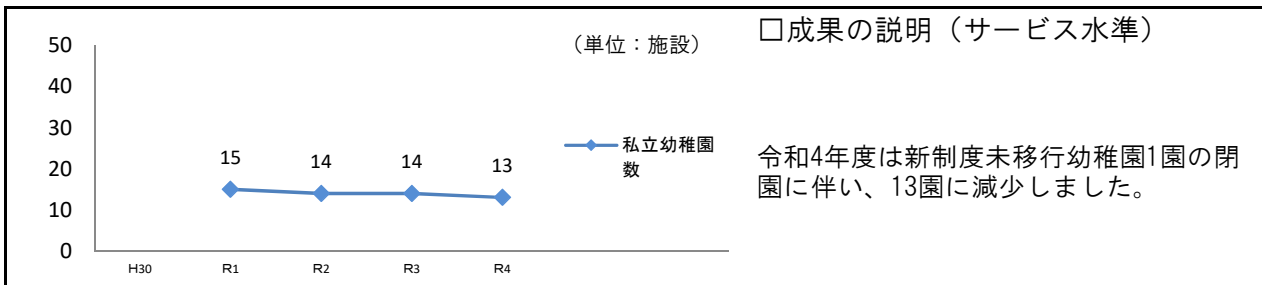
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

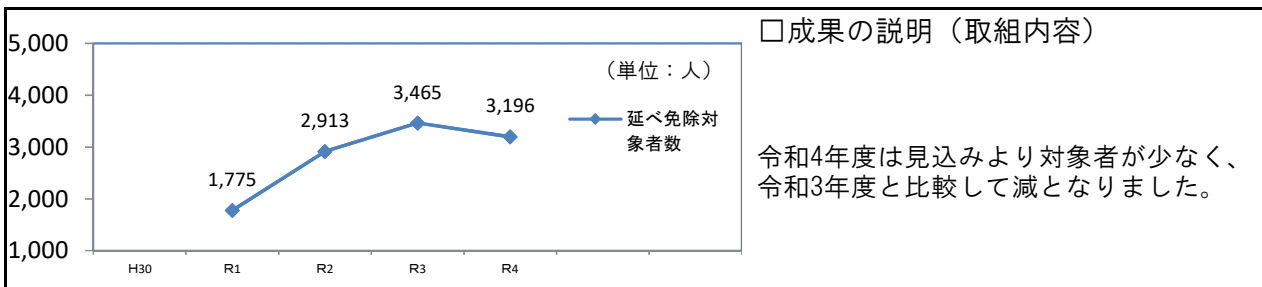
施策番号	1-1-2	実施計画No.	18	重点プロジェクトNo.	①-14	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	実費徴収に係る補足給付事業					課名	保育課	
事業内容	幼児教育・保育の無償化に伴い、私立幼稚園に通園する多子世帯等を対象に副食材料費を補助するものです。					事業開始年度	令和元年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	私立幼稚園数（新制度未移行幼稚園）					現状値 (平成30年度)	-	
現状と課題	幼児教育・保育の無償化の実施により全国的に保育ニーズは高まっており、引き続き子育て世帯の負担軽減のため、経済的な支援が必要となります。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	-	15園	14園	14園	13園
成果指標の実績値	-	15園	14園	14園	13園
達成率	-	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
決算額(千円)	-	5,889	9,324	10,724	5,236

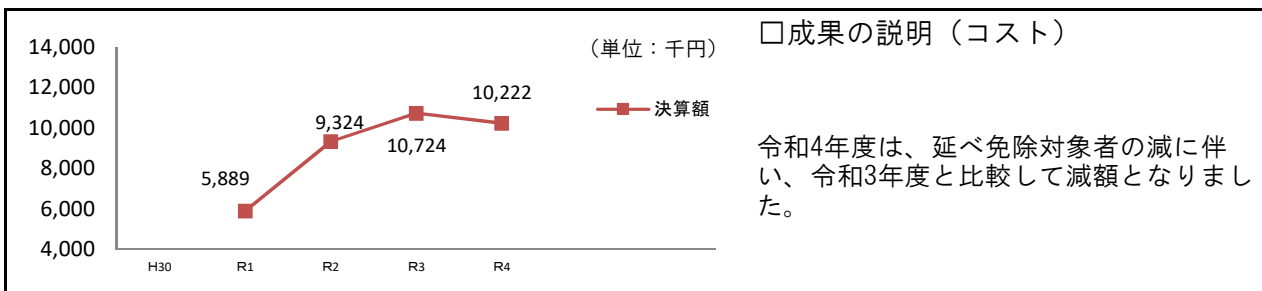
1 私立幼稚園数（新制度未移行幼稚園）の推移



2 延べ免除対象者数の推移



3 決算額の推移



令和4年度の評価	低所得者世帯または多子世帯の子どもが幼稚園を利用する場合に、保護者が支払うべき副食材料費に要する費用を助成することにより、保護者の経済的負担の軽減が図られました。	
今後の方向性	現状維持	私立幼稚園から認定こども園への移行について、引き続き支援するとともに、子育て世帯の負担軽減を図るため、今後も本事業を継続して実施していきます。

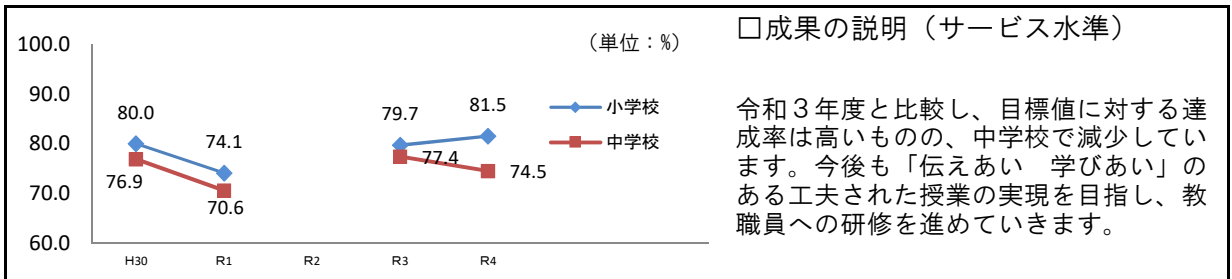
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

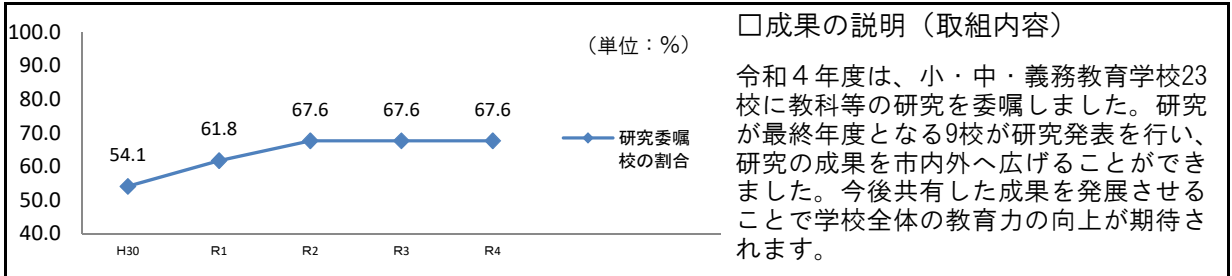
施策番号	1-2-1	実施計画No.	19	重点プロジェクトNo.	①-15	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	特色ある教育推進事業					課名	指導課	
事業内容	「小学校英語教育」「理科教育」「芸術文化活動」「読書活動」など、確かな学力をはぐくみ、特色ある教育活動に対して支援を行います。					事業開始年度	平成23年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	「伝え合い 学び合い」に取り組む授業の普及する割合 (上段：小学・下段：中学)					現状値 (平成29年度)	74.1% 66.7%	
現状と課題	魅力ある学校づくりのため、教育委員会からの各教科等の研究委嘱、美術や硬筆等の展覧会を実施しています。感染症拡大防止のため、中止となった展覧会・研究発表などがありました。オンラインでの開催など今までにはない工夫を取り入れ、児童生徒の作品展示や、地域や社会とつながる教育活動を展開してきました。今後は、よりいっそう家庭・地域と連携した特色ある教育活動を目指し、人的・物的支援を行う必要があると考えます。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	73.0% 67.0%	75.0% 69.0%	77.0% 71.0%	79.0% 73.0%	80.0% 75.0%
成果指標の実績値	80.0% 76.9%	74.1% 70.6%	—	79.7% 77.4%	81.5% 74.5%
達成率	109.6% 114.8%	98.8% 102.3%	—	100.9% 106.0%	101.9% 99.3%
決算額(千円)	28,029	26,940	22,989	22,809	23,008

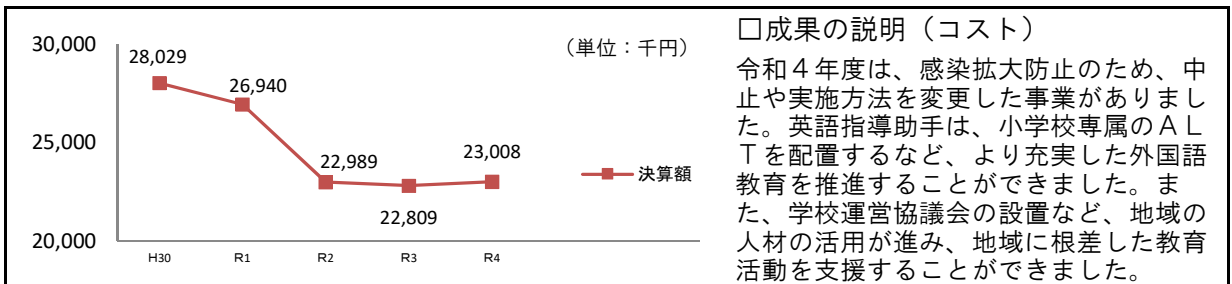
1 「伝え合い 学び合い」に取り組む授業の普及する割合（小学・中学）



2 研究委嘱校の割合の数値



3 決算額の推移



令和4年度の評価	令和4年度は研究委嘱校の取組を、集合型による発表により、市内の小・中・義務教育学校に広めることができました。また、小学校22校全てに小学校英語指導助手を派遣し、外国語の授業の教材作成や授業中の児童への支援を充実させました。グローバル集会や各種児童生徒の展覧会は、可能な限りオンラインで開催し、地域や保護者に児童生徒の活躍について広く周知することができました。	
今後の方向性	現状維持	魅力ある学校づくりのための授業改善を進め、「伝え合い 学び合い」の学習の普及・充実を目指します。また、小学校英語指導助手の配置、各種展覧会の開催など、学校や地域のニーズに応じた支援を積極的に行い、特色ある教育を今後も推進していきます。

【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

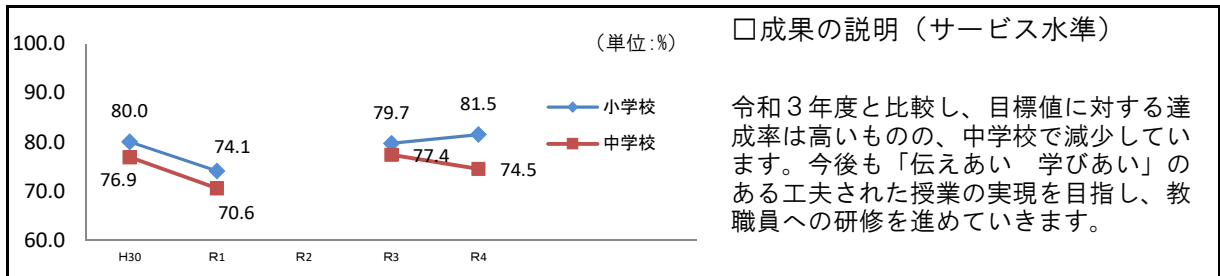


◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

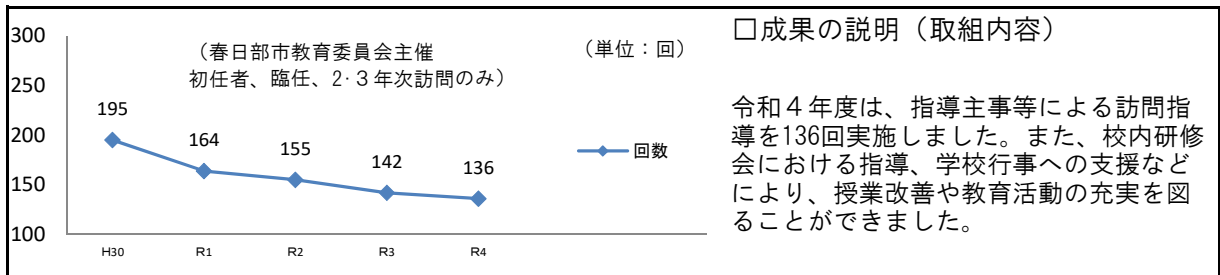
施策番号	1-2-1	実施計画No.	20	重点プロジェクトNo.	①-16	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	学校教育支援事業					課名	指導課	
事業 内容	学校教育の充実と教育水準の維持・向上を図るため、積極的に教育活動を支援します。					事業開始 年度	平成18年度	
						事業見直し 年度	令和2年度	
成果 指標	「伝え合い 学び合い」に取り組む授業の普及する割合 (上段：小学・下段：中学)					現状値 (平成29年度)	74.1% 66.7%	
現状と 課題	市内小・中・義務教育学校の教育水準の維持・向上を図るため、市教委委嘱教科等の研究による教職員研修や少人数指導の充実、支援助手や相談員の配置、生徒指導特別委員会の開催など多様な支援を行っています。さらに学校の現状やニーズに応じた人員の配置及び研修会等の実施に努めます。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	73.0% 67.0%	75.0% 69.0%	77.0% 71.0%	79.0% 73.0%	80.0% 75.0%
成果指標の実績値	80.0% 76.9%	74.1% 70.6%	—	79.7% 77.4%	81.5% 74.5%
達成率	109.6% 114.8%	98.8% 102.3%	—	100.9% 106.0%	101.9% 99.3%
決算額(千円)	105,664	105,532	147,320	154,050	157,572

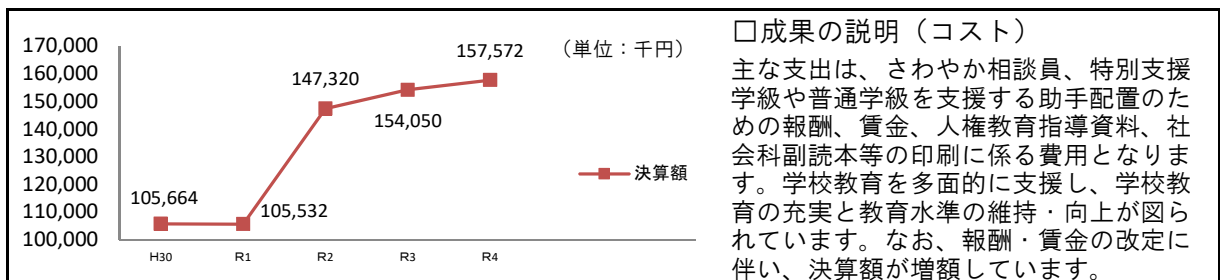
1 「伝え合い 学び合い」に取り組む授業の普及する割合（小学・中学）



2 指導主事等による市内小・中学校への訪問指導回数



3 決算額の推移



令和4 年度の 評価	令和4年度は、市内小・中・義務教育学校においては学力の向上に向けて校内研修を充実させ、児童生徒の個々の伸びを把握しながら指導法の工夫・改善を図りました。また、教職員研修の充実、きめ細かな支援を進めるための少人数指導の充実、学校の現状やニーズに応じた支援助手や相談員の配置を行い、教育水準の向上を図ることができました。	
今後の 方向性	現状維持	教職員資質向上を図る研修会、指導主事・学校教育専門員による学校訪問、学校のニーズに応じた支援員や相談員の配置を継続し、学校の教育力の向上、児童生徒一人一人の伸びを支援するよう努めます。

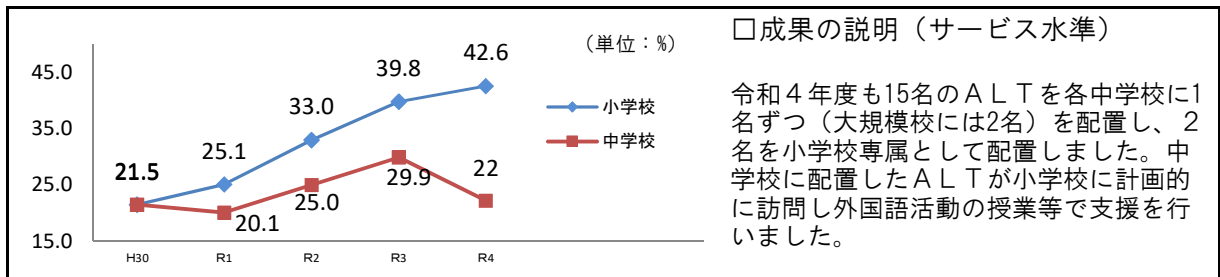
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

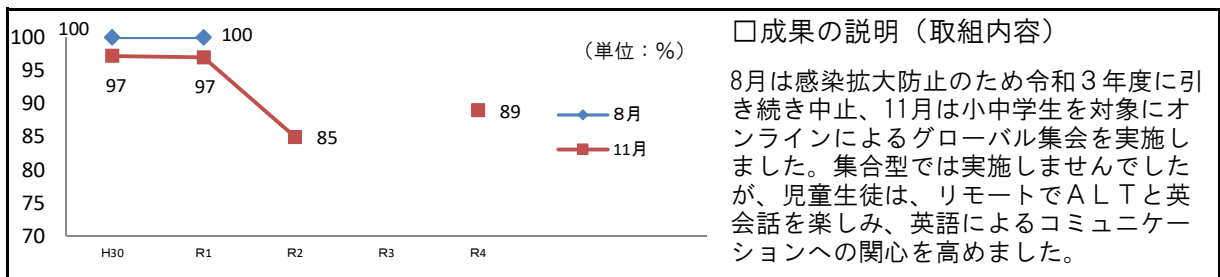
施策番号	1-2-1	実施計画No.	21	重点プロジェクトNo.	①-17	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	英語指導助手招致事業					課名	指導課	
事業内容	英語によるコミュニケーション能力の素地および基礎を育成するために、A L T（英語指導助手）を招致し、英語および国際理解教育の推進を図ります。					事業開始年度	昭和63年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	A L T（英語指導助手）を活用した授業数の割合 (上段：小学・下段：中学)				現状値 (平成29年度)	24.9% 25.1%		
現状と課題	令和4年度も15名のA L Tを各中・義務教育学校学校に1名ずつと小学校専属A L Tを配置しています。また、中学校に配置したA L Tが小学校を計画的に訪問することで小学校における外国語活動の授業等でも活用されています。中学校への効果的な接続を目指し、小学校の外国語及び外国語活動の充実、A L Tの訪問日数の増加を検討する必要があります。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	17.5% 19.0%	18.5% 20.5%	19.0% 22.0%	19.5% 23.5%	20.0% 25.0%
成果指標の実績値	21.5% 21.5%	25.1% 20.1%	33.0% 25.0%	39.8% 29.9%	42.6% 22.2%
達成率	123.1% 113.2%	135.7% 98.0%	173.7% 113.6%	204.1% 127.2%	213.0% 88.8%
決算額(千円)	45,058	44,874	55,057	51,975	60,324

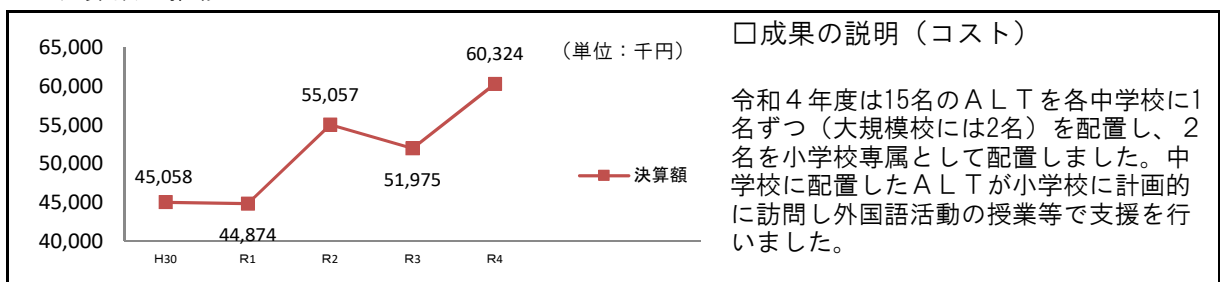
1 A L T（英語指導助手）を活用した授業数の割合



2 グローバル集会（カサバ・インターナショナル・フレンドシップ・デー）参加者の満足度



3 決算額の推移



令和4年度の評価	令和4年度は、15名のA L Tのうち、13名を各中学校に1名ずつ配置し（大規模校は2名）、その連携校の小学校にもA L Tが計画的に訪問しました。また、2名を小学校専属として派遣し、外国語活動の授業等において充実が図られました。年間を通して配置していることで、授業以外にもA L Tと触れ合う時間があり、日常の挨拶や会話など、児童生徒とA L Tが英語での自然なコミュニケーションが図られる機会となりました。	
今後の方向性	現状維持	自分の考えや思いを英語で表現し、積極的にコミュニケーションを図る児童生徒の育成を目指します。また、中学校への円滑な接続を目指し、今後もA L Tを活用した授業やグローバル集会の実施内容の充実にも努めます。

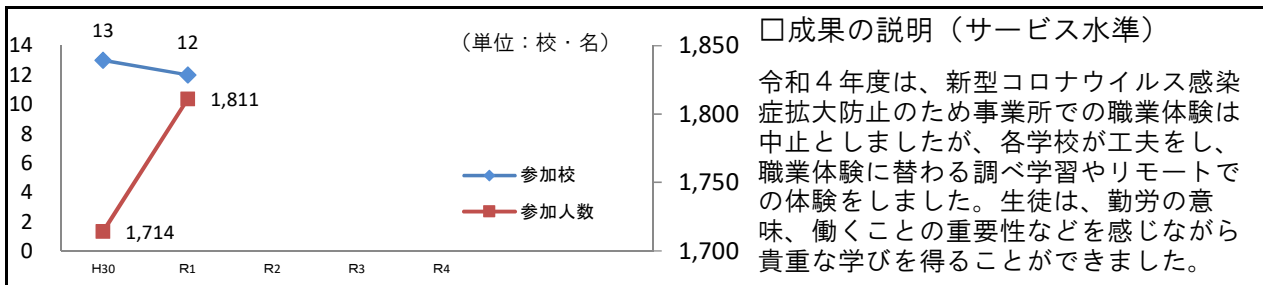
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

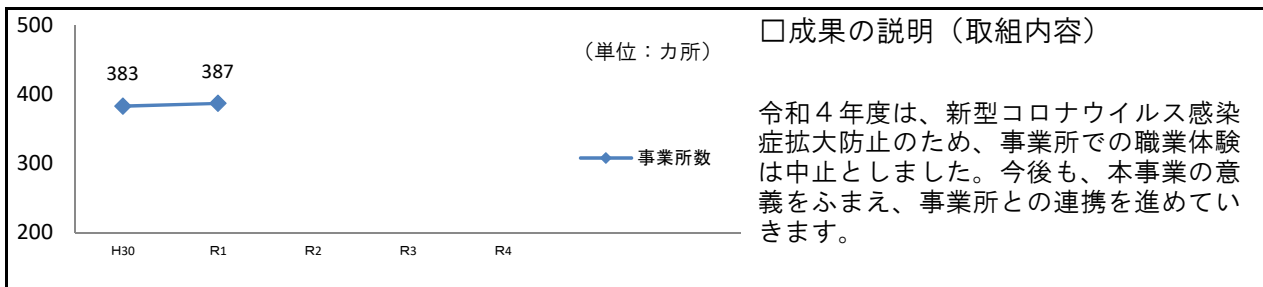
施策番号	1-2-1	実施計画No.	22	重点プロジェクトNo.	①-18	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	中学生社会体験チャレンジ事業					課名	指導課	
事業内容	春日部市教育月間に市内12中学校の1年生合計約1,800名が、市内を中心とする事業所において職場体験を行います。					事業開始年度	平成15年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	参加校と参加人数の推移				現状値 (平成29年度)	13校		
現状と課題	令和4年度も新型コロナウイルスにより生徒が、事業所で職業体験を行うことはできませんでしたが、新たな実施方法を検討しながら、生徒一人ひとりが望ましい職業観や勤労観を持つことができるように今後も支援していきます。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	13校	12校	12校	12校	12校
成果指標の実績値	13校	12校	—	—	—
達成率	100.0%	100.0%	—	—	—
決算額(千円)	930	930	0	364	0

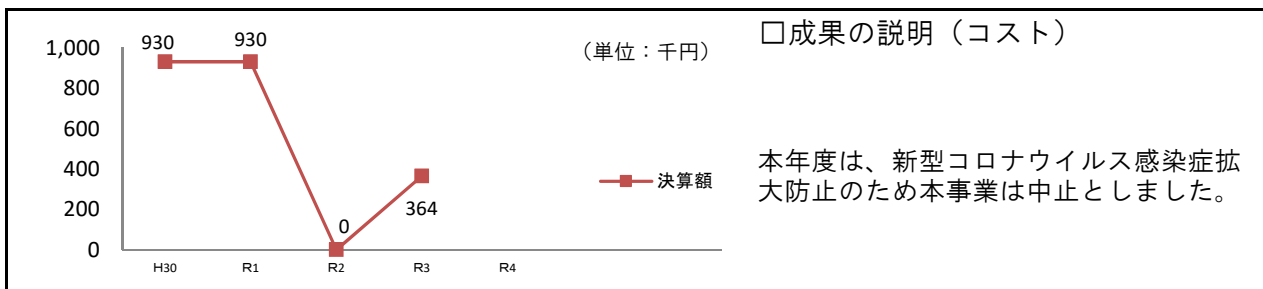
1 参加校と参加人数の推移



2 協力事業所数の推移



3 決算額の推移



令和4年度の 評価	令和4年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため事業所での職業体験は中止としましたが、各学校が工夫をし、勤労の意味、働くことの重要性、保護者への感謝など、生徒一人一人の心を育てることができました。	
今後の 方向性	縮小	これまで、多くの事業所の協力により、生徒に望ましい職業観や勤労観が養われました。コロナ禍における関係機関とのよりよい連携の在り方を検討しながら、中学1年生が望ましい職業観や勤労観を持つことができるように今後も支援していきます。

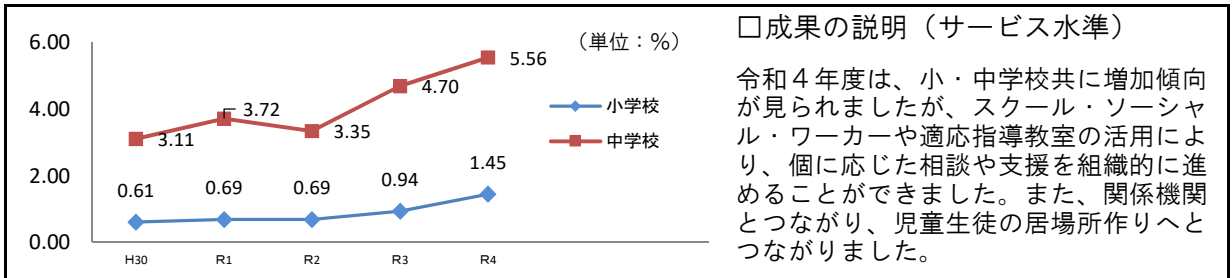
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

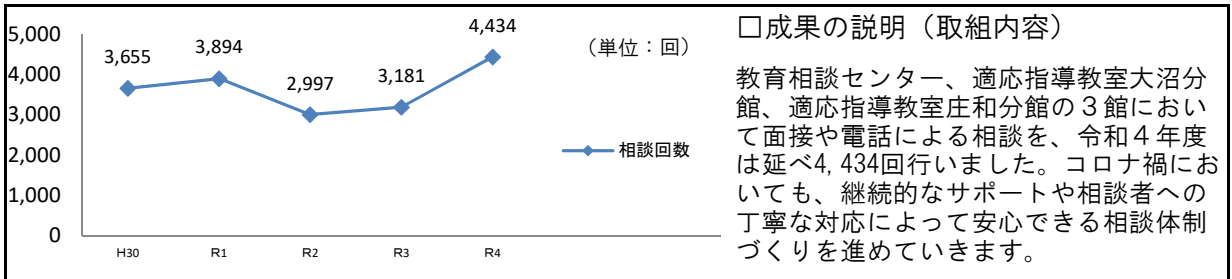
施策番号	1-2-2	実施計画No.	23	重点プロジェクトNo.	①-19	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	教育相談センター運営事業					課名	指導課	
事業内容	子どもの養育や教育についての相談をととして、子供の健全育成と家庭の教育力の向上を図ります。さらに、複雑化、多様化する社会や家庭に起因するさまざまな子育てに関する教育問題への相談体制を整えます。					事業開始年度	平成17年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	不登校の比率（上段：小学・下段：中学）					現状値 (平成29年度)	0.28% 3.41%	
現状と課題	いつでも、誰でも相談できる市民に開かれた機関として、子育てに関する様々な相談に応じています。子どもの発達や特性に関すること、養育・家庭問題に関する相談が多くなっており、社会の変化に伴って複雑化・多様化する問題に対して、今後も適切な対応を行っていきます。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	0.28% 3.10%	0.25% 2.80%	0.20% 2.50%	0.15% 2.25%	0.12% 2.21%
成果指標の実績値	0.61% 3.11%	0.69% 3.72%	0.69% 3.35%	0.94% 4.70%	1.45% 5.56%
達成率	45.9% 99.7%	36.2% 75.3%	29.0% 74.6%	16.0% 47.9%	8.3% 39.7%
決算額(千円)	8,257	7,977	8,663	8,202	9,342

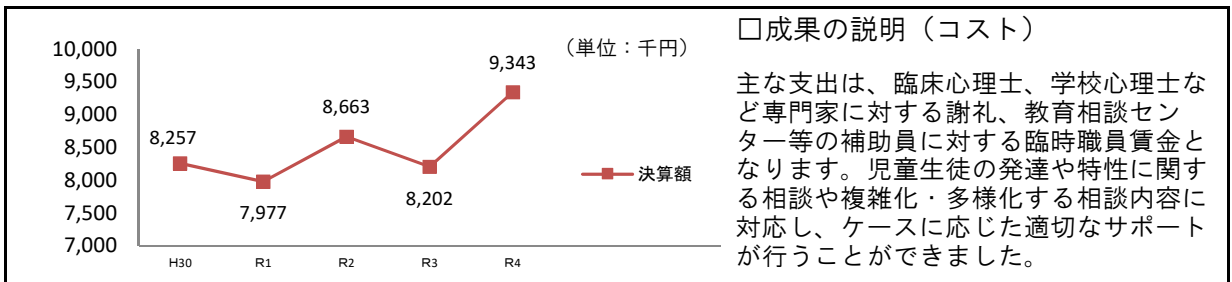
1 不登校の比率（小学・中学）



2 相談回数の推移



3 決算額の推移



令和4年度の評価	4,434回の相談を実施しました。一人の相談者に継続しての対応も多くみられました。また、教育相談センターや適応指導教室では、不登校の児童生徒への指導や支援を年間通して行いました。適応指導教室での学びや出会いを通じて生徒自身が進路選択・決定をしたケースや、児童が徐々に自己表現できるようになったケース等、相談や支援を通して児童生徒の気持ちの変容や成長が見られました。児童生徒及び保護者の一人一人のニーズに応じた丁寧なサポートが、子どもたちの健全育成及び家庭の教育力の向上に繋がったものと考えます。	
今後の方向性	現状維持	今後も児童生徒、保護者の気持ちやニーズに寄り添った相談や支援の一層の充実を図り、問題の未然防止、早期発見、早期解決に努めます。また、不登校の児童生徒については「学校に登校する」という結果のみを目標とするのではなく、児童生徒が自らの進路を主体的に捉えて、社会的に自立することを目指すための支援として、保護者や学校、関係機関と連携を図り「居場所づくり」や「つながりづくり」等の支援に努めていきます。

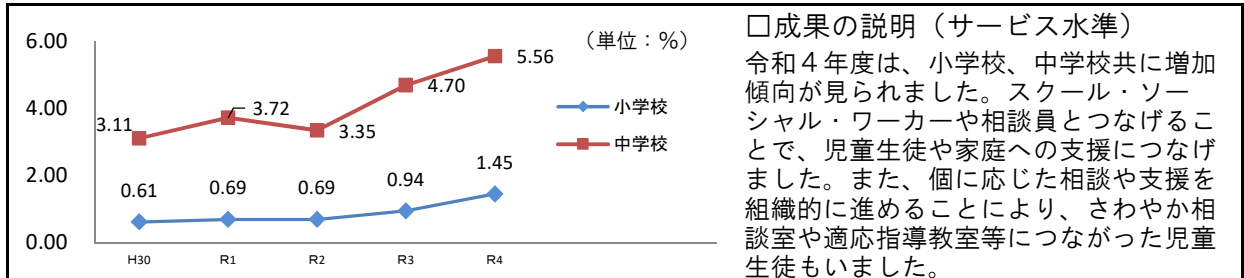
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

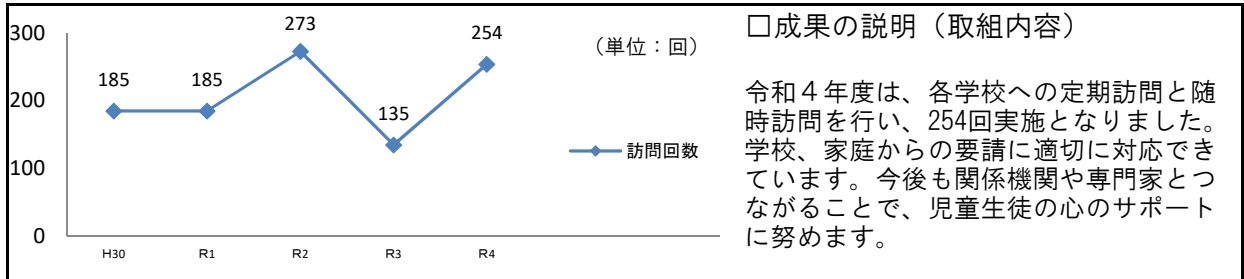
施策番号	1-2-2	実施計画No.	24	重点プロジェクトNo.	①-20	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	こころのサポート推進事業					課名	指導課	
事業内容	いじめや不登校などの学校生活の不安や悩みの解消に向け、臨床心理士や学校心理士等の専門家チームを組織し、学校訪問をするなど、相談体制の拡充を図り、問題の未然防止や早期発見・早期解消を図ります。					事業開始年度	平成17年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	不登校の比率（上段：小学・下段：中学）					現状値 (平成29年度)	0.28% 3.41%	
現状と課題	心のサポートチームによる巡回訪問を行い、各学校の児童生徒に関する情報交換を行うとともに、臨床心理士・学校心理士等が直接指導・助言することにより、いじめ・不登校問題等の未然防止や早期解消を図っています。今後も継続的にきめ細やかな支援を行う必要があります。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	0.28% 3.10%	0.25% 2.80%	0.20% 2.50%	0.15% 2.25%	0.12% 2.21%
成果指標の実績値	0.61% 3.11%	0.69% 3.72%	0.69% 3.35%	0.94% 4.70%	1.45% 5.56%
達成率	45.9% 99.7%	36.2% 75.3%	29.0% 74.6%	16.0% 47.9%	8.3% 39.7%
決算額(千円)	2,485	2,544	2,315	3,000	2,860

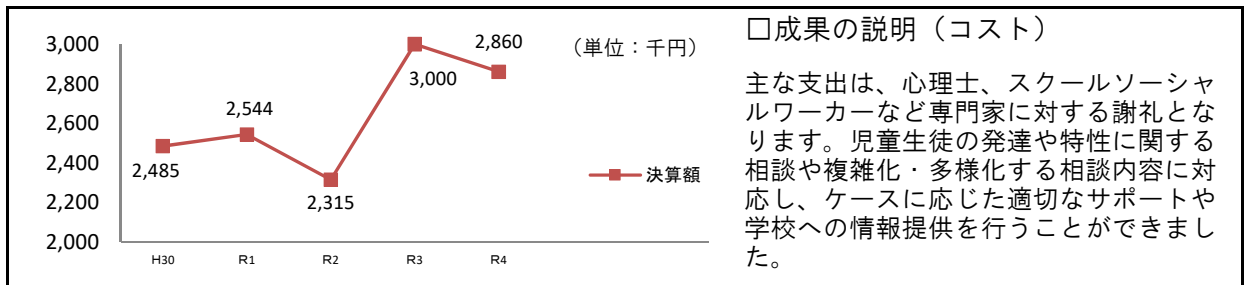
1 不登校の比率（小学・中学）



2 訪問回数の推移



3 決算額の推移



令和4年度の評価	令和4年度、心理士やスクールソーシャルワーカー等の専門家を含む「こころのサポートチーム」として各学校へ定期訪問と随時訪問を行いました。主にいじめ・不登校について各学校と情報交換や支援方針の協議等を行うことができました。専門的な立場からの支援により、学校が安心して課題解決に取り組めるという成果が出ています。	
今後の方向性	現状維持	今後も専門家等を含めたチームによる学校訪問を定期・随時に行い、学校及び児童生徒の支援に努めてまいります。

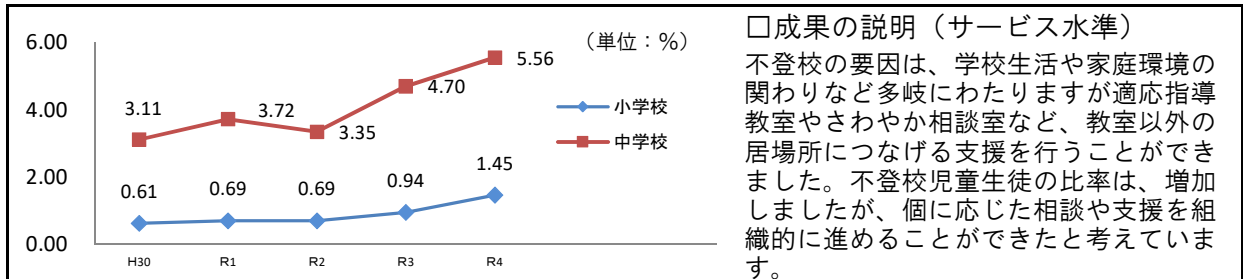
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

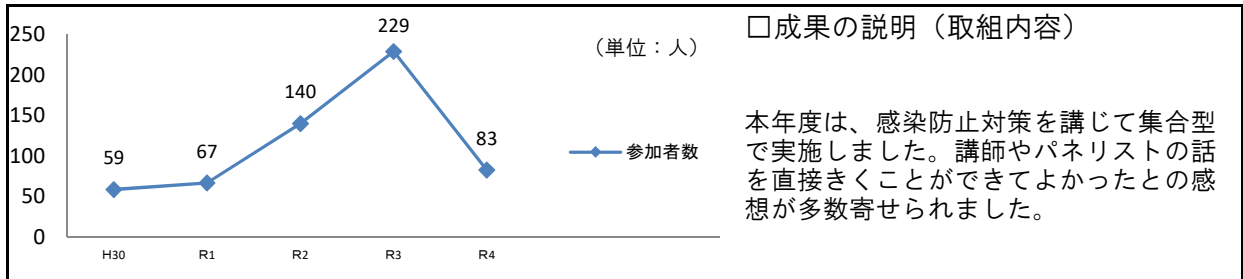
施策番号	1-2-2	実施計画No.	25	重点プロジェクトNo.	①-21	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	いじめ防止対策推進事業					課名	指導課	
事業内容	いじめ防止等のための対策を総合的かつ効果的に推進していきます。					事業開始年度	平成27年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	不登校の比率（上段：小学・下段：中学）					現状値 (平成29年度)	0.28% 3.41%	
現状と課題	春日部市いじめ防止条例および春日部市いじめ防止基本方針に基づき、いじめへの対処を組織的、計画的に実施しています。いじめを未然に防止していくためには、引き続き、いじめを生まない土壌づくり等、学校または関係機関等へ情報提供、周知していく必要があります。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	0.28% 3.10%	0.25% 2.80%	0.20% 2.50%	0.15% 2.25%	0.12% 2.21%
成果指標の実績値	0.61% 3.11%	0.69% 3.72%	0.69% 3.35%	0.94% 4.70%	1.45% 5.56%
達成率	45.9% 99.7%	36.2% 75.3%	29.0% 74.6%	16.0% 47.9%	8.3% 39.7%
決算額(千円)	102	100	102	77	75

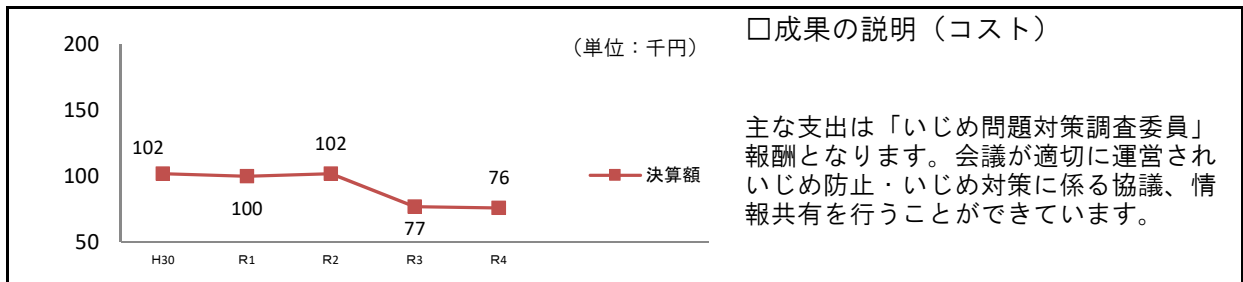
1 不登校の比率（小学・中学）



2 「不登校を考えるシンポジウム」参加者数の推移



3 決算額の推移



令和4年度の評価	令和5年2月に実施した「不登校を考えるシンポジウム」では、保護者、生徒、教職員など学校教育関係者など、今まで以上に本事業への周知、参加が実現できました。また、「春日部市いじめ問題対策連絡協議会」の開催、いじめ問題対策調査委員からいじめ防止等のための対策等について意見聴取をし、情報交換を行うことができました。	
今後の方向性	現状維持	今後も保護者、教職員、児童生徒に資する「不登校を考えるシンポジウム」を年1回開催します。また「春日部市いじめ問題対策連絡協議会」及び「春日部市いじめ問題対策調査委員会」の適切な運営を行い、いじめ防止・いじめ対策に取り組みます。

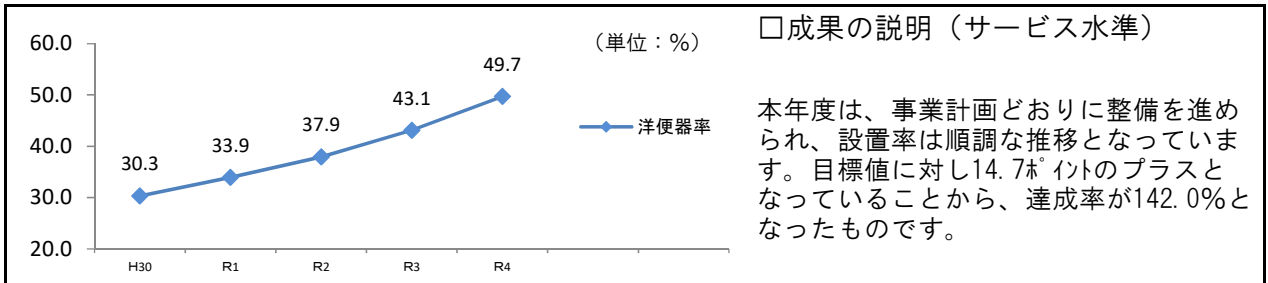
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

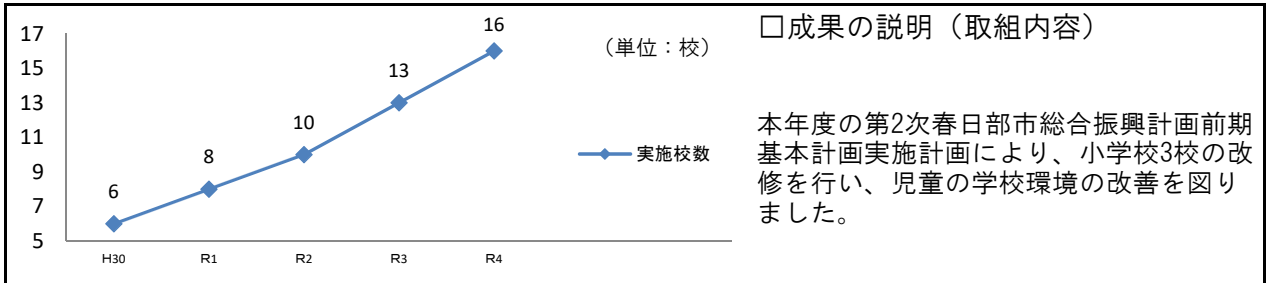
施策番号	1-2-3	実施計画No.	26	重点プロジェクトNo.	①-22	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	校舎トイレ改修事業					課名	施設課	
事業内容	児童生徒の学校環境の改善を図るため、校舎トイレの全面リニューアルを実施します。					事業開始年度	平成30年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	学校トイレの洋便器率				現状値 (平成29年度)	27.2%		
現状と課題	小中学校の校舎は、昭和40年代から50年代にかけての児童生徒急増期に一斉に建築されたものが多く、トイレについては、和便器が中心となっているだけではなく、排水管の腐食による漏水、トイレブースの老朽化等の課題があることから、計画的な整備が必要となっています。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	29.6%	32.0%	33.0%	34.0%	35.0%
成果指標の実績値	30.3%	33.9%	37.9%	43.1%	49.7%
達成率	102.4%	105.9%	114.8%	126.8%	142.0%
決算額(千円)	432,324	150,203	163,900	349,316	472,120

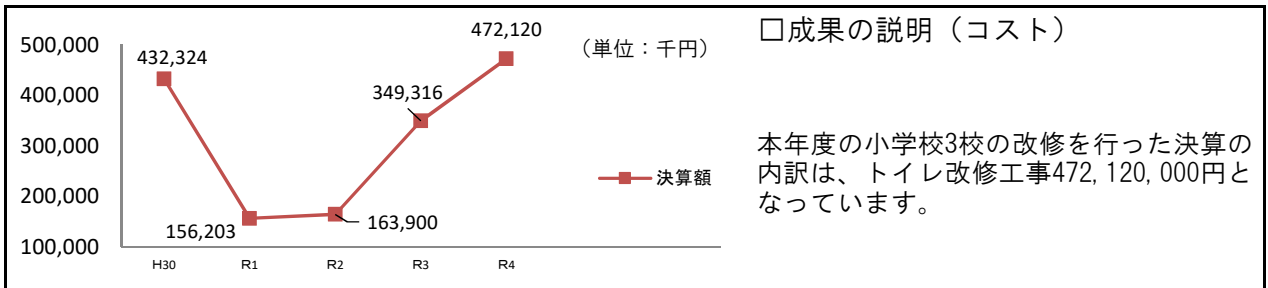
1 学校トイレの洋便器率



2 校舎トイレ改修の実施校数（累計）



3 決算額の推移



令和4年度の評価	本年度は、小学校3校の洋便器化を進めることができ、児童の学校環境の改善を図ることができました。	
今後の方向性	現状維持	小中学校等の校舎は児童生徒が一日の大半を過ごす場所であり、健康的・衛生的な生活を送ることができるよう、国・県の動向を注視し、有利な財源の活用を図り、関係部署と連携して校舎トイレ改修工事を進めていきたいと考えます。

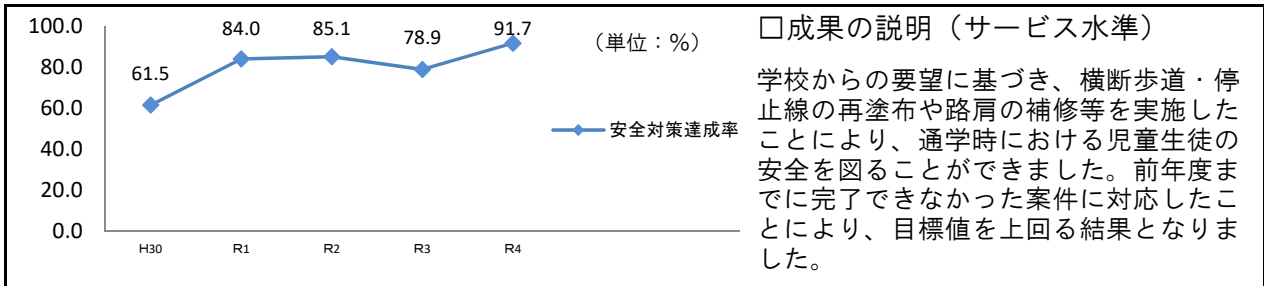
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

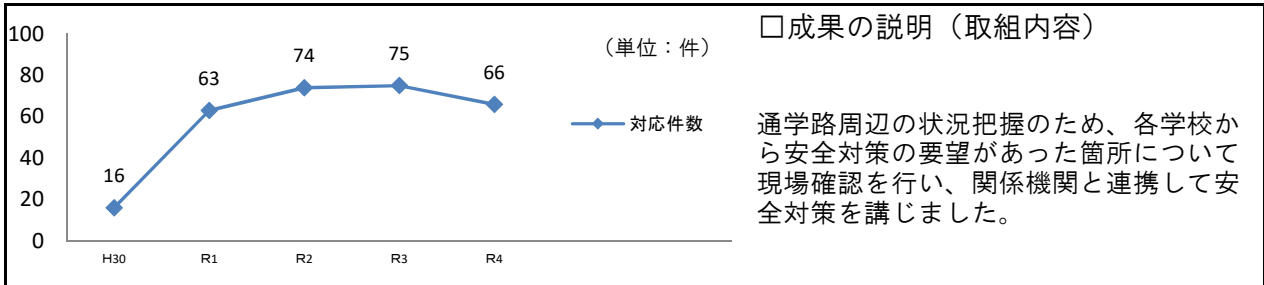
施策番号	1-2-3	実施計画No.	27	重点プロジェクトNo.	①-23	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	通学路安全対策事業					課名	学務課	
事業内容	児童生徒の安全を確保するため、学校、PTA、自治会及び関係機関等と連携し、通学路の安全対策の実施と進捗状況の把握に努めます。					事業開始年度	平成17年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	通学路安全対策の達成率					現状値 (平成29年度)	62.0%	
現状と課題	通学路周辺の状況把握に努め、登下校時における児童生徒の安全確保を図る必要があります。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	65.0%	68.0%	71.0%	74.0%	77.0%
成果指標の実績値	61.5%	84.0%	85.1%	78.9%	91.7%
達成率	94.6%	123.5%	119.9%	106.6%	119.1%
決算額(千円)	0	0	0	0	0

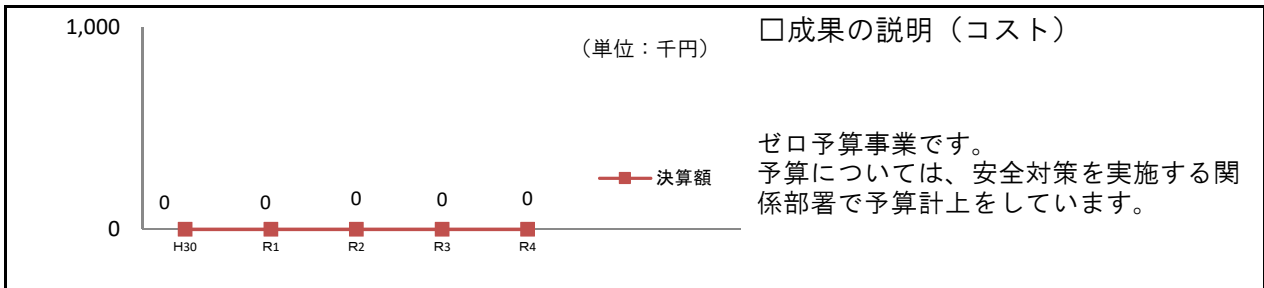
1 通学路安全対策の達成率



2 通学路安全対策の対応件数



3 決算額の推移



令和4年度の 評価	本年度は、各校からの要望に基づき路面標示の再塗布や路肩の補修等を実施したことで、登下校時の児童生徒の安全確保の向上が図られたものと考えています。	
今後の 方向性	現状維持	関係部署等と連携することにより通学路の安全対策は計画的に推進されており、今後も継続的に現地状況の把握及び計画的な安全対策の実施を進めていきます。

【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

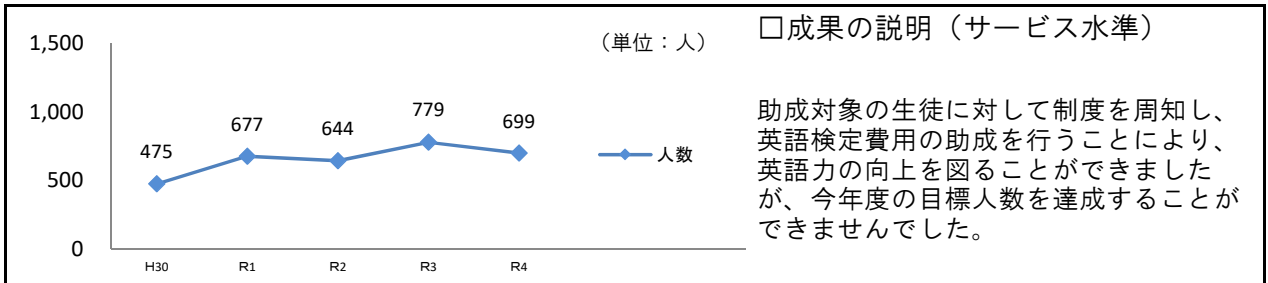


◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

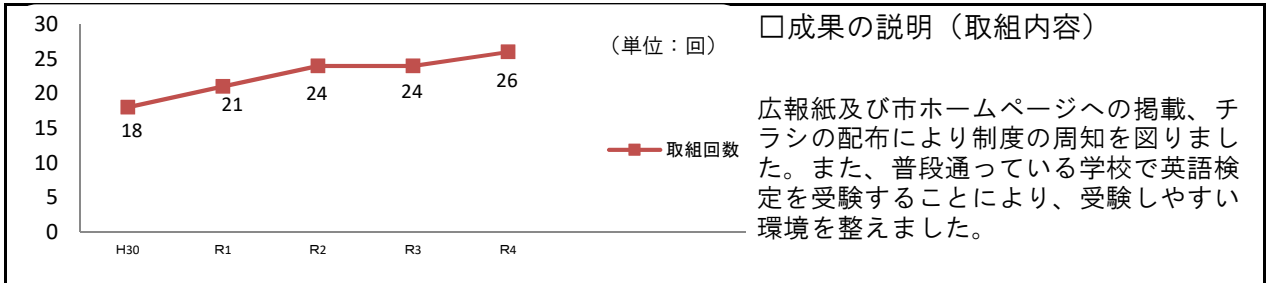
施策番号	1-2-3	実施計画No.	28	重点プロジェクトNo.	①-24	-	補助金No.	83・84
事業名 (補助金名)	未来を担う人財育成事業					課名	学務課	
事業内容	児童生徒のチャレンジ精神の向上を図り、未来を担う人財を育成するため、提案型選考による奨学金の交付と英語検定費用の助成を実施します。					事業開始年度	平成30年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	英語検定費用助成人数				現状値 (平成29年度)	-		
現状と課題	世界で通用する人材を育成するためには、学校教育における英語力の向上を図る必要があります。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	720人	810人	900人	990人	1,080人
成果指標の実績値	475人	677人	644人	779人	699人
達成率	66.0%	83.6%	71.6%	78.7%	64.7%
決算額(千円)	1,788	5,763	3,380	4,734	4,803

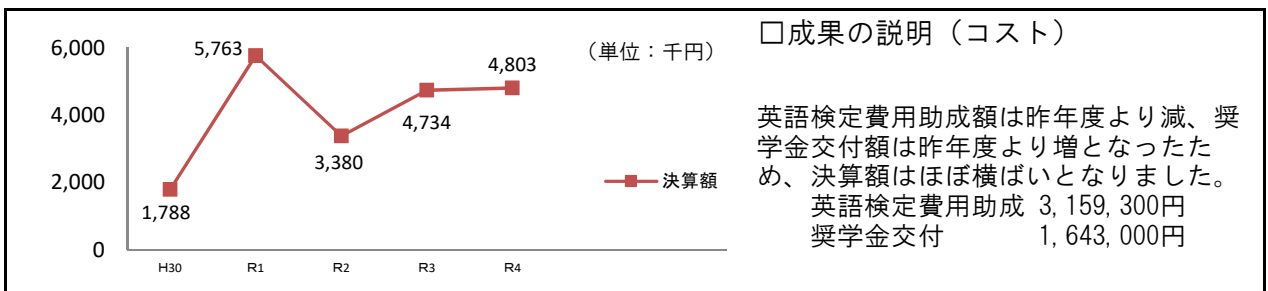
1 英語検定費用助成人数



2 英語検定料助成の周知活動及び受験環境の取組



3 決算額の推移



令和4年度の評価	ホームページ掲載やチラシ配布等で制度周知に努めましたが、英語検定費用助成人数を目標値に到達させることができませんでした。	
今後の方向性	縮小	事業開始から5年が経過し事業の見直しを行った結果、令和4年度をもって終了することとなりました。

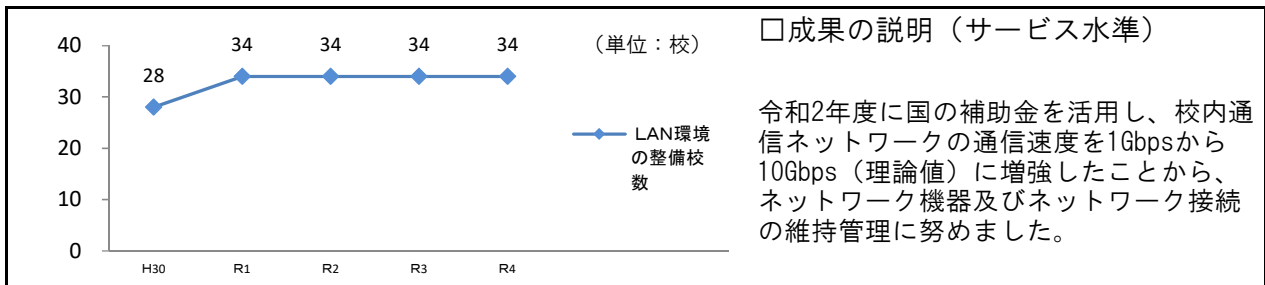
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

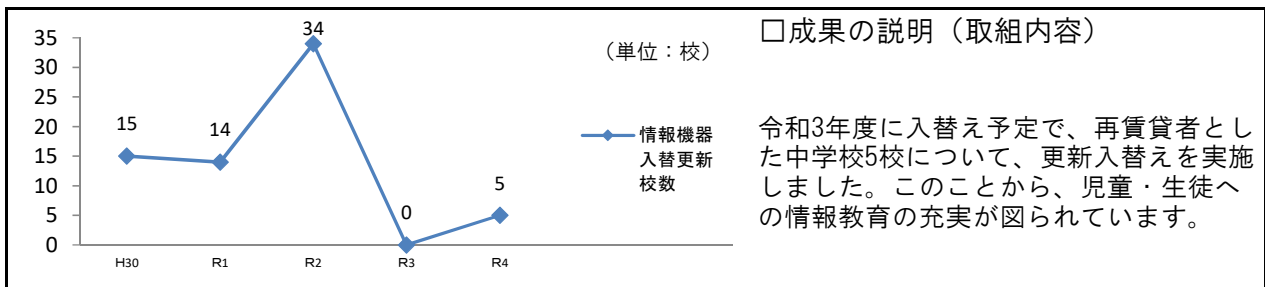
施策番号	1-2-3	実施計画No.	29	重点プロジェクトNo.	①-25	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	小・中学校情報教育推進事業					課名	学校総務課	
事業内容	小・中学校のコンピュータ等の情報機器を整備することで、児童・生徒に対する情報教育を推進し、学校教育の充実を図ります。					事業開始年度	平成17年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	小・中学校LAN環境の整備校数				現状値 (平成29年度)	28校		
現状と課題	小・中・義務教育学校に整備している情報機器（タブレット型パソコン及びプリンター等の周辺機器）及び校内ネットワークについて、維持管理及び入替更新をしています。児童生徒1人1台のタブレット型パソコン（約1万7千台）とそれに伴う機器を、維持管理していくことが課題となっています。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	28校	34校	34校	34校	34校
成果指標の実績値	28校	34校	34校	34校	34校
達成率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
決算額(千円)	284,282	419,704	1,721,203	435,453	545,036

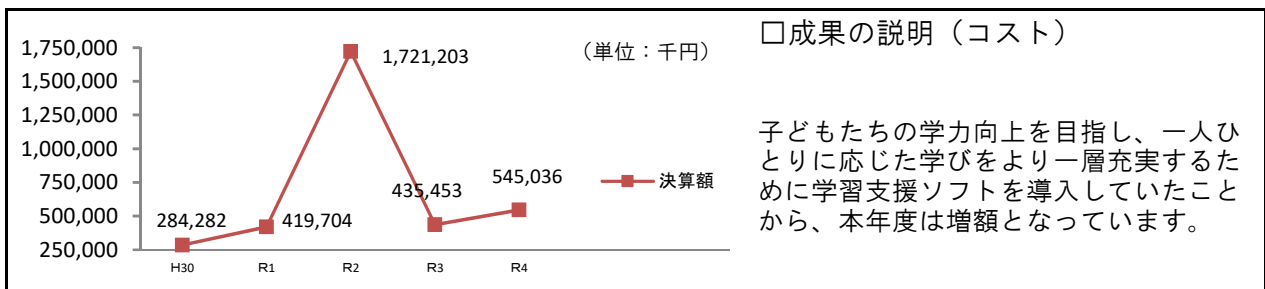
1 小・中学校LAN環境の整備校数



2 情報機器入替更新校数



3 決算額の推移



令和4年度の評価	賃貸借で整備している情報機器、国からの補助金を活用することにより整備したタブレット型パソコン及び校内通信ネットワークについて、学習環境に支障がないように維持管理するとともに、令和4年6月からタブレット型パソコンで使用する学習支援ソフトを導入したことにより、児童・生徒への情報教育の充実を図りました。	
今後の方向性	現状維持	パソコン等の情報手段を活用するには、必要な環境を整えることが必要です。引き続き、情報活用判断・情報活用能力・情報モラルを育成するため、情報機器及び校内ネットワークの維持管理や入替更新により、情報教育環境の充実を図ります。

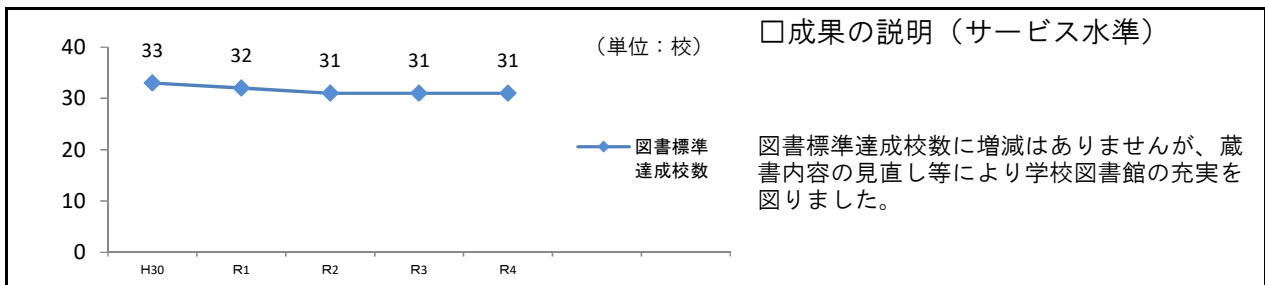
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

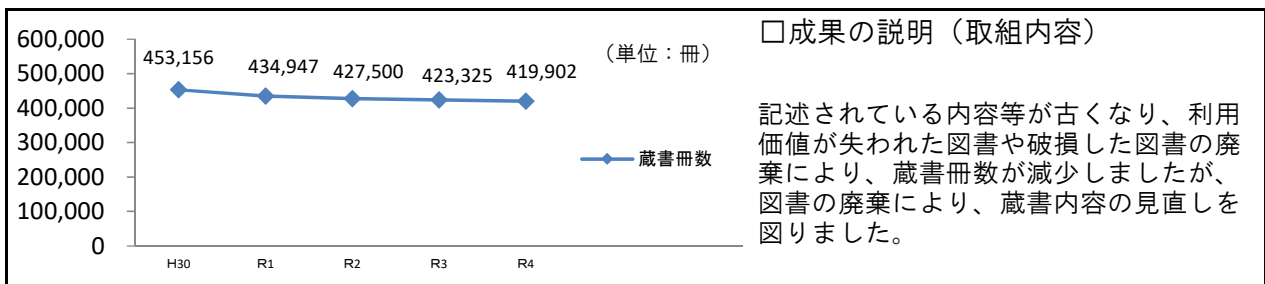
施策番号	1-2-3	実施計画No.	30	重点プロジェクトNo.	①-26	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	小・中学校図書館整備事業					課名	学校総務課	
事業内容	小学校図書館に図書を整備するとともに、学校図書館支援員を配置し、学校教育の充実を図ります。また、中学校図書館に図書を整備し、学校教育の充実を図ります。					事業開始年度	平成17年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	小・中学校図書館 図書標準達成校数				現状値 (平成29年度)	31校		
現状と課題	学校教育の充実を図るため、学校図書館の蔵書冊数について、全ての小・中・義務教育学校で学校図書館図書標準の達成に努めます。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	32校	33校	34校	34校	34校
成果指標の実績値	33校	32校	31校	31校	31校
達成率	103.1%	97.0%	91.2%	91.2%	91.2%
決算額(千円)	23,279	23,540	22,243	23,511	23,577

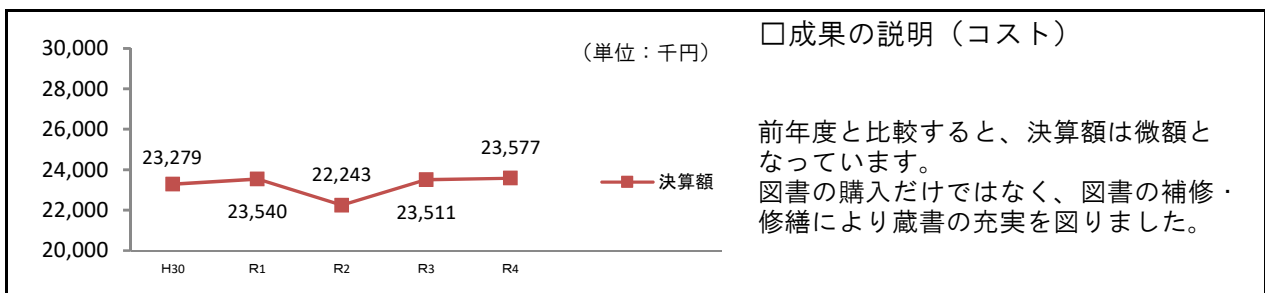
1 小・中学校図書館 図書標準達成校数



2 全小・中学校学校図書館の蔵書冊数



3 決算額の推移



令和4年度の評価	蔵書冊数は減少しましたが、各学校に購入費用を予算措置することで、各学校は学校図書を計画的に購入することができ、学習環境の充実に繋がれたものと考えます。また、学校図書館の充実を図るため、平成26年度より継続して小学校22校、義務教育学校1校の図書館に、学校図書館支援員6名（3校から4校に対し1名）を配置し、児童の読書意欲の向上や適切な蔵書の活用等に取り組みました。	
今後の方向性	現状維持	各学校の児童・生徒数に応じて購入費用を予算措置していますが、図書標準が未達成である学校については、傾斜配分を行うことを継続します。引き続き、学校図書館支援員を活用して、小学校・義務教育学校図書館の充実を図ります。また、中学校についても司書職員の訪問支援により、中学校図書館の充実を図ります。

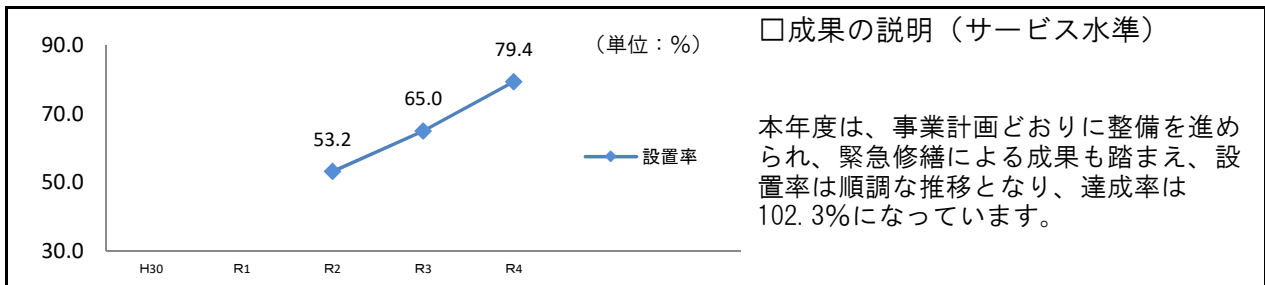
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

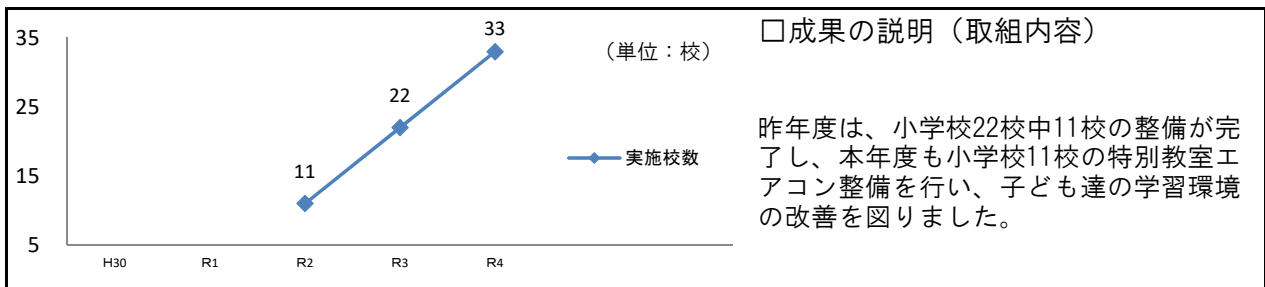
施策番号	1-2-3	実施計画No.	31	重点プロジェクトNo.	①-27	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	特別教室エアコン整備事業					課名	施設課	
事業内容	子ども達の学習環境の改善を図るため、小中学校等の特別教室のうち4教室にエアコン整備を実施します。					事業開始年度	令和元年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	特別教室のエアコン設置率				現状値 (令和元年度)	40.6%		
現状と課題	近年、気温が35度以上となる猛暑日が増える中、学校における暑さ対策は全国的な課題となっています。現在は、エアコンが設置されていない特別教室の夏の暑さ対策は、窓の開放や扇風機の活用により対応していることから計画的な整備が必要となっています。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	—	—	53.2%	65.0%	77.6%
成果指標の実績値	—	—	53.2%	65.0%	79.4%
達成率	—	—	100.0%	100.0%	102.3%
決算額(千円)	—	—	170,302	180,826	318,450

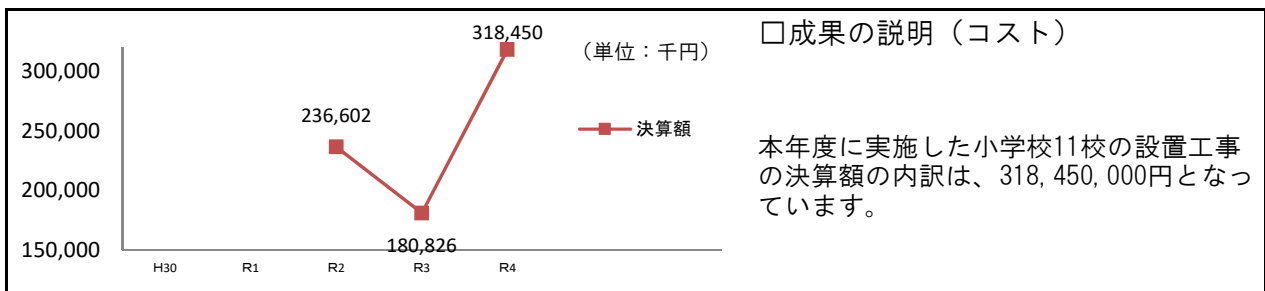
1 特別教室のエアコン設置率



2 エアコン整備工事の実施校数（累計）



3 決算額の推移



令和4年度の評価	小学校22校中残りの11校の特別教室エアコン整備事業については、令和3年度に設計、令和4年度に工事を実施し、子ども達の学習環境の改善を図ることができました。	
今後の方向性	縮小	市内小学校22校、中学校11校、義務教育学校1校の特別教室エアコン整備については、令和4年度に工事を実施し、本事業が完了しました。

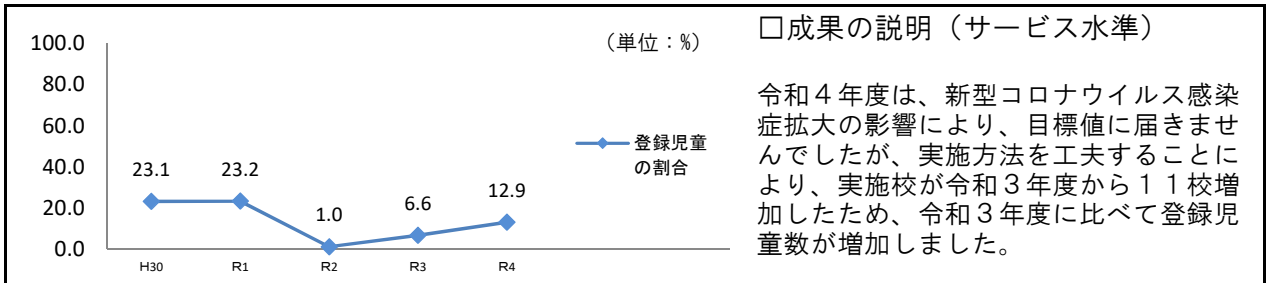
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

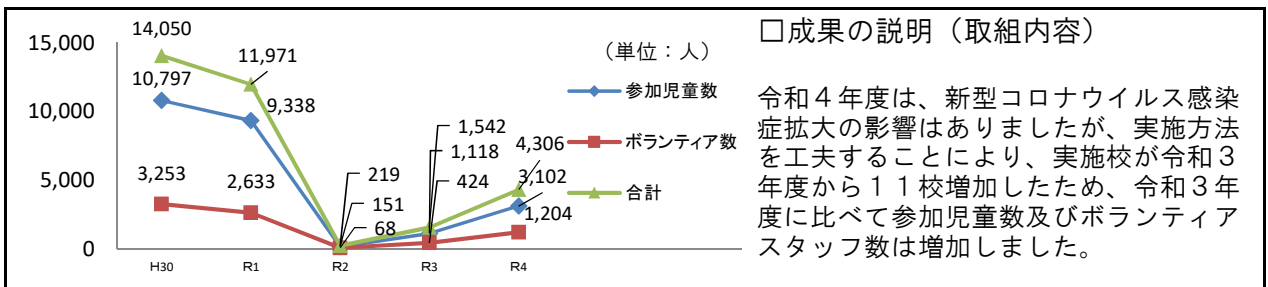
施策番号	1-3-1	実施計画No.	32	重点プロジェクトNo.	①-28	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	放課後子ども教室推進事業					課名	社会教育課	
事業内容	放課後等における子どもたちの安心・安全な活動およびさまざまな体験活動の場として「放課後子ども教室」を実施するものです。					事業開始年度	平成20年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	放課後子ども教室の登録児童の割合					現状値 (平成29年度)	27.8%	
現状と課題	未来を担う子どもたちを健やかに育むためには、学校・家庭及び地域住民等がそれぞれの役割と責任を自覚しつつ、地域全体で子どもたちを育む体制をつくることが重要と考えます。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	28.5%	28.5%	29.0%	29.5%	30.0%
成果指標の実績値	23.1%	23.2%	1.0%	6.6%	12.9%
達成率	81.1%	81.4%	3.4%	22.4%	43.0%
決算額(千円)	1,611	1,882	616	762	1,190

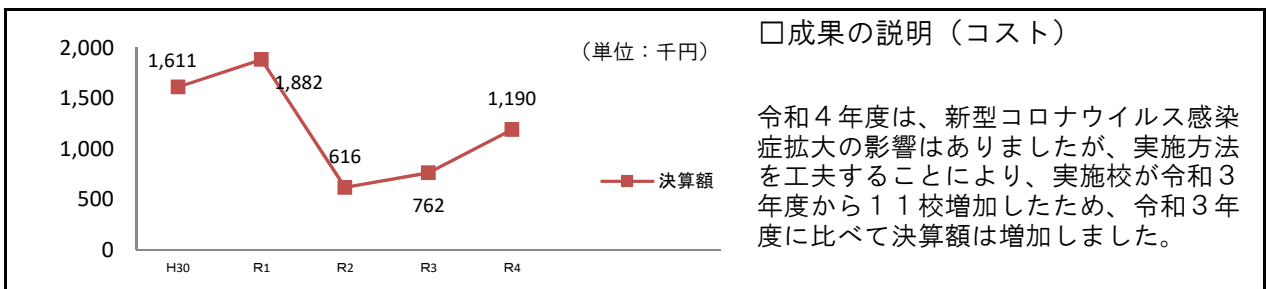
1 放課後子ども教室の登録児童の割合



2 放課後子ども教室の参加児童及びボランティアスタッフ延べ人数



3 決算額の推移



令和4年度の評価	令和4年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響はありましたが、実施方法や内容を工夫することで、実施校が令和3年度から11校増加したため、令和3年度に比べて参加児童数が増加し、登録児童数も増加しました。	
今後の方向性	現状維持	子どもたちの多様な体験活動を推進するため、各放課後子ども教室の実情に合わせて実施方法を検討し、活動プログラムの充実を図ることで、休止している教室の再開を図っていきます。

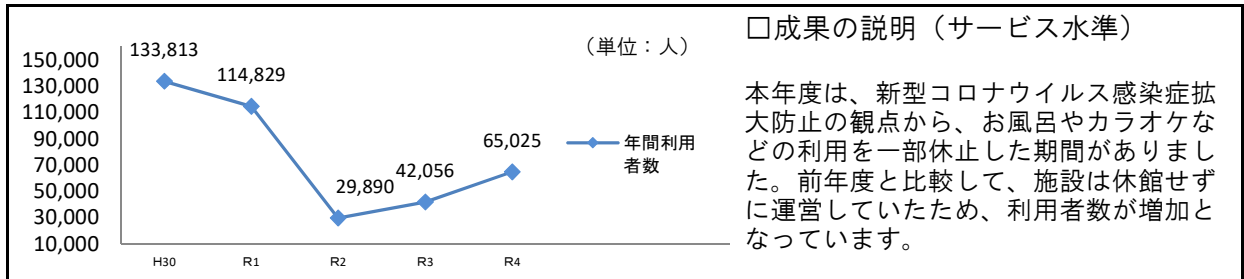
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

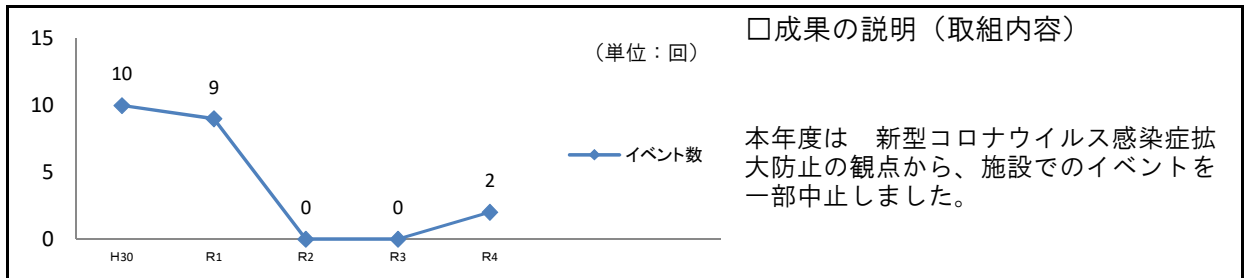
施策番号	2-1-1	実施計画No.	35	重点プロジェクトNo.	①-29	-	補助金No.	-	
事業名 (補助金名)	高齢者福祉施設運営事業					課名	高齢者支援課		
事業内容	高齢者福祉センター(幸楽荘・寿楽荘)、高齢者憩いの家(大枝・庄和)及び憩いの家(葉師沼・大池)を運営し、高齢者の憩いと安らぎの場として、また、高齢者の自主的な活動や健康づくりの場として提供するものです。					事業開始年度	平成17年度		
						事業見直し年度	令和2年度		
成果指標	高齢者福祉施設の年間利用者数					現状値 (平成29年度)	136,808人		
現状と課題	高齢者の憩いと安らぎの場として、多くの高齢者に利用いただいておりますが、利用者が快適に安心して利用できるよう、施設の維持管理が求められています。施設の老朽化に伴う適正な維持管理が課題となっています。								

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	137,850人	138,880人	139,920人	140,960人	142,000人
成果指標の実績値	133,813人	114,829人	29,890人	42,056人	65,025人
達成率	97.1%	82.7%	21.4%	29.8%	45.8%
決算額(千円)	84,071	59,981	64,924	72,407	73,304

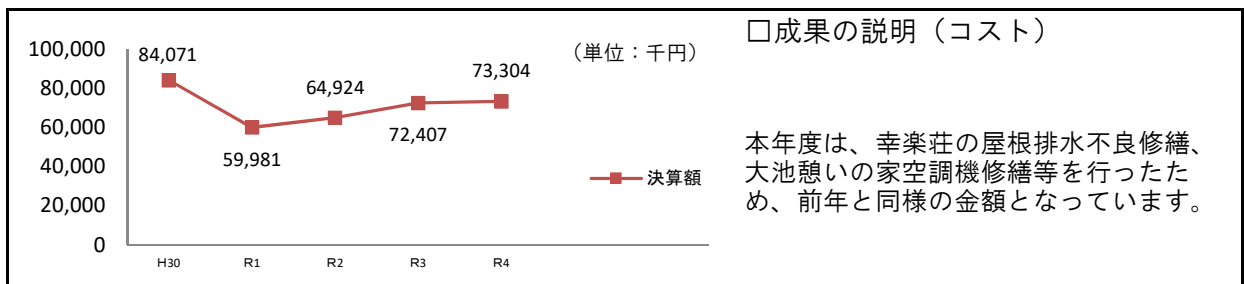
1 高齢者福祉施設の年間利用者数



2 高齢者福祉施設の自主又は共催・後援イベント数



3 決算額の推移



令和4年度の評価	本年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、お風呂やカラオケなどの利用を一部休止した期間ありましたが、施設を休館せずに運営したことから、前年度よりも利用者数は増加しています。今後も施設の修繕等を行い、利用者が快適に、安心して施設を利用できるよう、施設の運営を行っていきます。	
今後の方向性	現状維持	引き続き、利用者が快適に安心して利用できるよう、必要な修繕等を行い施設を維持管理します。また、施設の周知を図ることにより、多くの高齢者に来館していただけるよう施設の運営を行っていきます。

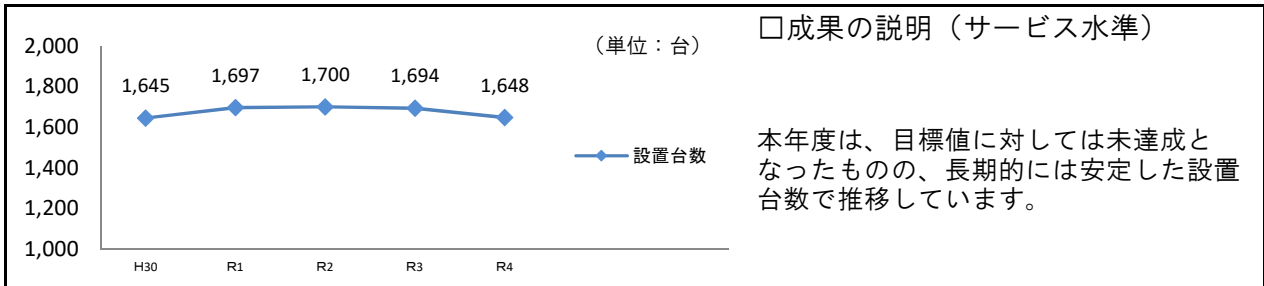
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

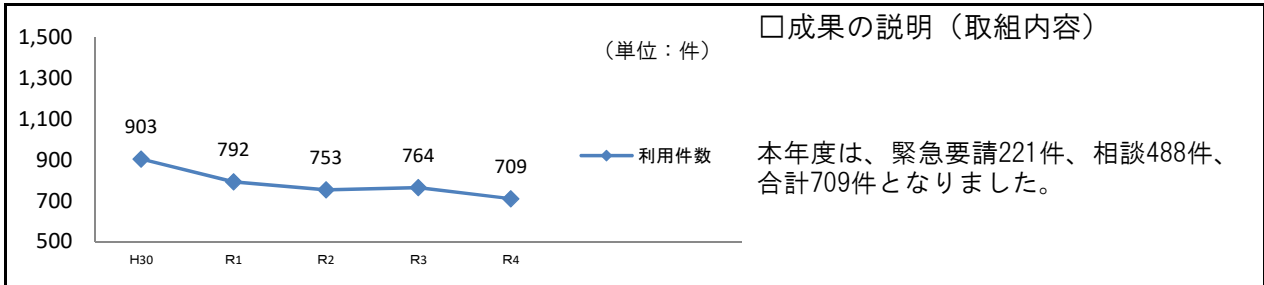
施策番号	2-1-2	実施計画No.	36	重点プロジェクトNo.	①-30	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	緊急通報システム設置事業					課名	高齢者支援課	
事業内容	一人暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯などに対し、急病などの緊急時に迅速な対応を図るため、緊急通報システムを設置します。					事業開始年度	平成17年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	緊急通報システム設置台数					現状値 (平成29年度)	1,730台	
現状と課題	高齢人口が増えるとともに、家族構成については核家族化が進み、高齢者の単身世帯、夫婦のみ世帯が増加しています。住み慣れた地域で自立した生活を送ることができるよう緊急時に対応できるサービスを提供することが重要であり、地域での孤立化を防ぐことが課題となっています。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	1,759台	1,839台	1,919台	1,999台	2,079台
成果指標の実績値	1,645台	1,697台	1,700台	1,694台	1,648台
達成率	93.5%	92.3%	88.6%	84.7%	79.3%
決算額(千円)	23,759	23,983	24,617	24,915	24,351

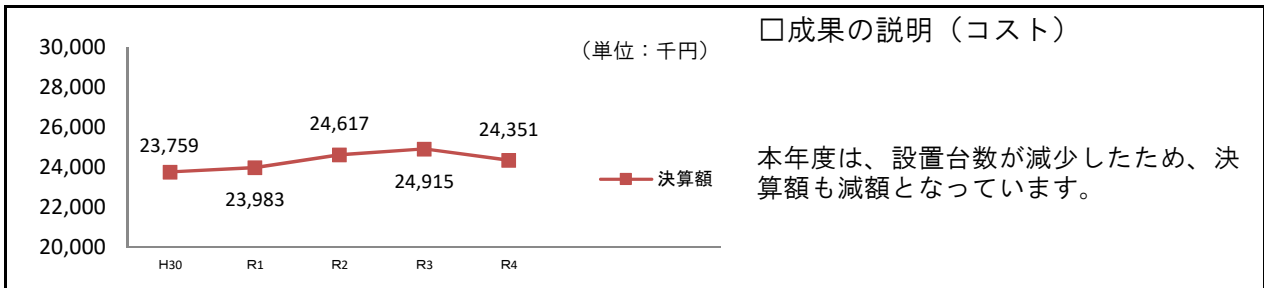
1 緊急通報システム設置台数の推移



2 利用件数の推移



3 決算額の推移



令和4年度の 評価	本年度は、目標値に対して未達成となったものの、パンフレットの活用や地域包括支援センターなどによる普及啓発を行い、一人暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯に緊急通報システムを設置したことにより、高齢者本人や家族の日常の安心につながることができました。	
今後の 方向性	現状維持	一人暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯の日常生活の安全確保に有効な手段であるため、今後も普及啓発に努めていきます。

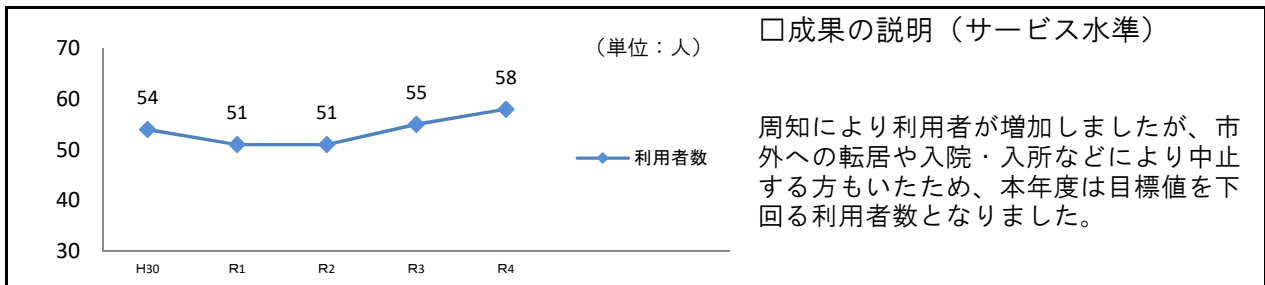
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

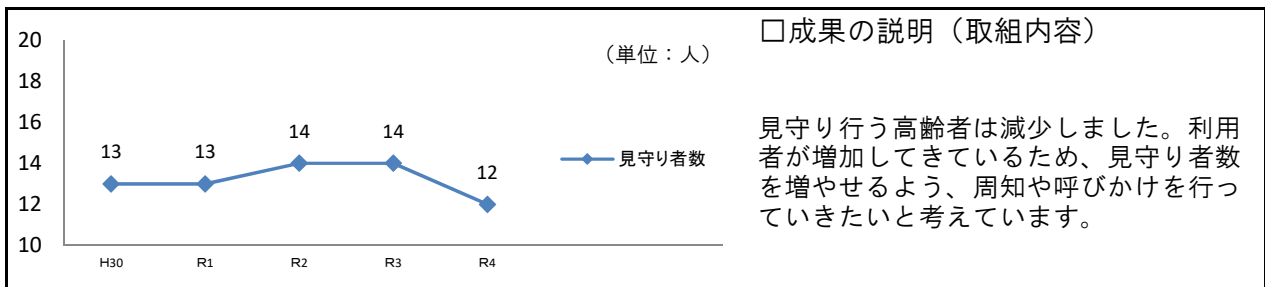
施策番号	2-1-2	実施計画No.	37	重点プロジェクトNo.	①-31	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	高齢者安心見守り事業					課名	高齢者支援課	
事業内容	高齢者の孤独感の解消、高齢者の生きがいづくりのため、ひとり暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯等に対し、現在ではいきいきクラブの会員が定期的な電話、訪問により見守りを行います。					事業開始年度	平成24年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	高齢者安心見守り事業利用者数					現状値 (平成29年度)	49人	
現状と課題	高齢者の増加が見込まれる状況においては、利用者の増加に繋げていくことで、高齢者の見守り体制を強化していく必要があります。利用者は増加していますが、目標値を下回っているため、事業の周知方法の検討など、情報発信の強化が課題となっています。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	50人	55人	60人	65人	70人
成果指標の実績値	54人	51人	51人	55人	58人
達成率	108.0%	92.7%	85.0%	84.6%	82.9%
決算額(千円)	458	482	570	666	686

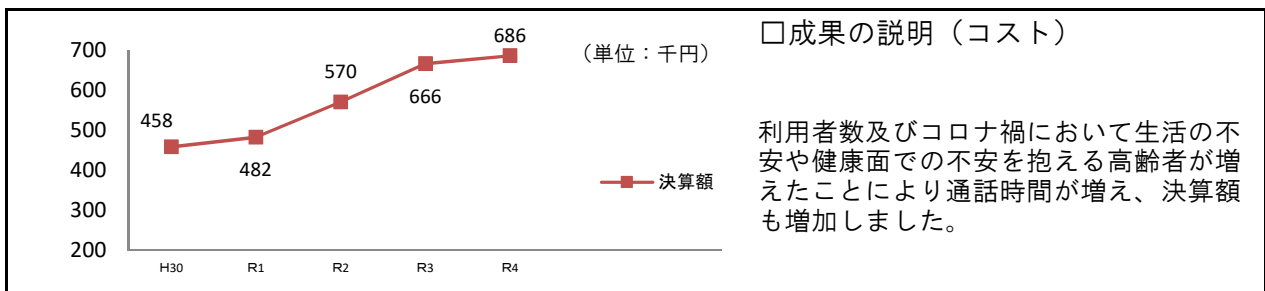
1 高齢者安心見守り事業利用者数



2 高齢者安心見守り事業見守り者数



3 決算額の推移



令和4年度の 評価	利用者で見守りを行う高齢者は増加したものの、利用者の目標値を下回る結果となりました。また、コロナ禍において生活の不安や健康面での不安を抱える高齢者が増えたことにより通話時間が増え、決算額も増加しました。利用者の孤独感の解消や安否確認のため連絡をすることにより、利用者の安心感につなげることができました。	
今後の 方向性	拡充	高齢者の孤独感の解消の目的の他、高齢者が自らの手で地域社会及び地域福祉を支えていくを目的としており、見守りを委託しているいきいきクラブ連合会とのさらなる連携を図ることで、見守りの受け入れ体制を整備しながら、見守る側の高齢者の生きがいづくりに繋げてまいります。また、従来の市公式ホームページや広報かすかべ等での周知の他、民生委員や地域包括支援センターを通じた高齢者へのチラシの配布等により周知を図り、利用者数の増加に繋げてまいります。

【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

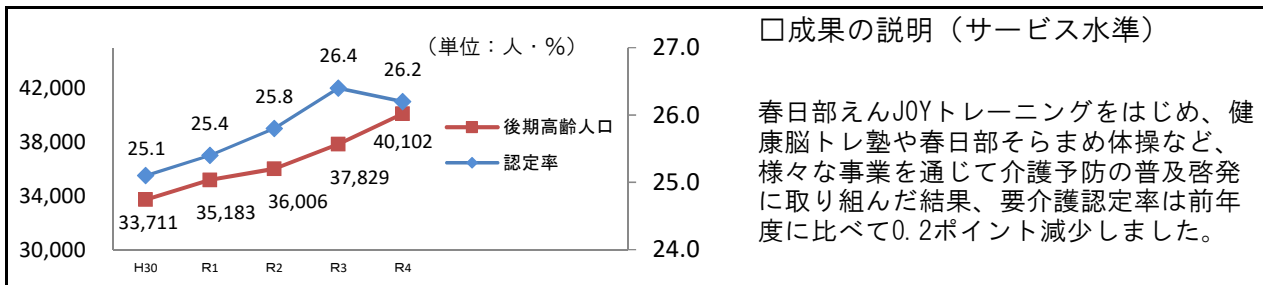


◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

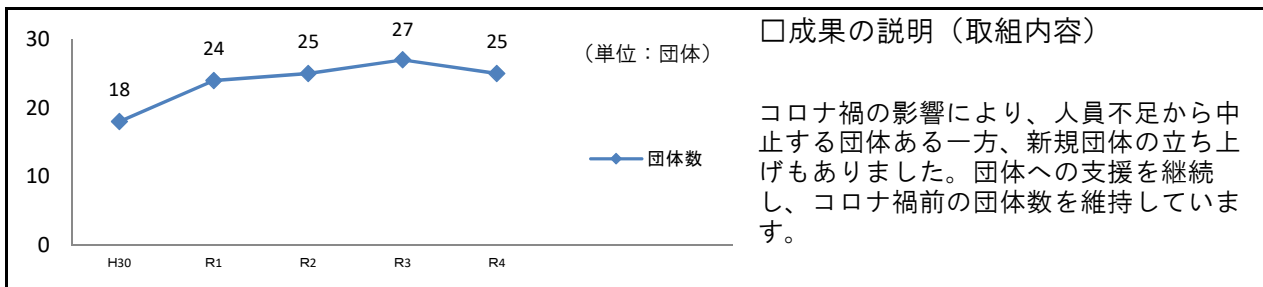
施策番号	2-1-3	実施計画No.	39	重点プロジェクトNo.	①-32	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	住民主体型介護予防事業					課名	介護保険課	
事業内容	住民主体型の介護予防事業である「春日部えんJOYトレーニング」を実施しながら地域での支え合いや見守りを促します。					事業開始年度	平成29年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	75歳以上要介護認定率				現状値 (平成29年度)	26.0%		
現状と課題	団塊の世代の方々が75歳を迎える令和7年（2025年）を迎えるにあたり、要介護認定を受けなくても利用できる介護予防・生活支援サービスを充実させる必要があります。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	26.0%	26.0%	26.0%	26.0%	26.0%
成果指標の実績値	25.1%	25.4%	25.8%	26.4%	26.2%
達成率	103.6%	102.4%	100.8%	98.5%	99.2%
決算額(千円)	676	631	488	512	575

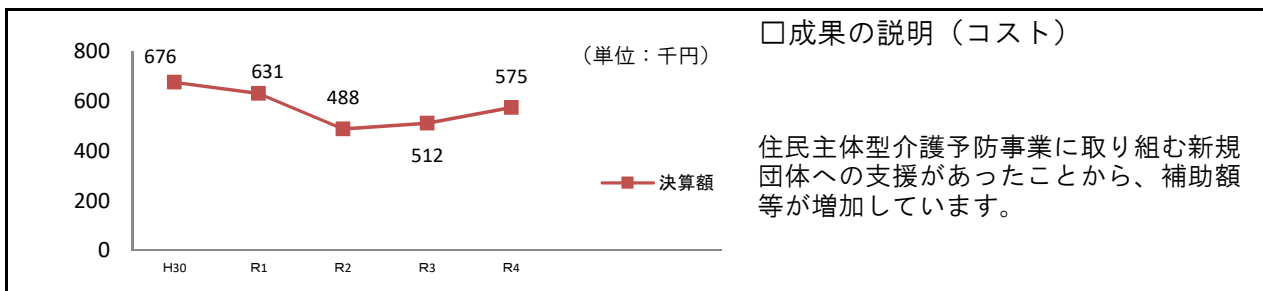
1 75歳以上要介護認定率



2 春日部えんJOYトレーニング実施団体数



3 決算額の推移



令和4年度の評価	実施団体に対して、コロナ禍においても効果的なトレーニングや地域のつながりを感じることができるよう感染対策の工夫の助言等支援を継続しました。これにより、コロナ禍以前の団体数水準を維持しています。	
今後の方向性	現状維持	感染予防に配慮した安全な実施方法を共有したうえで、フレイル予防及び介護予防、地域の支えあいや見守りに対する意識啓発を行っていきます。また、春日部えんJOYトレーニングの実施団体が増加するよう関係機関等と連携を図り、新規団体の立ち上げや既存団体の活動継続に向けた支援をしていきます。

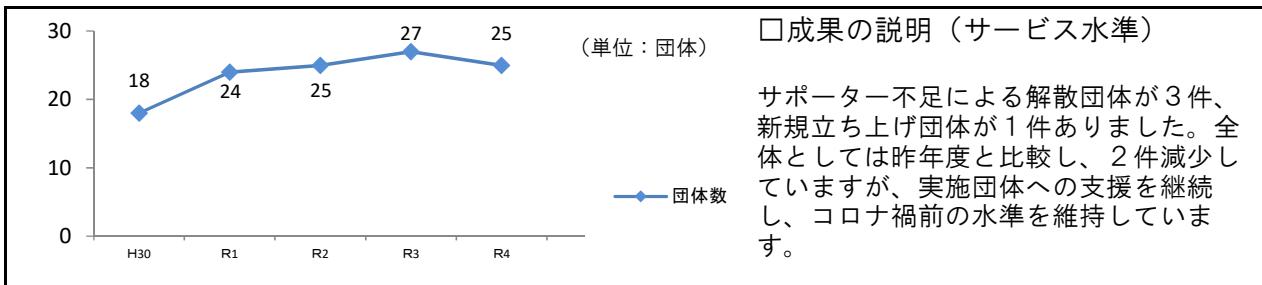
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

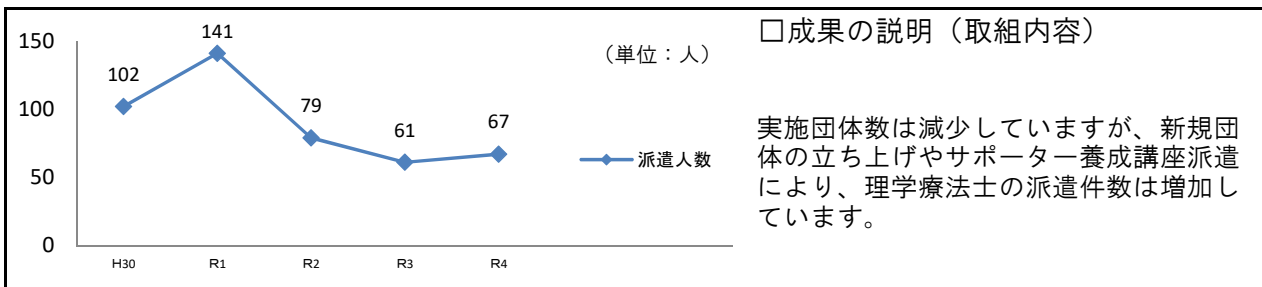
施策番号	2-1-3	実施計画No.	40	重点プロジェクトNo.	①-33	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	地域リハビリテーション活動支援事業					課名	介護保険課	
事業内容	「春日部えんJOYトレーニング」を実施するにあたり、理学療法士を派遣し、技術的助言を行うなど総合的に支援します。					事業開始年度	平成29年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	春日部えんJOYトレーニング実施団体数				現状値 (平成29年度)	14団体		
現状と課題	団塊の世代の方々が75歳を迎える令和7年（2025年）を迎えるにあたり、住民主体型の介護予防事業を充実させる必要があります。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	16団体	18団体	20団体	22団体	24団体
成果指標の実績値	18団体	24団体	25団体	27団体	25団体
達成率	112.5%	133.3%	125.0%	122.7%	104.2%
決算額(千円)	914	1,317	667	1,056	720

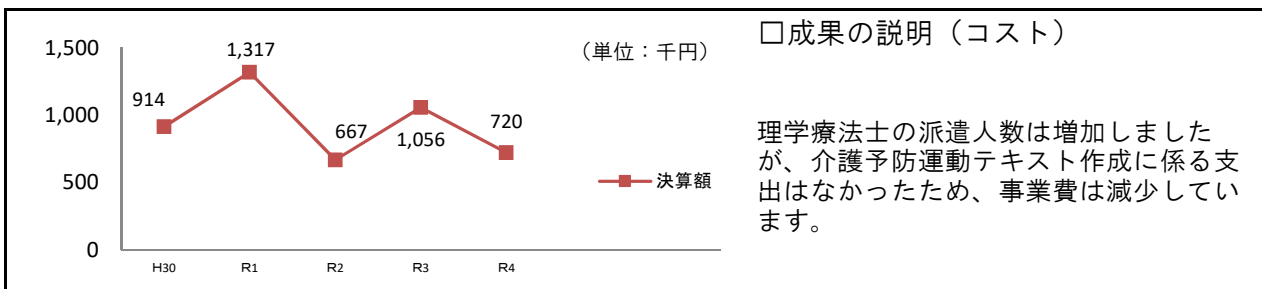
1 春日部えんJOYトレーニング実施団体数



2 理学療法士派遣延人数



3 決算額の推移



令和4年度の 評価	サポーター不足による解散団体があるものの、サポーター養成講座や活動団体の実施会場に理学療法士を派遣し、感染予防に配慮した実施方法等の技術的助言を行うなど、効果的なトレーニング実施に努めました。また、新規団体の立ち上げ等理学療法士の派遣回数も増えてい	
今後の 方向性	現状維持	春日部えんJOYトレーニングの実施会場に理学療法士を派遣し、新規団体や既存団体の参加者に技術的助言などの支援を行い、他介護予防事業との連携も含め、より効果的な住民主体型の介護予防活動の実施を図ります。

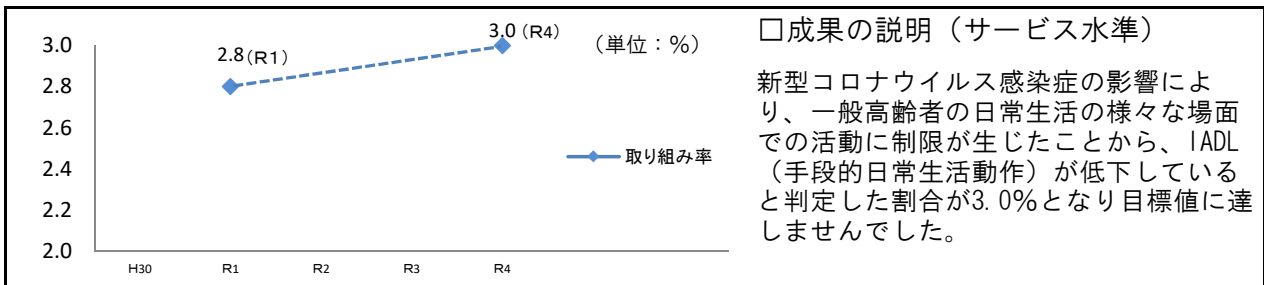
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

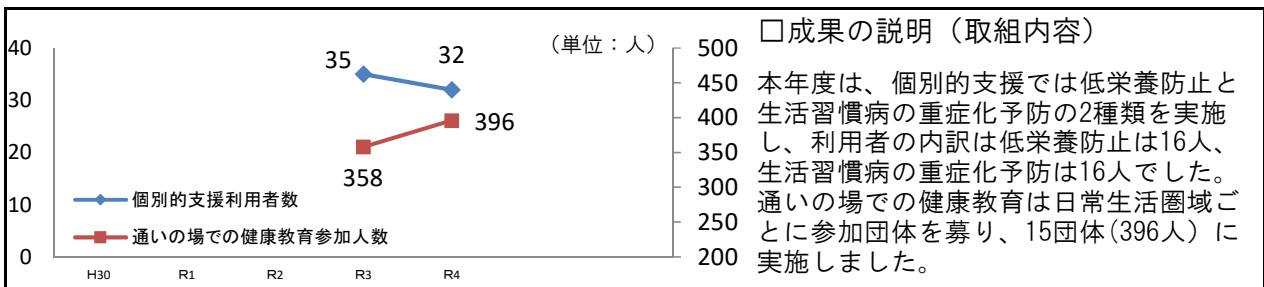
施策番号	2-1-3	実施計画No.	41	重点プロジェクトNo.	①-34	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	いきいきシニアライフ応援事業					課名	健康課	
事業内容	市民の健康寿命の延伸を図るため、地域資源を活用し、保健事業と介護予防事業と一体的に実施する。					事業開始年度	令和3年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	「IADLの低下」リスク該当の一般高齢者の割合					現状値 (平成元年度)	2.8%	
現状と課題	効果的なフレイル予防対策として、①医療、健診、介護等の情報をもとに健康課題を分析し、②その結果を基に地域の高齢者の通いの場において健康教育を実施すること、③健診結果から個別指導が必要な75歳以上の高齢者に対して、家庭訪問による個別的支援を行うことが必要です。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	-	-	2.7%	2.6%	2.5%
成果指標の実績値	-	-	-	-	3.0%
達成率	-	-	-	-	83.3%
決算額(千円)	-	-	-	2,818	3,448

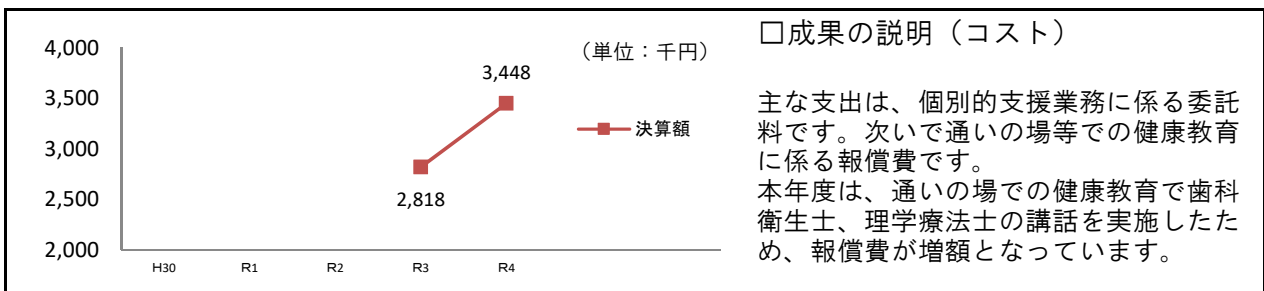
1 「IADLの低下」リスク該当の一般高齢者の割合（介護予防・日常生活ニーズ調査）



2 いきいきライフ応援事業の参加者数



3 決算額の推移



令和4年度の 評価	医療、健診、介護等の情報をもとに分析・抽出した健康課題を基に実施計画を策定しました。個別的支援は参加者が設定した目標は74.1%達成できました。通いの場での健康教育では、新規参加者の栄養リスクを2.7%低減させることができました。また、口腔ケア講話を受講した参加者は、未受講者よりも口腔フレイルリスクが1.3%低減しました。本事業を通し、参加者にフレイル予防への意識付けや生活の中での取り組みが期待でき、また取り組みの継続を支援することでIADLの向上につながると考えます。	
今後の 方向性	現状維持	個別的支援は、利用者数が32人と想定を下回ったことから、次年度は対象者を増やすため、対象者への勧奨方法を見直していきます。通いの場の健康教育では、口腔ケア講話を実施した圏域では、口腔フレイルリスクの低減が見られたことから、参加団体に口腔ケア講話の実施を推奨していきます。また、全域において、運動機能リスクの増加が見られたことから、理学療法士の講話の実施に向けて企画調整していきます。

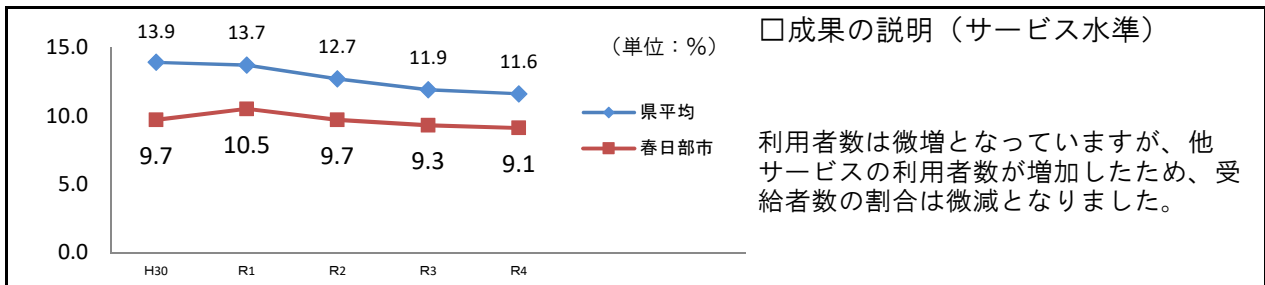
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

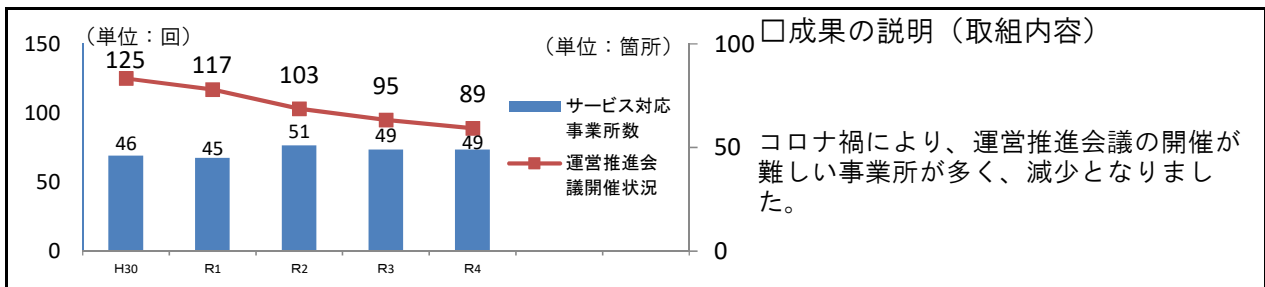
施策番号	2-1-4	実施計画No.	42	重点プロジェクトNo.	①-35	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	地域密着型介護サービス給付事業					課名	介護保険課	
事業内容	要介護認定された被保険者が、地域密着型介護サービスを利用した場合に給付します。					事業開始年度	平成18年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	認定者数に対する地域密着型サービス受給者数の割合					現状値 (平成29年度)	7.7%	
現状と課題	高齢者世帯や一人暮らし高齢者、認知症高齢者が増加しており、住み慣れた地域で必要なサービスを受けることが出来るように、介護保険サービスの適正な給付に努める必要があります。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	8.3%	9.0%	9.6%	10.3%	10.9%
成果指標の実績値	9.7%	10.5%	9.7%	9.3%	9.1%
達成率	116.9%	116.7%	101.0%	90.3%	83.5%
決算額(千円)	1,304,585	1,356,851	1,416,239	1,477,165	1,560,486

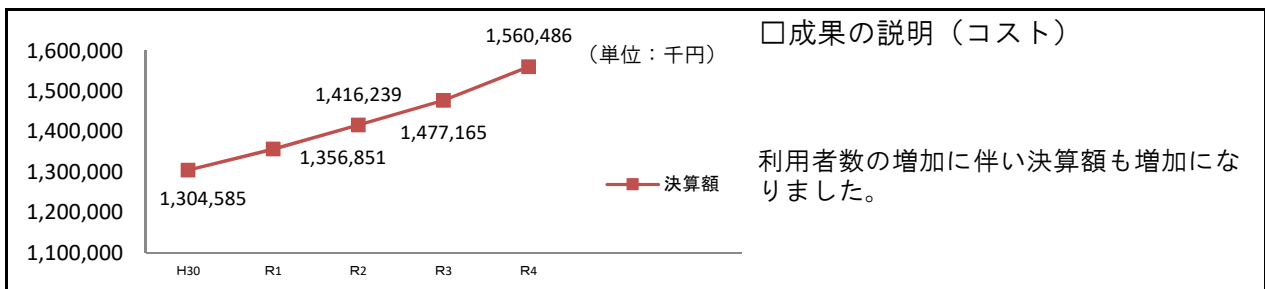
1 認定者数に対する地域密着型サービス受給者数の割合の推移



2 サービス利用環境整備の推移



3 決算額の推移



令和4年度の評価	利用者は微増となっていますが、他サービスの利用者数が増加したため、受給者数の割合は微減となりました。	
今後の方向性	現状維持	地域密着型サービスをはじめ様々な介護サービスを組み合わせながら、必要な人に必要なサービスが提供できるように支援していきます。

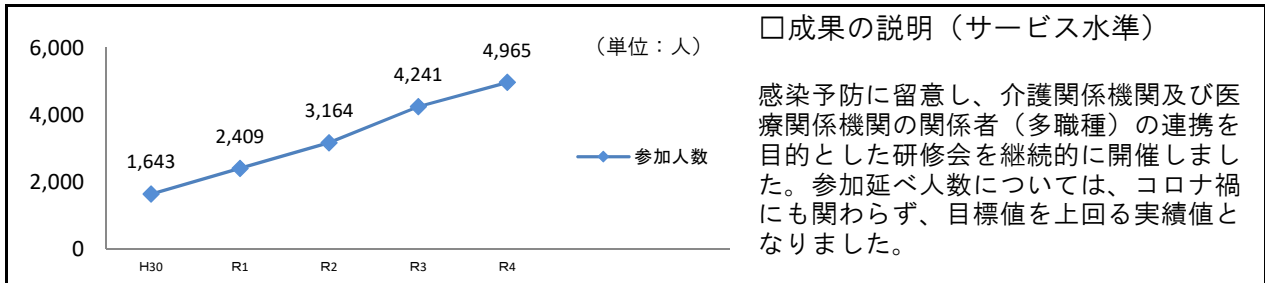
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

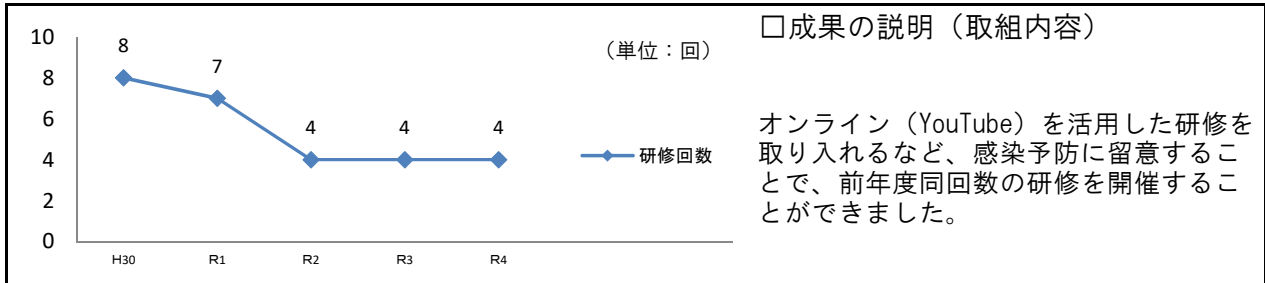
施策番号	2-1-4	実施計画No.	43	重点プロジェクトNo.	①-36	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	在宅医療・介護連携推進事業					課名	介護保険課	
事業内容	医療と介護を必要とする高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう医療・福祉・介護等の関係機関の連携体制を強化し、地域全体で高齢者を支えていく体制の構築を推進していきます。					事業開始年度	平成27年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	医療・介護関係者の研修参加延べ人数				現状値 (平成29年度)	836人		
現状と課題	地域包括ケアシステムの中核となる地域包括支援センターの機能強化を図ってきました。今後は、地域包括ケアシステムを推進し、高齢者の多様化・複雑化している問題への対応を強化し、医療ニーズの高い高齢者を在宅で包括的に支えるためのサービス体制の構築をしていく必要があります。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	1,300人	1,800人	2,300人	2,800人	3,300人
成果指標の実績値	1,643人	2,409人	3,164人	4,241人	4,965人
達成率	126.4%	133.8%	137.6%	151.5%	150.5%
決算額(千円)	23,700	23,700	23,700	23,700	23,700

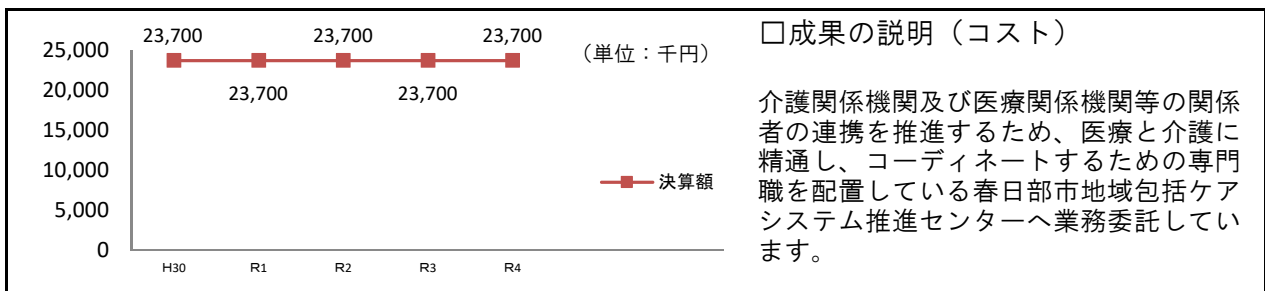
1 医療・介護関係者の研修参加延べ人数の推移



2 医療・介護関係者の研修実績回数



3 決算額の推移



令和4年度の 評価	感染予防に留意しながらの現地開催、オンラインでの開催になりましたが、コロナ禍における多職種の役割や様々な専門職の立場からの考えを伺うなど、継続して現状や課題について具体的な情報・意見交換ができる場として、重要な役割を果たしました。	
今後の 方向性	現状維持	介護関係機関及び医療関係機関等の多職種の研修・交流を重ねることで、お互いの分野の知識を深め、お互いの役割を理解し、多職種の顔の見える関係づくりを図ります。これにより、医療・介護等の関係機関の連携体制を強化し、チームで地域を支えていく体制の構築を進めていきます。

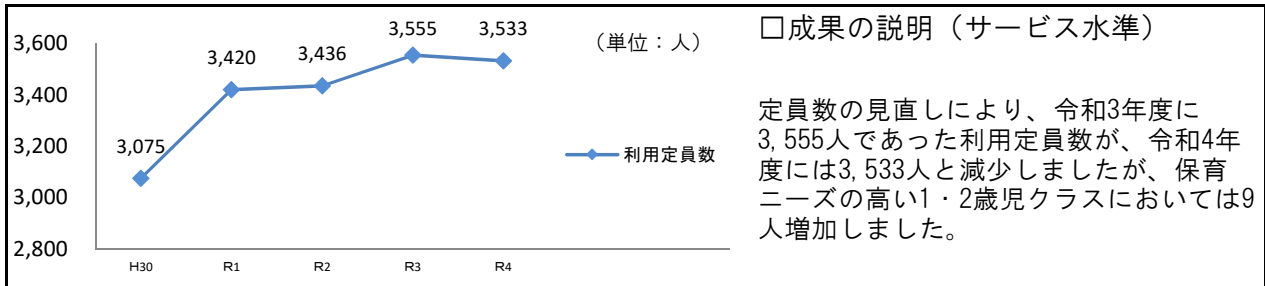
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

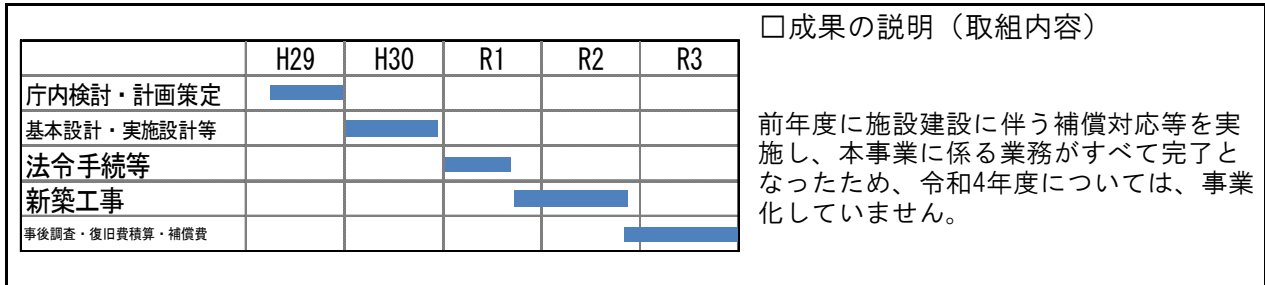
施策番号	1-1-2	実施計画No.	12・46	重点プロジェクトNo.	①-8	①-37	補助金No.	-	
事業名 (補助金名)	複合型子育て支援施設整備事業					課名	保育課		
事業内容	保育所（病児保育事業対応）及び児童発達支援センターの複合施設を整備し、令和3年4月開所を目指すものです。					事業開始年度	平成30年度		
						事業見直し年度	令和2年度		
成果指標	保育所等の利用定員数					現状値 (平成29年度)	2,812人		
現状と課題	令和3年度をもって事業が完了しています。								

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	3,099人	3,441人	3,460人	3,646人	3,646人
成果指標の実績値	3,075人	3,420人	3,436人	3,555人	3,533人
達成率	99.2%	99.4%	99.3%	97.5%	96.9%
決算額(千円)	72,407	116,878	9,710,544	22,111	—

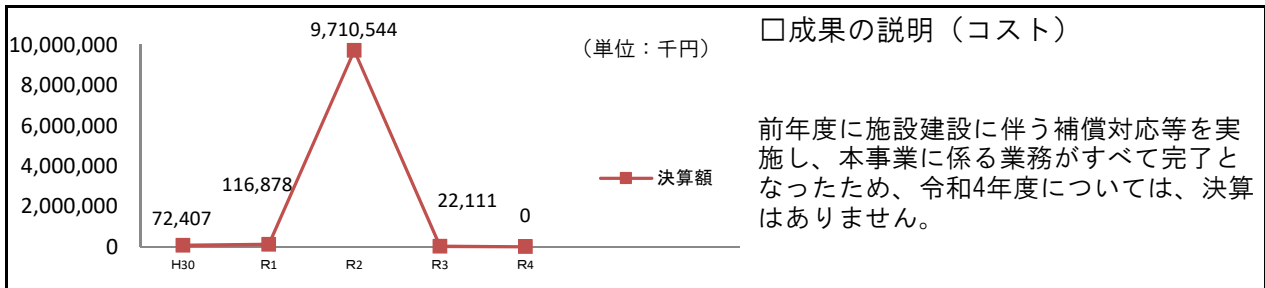
1 保育所等の利用定員数の推移



2 事業の進捗状況



3 決算額の推移



令和4年度の評価	前年度に本事業に係る業務がすべて終了となり、令和4年度も含め、今後本事業の実施はありません。	
今後の方向性	現状維持	県内初の複合型子育て支援施設として、保育所と児童発達支援センターの一体的な運営によるインクルーシブ保育の実践に取り組んでいくと共に、指定管理者と連携し、地域に根差した施設運営を目指します。

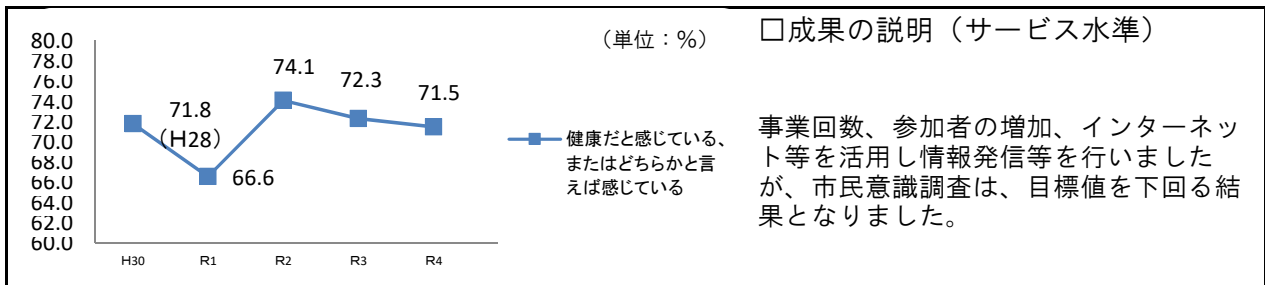
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

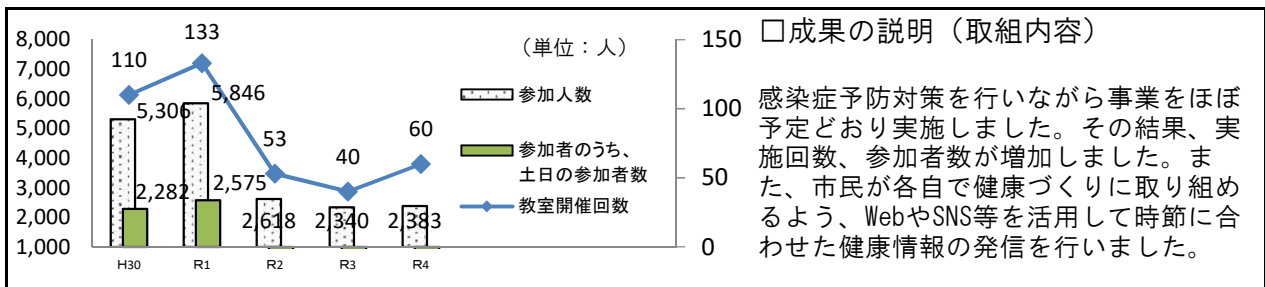
施策番号	2-4-1	実施計画No.	51	重点プロジェクトNo.	①-38	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	健康づくり推進事業					課名	健康課	
事業内容	市民自らの健康づくりを推進するために、健康づくり計画に基づき、市民団体の育成、健康教育・健康相談および心の健康などに関する各種事業の拡充を図ります。					事業開始年度	平成20年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	心身ともに健康だと感じている、またはどちらかといえば感じている市民の割合（市民意識調査）				現状値 (平成29年度)	71.8% (平成28年度)		
現状と課題	健康への意識は高まっているものの、健康づくりに対して関心の低い層は運動習慣のない割合が高く、生活習慣病の予防への取り組みが必要となっています。市民の日常生活における健康づくりを支援するため、健康に関する情報の提供や相談、各種教室などの事業の充実を図っていく必要があります。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	72.8%	73.8%	74.8%	75.8%	76.8%
成果指標の実績値	-	66.6%	74.1%	72.3%	71.5%
達成率	-	90.2%	99.1%	95.4%	93.1%
決算額(千円)	8,680	3,226	2,757	3,367	2,894

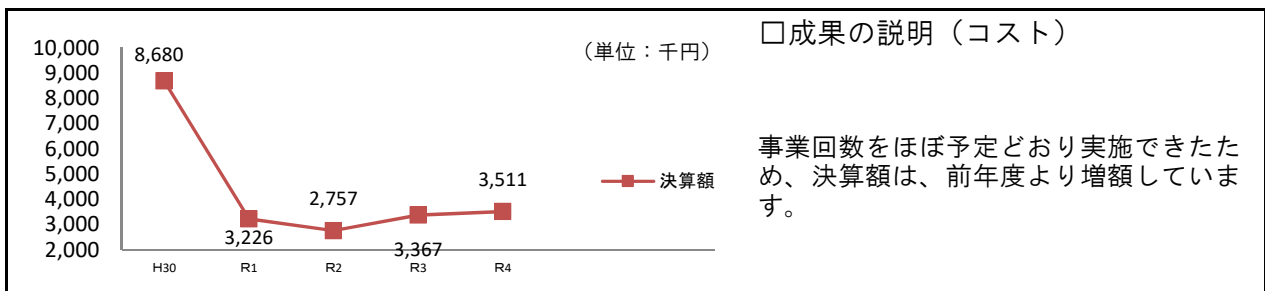
1 心身ともに健康だと感じている、またはどちらかといえば感じている市民の割合（市民意識調査）



2 健康づくり事業参加者数



3 決算額の推移



令和4年度の評価	感染対策に配慮しながら事業回数、内容をコロナ前に近づけるよう工夫するとともに、市民が各自で健康づくりに取り組めるよう、WebやSNS等を活用して時節に合わせた健康情報の発信を行うことで、健康教育及び健康相談参加者数が増加しましたが、市民意識調査結果は前年を下回りました。新型コロナウイルス感染症に対する不安の影響もあると考えますが、市民が安心して事業に参加できる体制づくりや必要な情報を取得しやすい環境づくりの一層の工夫を行っていきます。	
今後の方向性	現状維持	引き続き市民が健康づくりに関心を持ち、健康を意識した行動がとれるよう情報発信の充実、事業の評価・見直しを図り事業を運営していきます。

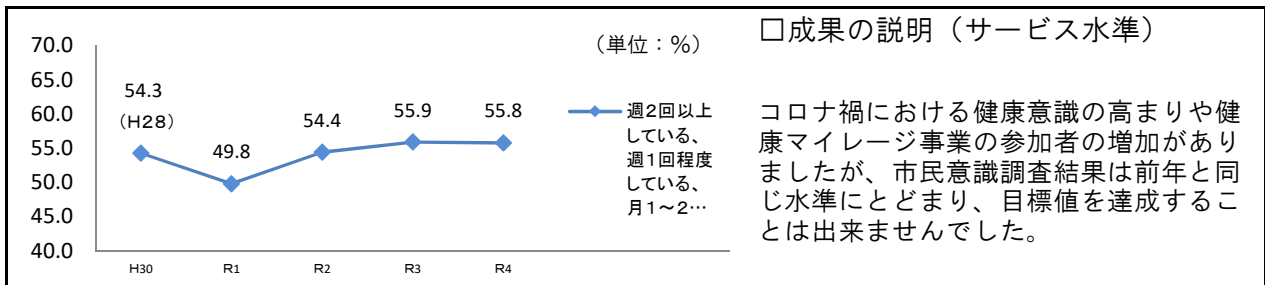
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

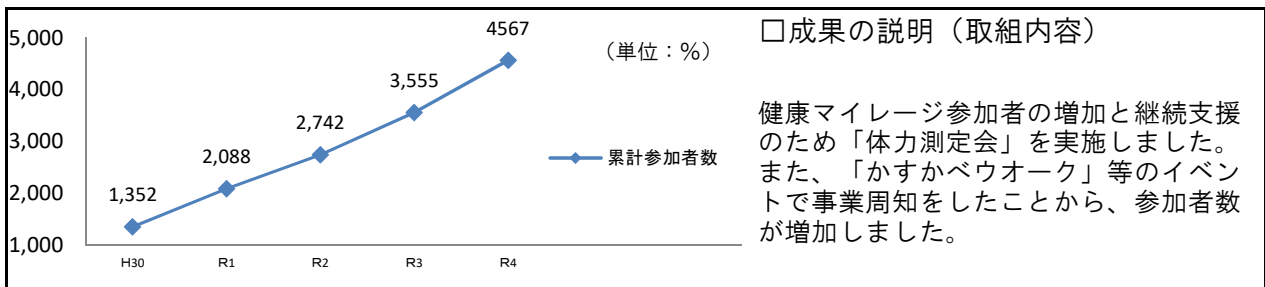
施策番号	2-4-1	実施計画No.	52	重点プロジェクトNo.	①-39	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	健康マイレージ事業					課名	健康課	
事業内容	生活習慣病の増加等の健康課題に対し、ウォーキング等により健康づくりを促し、市民の健康増進を図ります。					事業開始年度	平成30年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	意識的に運動を週2回以上している、週1回程度している、月1～2回程度している市民の割合（市民意識調査）				現状値 (令和2年度)	54.4% (令和2年度)		
現状と課題	健康への意識は高まっているものの、全体の43%が意識的な運動を「ほとんどしていない」と回答しており、特に壮年期の運動習慣のない割合が高く、生活習慣病の予防への取り組みが必要となっています。青年期から運動習慣を身につけられるよう事業を展開することが必要です。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	—	—	55.4%	56.4%	57.4%
成果指標の実績値	—	49.8%	54.4%	55.9%	55.8%
達成率	—	—	98.2%	99.1%	97.2%
決算額(千円)	4,886	2,564	2,662	3,133	2,769

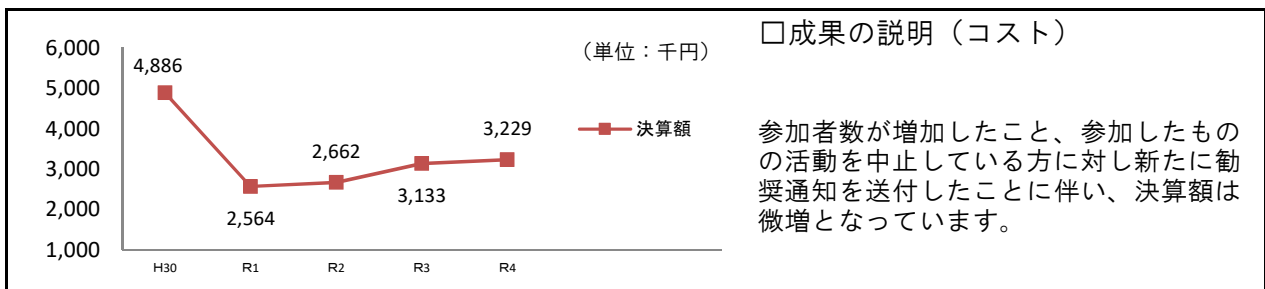
1 健康維持・増進のために、意識的に運動（週2回以上、週1回程度、月1～2回程度）をしている市民の割合（市民意識調査）



2 健康マイレージ事業累計参加者数



3 決算額の推移



令和4年度の評価	新たに6か月間の生活改善プログラム「体力測定会」を実施したところ、参加者の満足度は100%でした。事業参加者は順調に増加し、これまで課題であった参加者の活動率が49.6%（前年度比2.5%増）に改善し、市民意識調査結果は目標値に近い実績となりました。今後も参加者拡大のため、事業の魅力が増す工夫を図る他、年代に応じた参加者フォローが必要と考えています。	
今後の方向性	現状維持	ウォーキングの継続による効果を発信するとともに、魅力的なイベントを企画し参加者の増加を図ります。また、活動継続フォローの1つとして、地域のウォーキング活動拠点との事業連携を行います。

【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

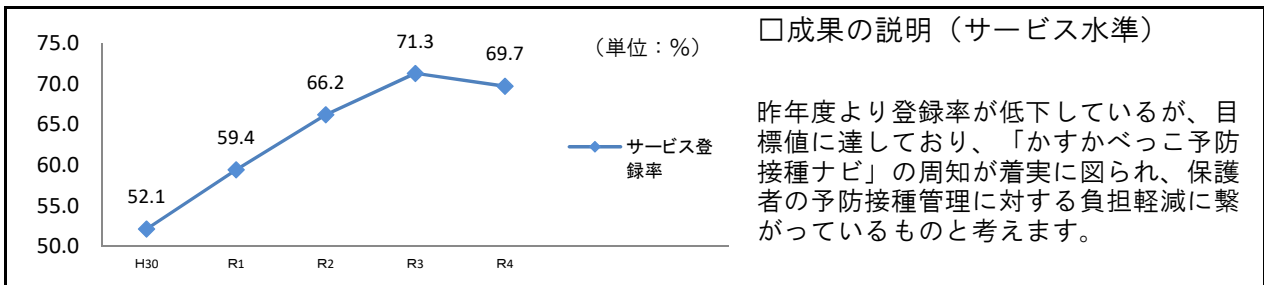


◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

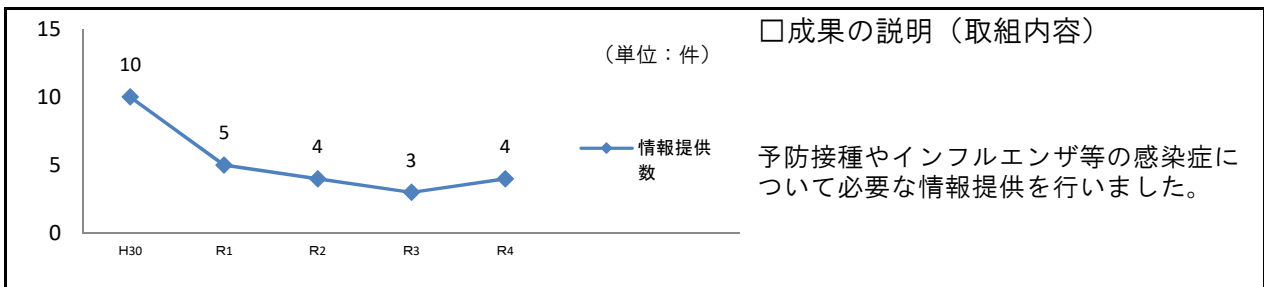
施策番号	2-4-2	実施計画No.	54	重点プロジェクトNo.	①-40	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	子ども健康情報発信事業					課名	健康課	
事業内容	子どもの予防接種の複雑化による保護者の負担軽減のため、ICT活用により予防接種情報等を提供します。					事業開始年度	平成27年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	予防接種情報提供サービス登録率（0歳～6歳）					現状値 (平成29年度)	42.3%	
現状と課題	子どもの予防接種の種類が増加、複雑化しており、接種間違いの防止や保護者の負担軽減が求められています。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	48.0%	54.0%	56.0%	58.0%	60.0%
成果指標の実績値	52.1%	59.4%	66.2%	71.3%	69.7%
達成率	108.5%	110.0%	118.2%	122.9%	116.2%
決算額(千円)	1,248	1,259	1,271	1,271	1,271

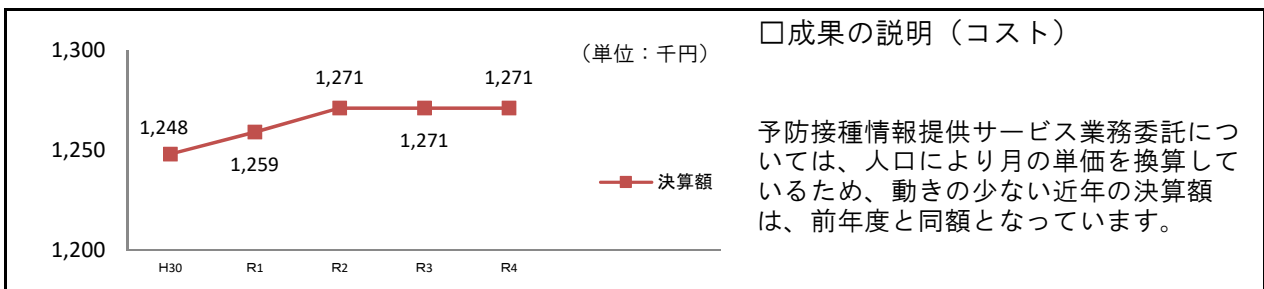
1 予防接種情報提供サービス登録率（0歳～6歳）



2 情報提供数



3 決算額の推移



令和4年度の 評価	出生されたお子様あてに予防接種の綴りを送付する際や、子育て世代包括支援センターでの転入受付時において、「かすかべっこ予防接種ナビ」への登録を積極的に呼びかけることにより、目標値を上回ることができました。	
今後の 方向性	現状維持	目標値は達成できたものの、前年度より全体の登録率が低下していることから、今後も、子どもの予防接種スケジュール管理への保護者の負担軽減を図るため、あらゆる機会を生かしながら、引き続き登録への周知を実施していきます。

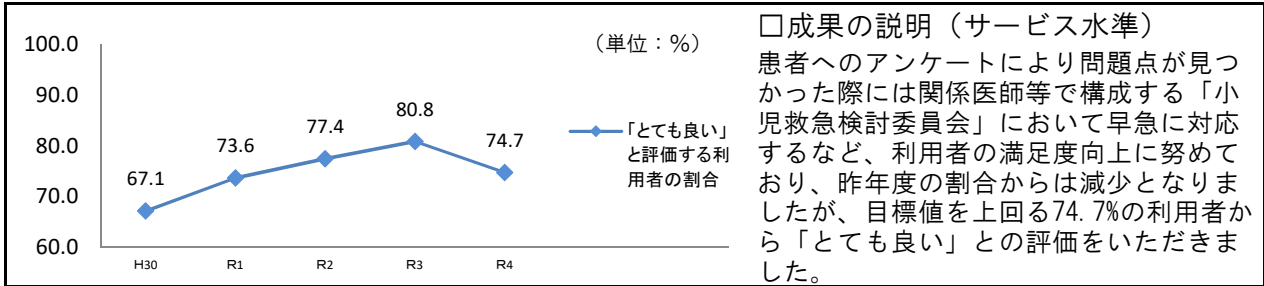
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

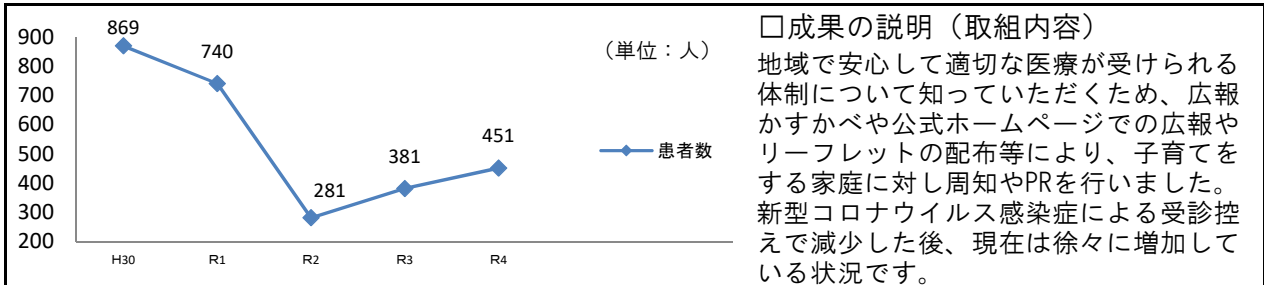
施策番号	2-4-4	実施計画No.	56	重点プロジェクトNo.	①-41	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	小児救急医療運営事業					課名	健康課	
事業内容	小児救急患者のため、緊急な医療が必要とされる一次救急医療体制および緊急入院の必要な二次救急医療体制の整備を実施します。					事業開始年度	平成28年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	小児救急夜間診療所において「とても良い」と評価する利用者の割合					現状値 (平成29年度)	65.7%	
現状と課題	平成28年7月1日より「小児救急夜間診療所」を開設しました。今後も小児初期救急医療体制の維持継続により、だれもが地域で安心して適切な医療が受けられるよう、引き続き関係機関との連携を強化していく必要があります。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	71.2%	71.2%	71.2%	71.2%	71.2%
成果指標の実績値	67.1%	73.6%	77.4%	80.8%	74.7%
達成率	94.2%	103.4%	108.7%	113.5%	104.9%
決算額(千円)	42,584	42,558	45,675	44,022	44,025

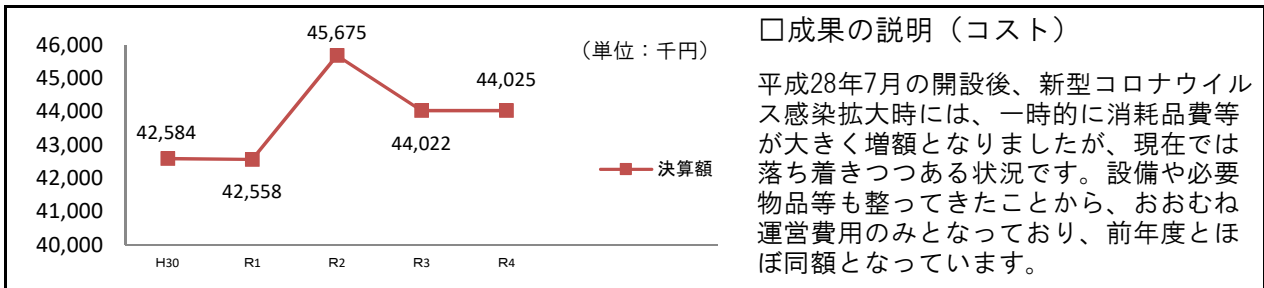
1 小児救急夜間診療所において「とても良い」と評価する利用者の割合



2 小児救急夜間診療所を受診した延患者数



3 決算額の推移



令和4年度の評価	平成28年7月1日の開設から7年目を迎えた「春日部市小児救急夜間診療所」では、市内の子育て世帯が安心して生活ができるよう、安定した運営の継続により平日夜間の小児一次救急医療を担っています。「とても良い」と評価する利用者の割合は前年度から減少しましたが、目標値は上回っており、また、「良い」と評価する利用者（19.9%）を含めた割合は94.6%となることから、一定程度以上の安心感・満足感を提供できたものと考えます。	
今後の方向性	現状維持	アンケート調査の結果等も踏まえ、子育て世帯のニーズに寄り添った診療所として安心して医療が受けられるよう、引き続き、関係機関と連携を図りながら円滑な運営に努めていきます。

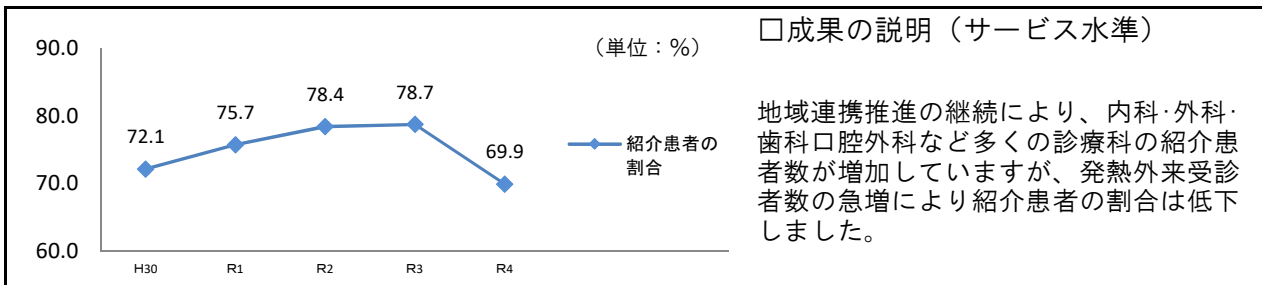
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

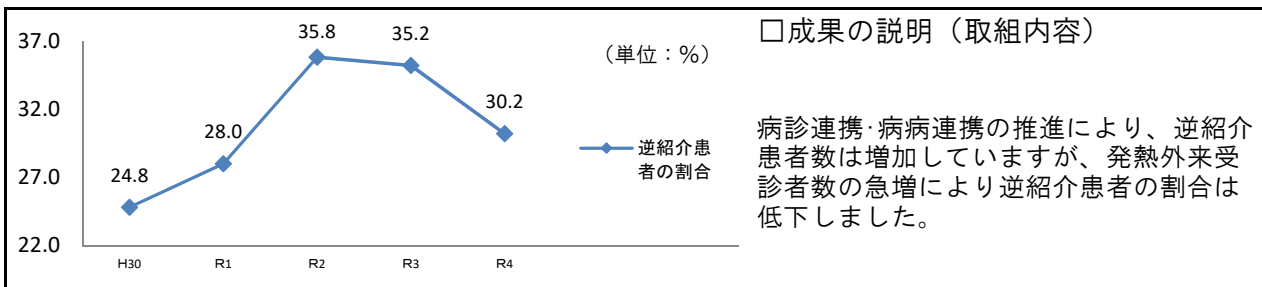
施策番号	2-4-5	実施計画No.	59	重点プロジェクトNo.	①-42	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	春日部市病院事業					課名	経営財務課	
事業内容	市民の健康保持に必要な医療を提供します。					事業開始年度	平成20年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	紹介患者の割合				現状値 (平成29年度)	70.6%		
現状と課題	市立医療センターは地域で不足している専門的、かつ重要度の高い領域の医療活動に取り組んでいます。市民の皆さまが住み慣れた地域で安心して暮らしていくためには、市内での医療体制の充実が不可欠です。当センターは地域の医療機関全体で切れ目のない医療を支える基幹病院としての役割を担うことが求められています。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	70.0%	75.0%	75.0%	75.0%	75.0%
成果指標の実績値	72.1%	75.7%	78.4%	78.7%	69.9%
達成率	103.0%	100.9%	104.5%	104.9%	93.2%
決算額(千円)	10,496,891	11,287,285	11,547,576	11,924,487	

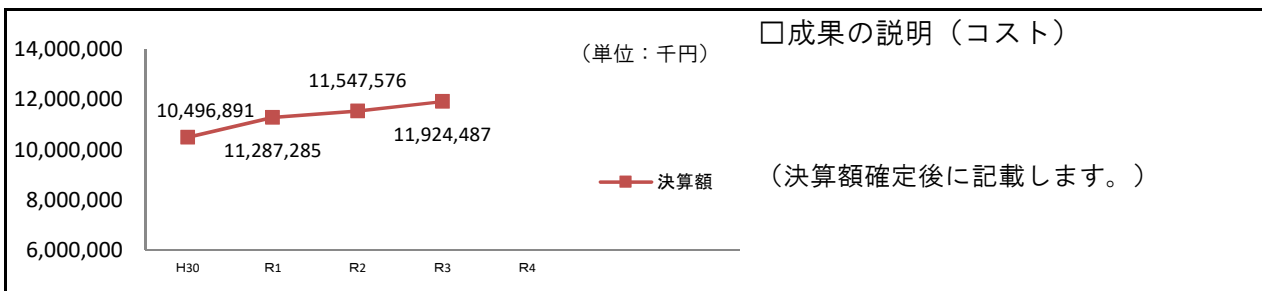
1 紹介患者の割合



2 逆紹介患者の割合



3 決算額の推移



令和4年度の評価	発熱外来受診者数の急増により紹介患者・逆紹介患者の割合は低下しましたが、地域連携推進の成果として紹介患者数・逆紹介患者数は増加しているため、概ね良好と考えています。	
今後の方向性	現状維持	引き続き病診連携・病病連携を進めるとともに、救急医療体制の強化と新規入院患者を増やす取組を実施していきます。

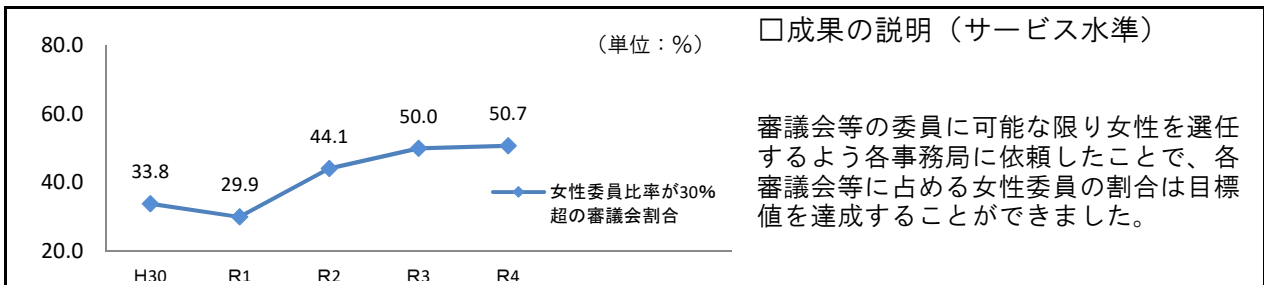
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

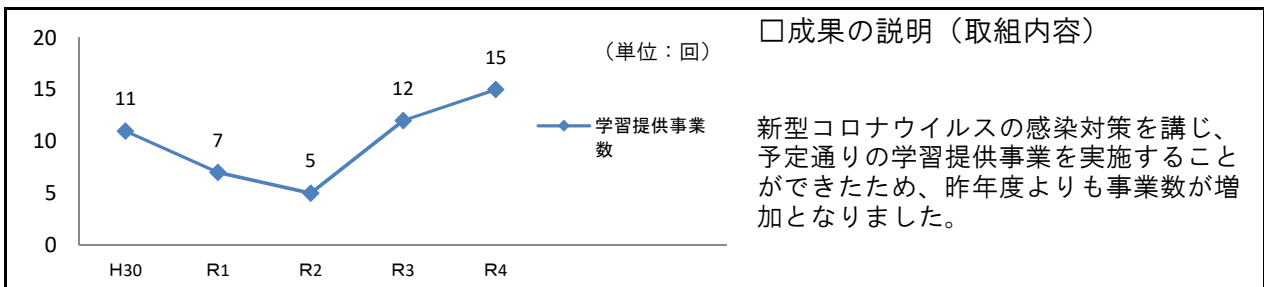
施策番号	3-2-2	実施計画No.	74	重点プロジェクトNo.	①-43	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	男女共同参画推進センター運営事業					課名	市民参加推進課	
事業内容	春日部市男女共同参画推進センターを管理運営するとともに、男女共同参画を推進するための情報・学習機会の提供及び相談業務の充実を図り、市民参加による交流事業を行います。					事業開始年度	平成17年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	各種委員会・審議会に占める女性委員比率が30%を超える審議会の割合				現状値 (平成29年度)	35.4%		
現状と課題	女性の社会進出の機会の増大及び男女平等に向けた法整備が進んでいますが、男女の固定的な役割分担意識による女性の登用機会の損失があるため、これらを解消するための意識啓発を行っていく必要があります。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	38.5%	41.5%	44.5%	47.5%	50.0%
成果指標の実績値	33.8%	29.9%	44.1%	50.0%	50.7%
達成率	87.8%	72.0%	99.1%	105.3%	101.4%
決算額(千円)	45,270	47,462	76,040	46,995	48,637

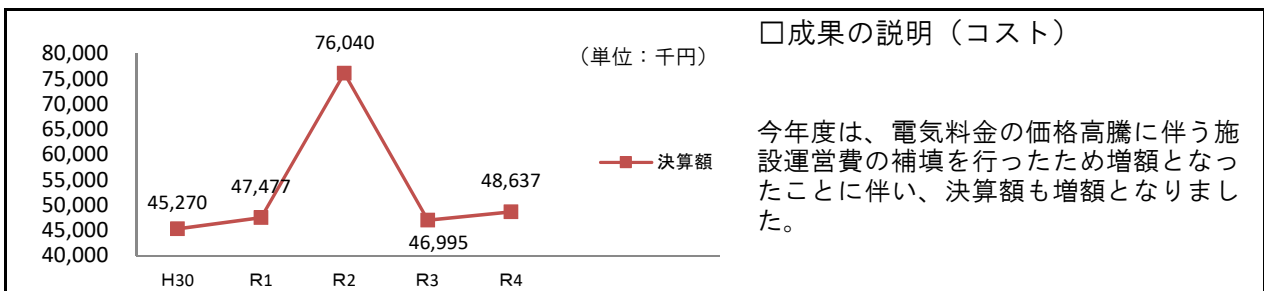
1 各種委員会・審議会に占める女性委員比率が30%を超える審議会の割合



2 男女共同参画の推進に資する学習提供事業数



3 決算額の推移



令和4年度の 評価	審議会等の委員に可能な限り女性を選任するよう各事務局に依頼したことで、各審議会等に占める女性委員の割合は、目標値を達成することができました。より多くの市民がまちづくりに参加できる機会の拡充の実現に近づいたものと考えています。	
今後の 方向性	現状維持	審議会等の委員選出の際に、女性委員が占める割合は目標の30%を超えていますが、更に男女共同参画の推進が求められており、引き続き意識啓発を続けていく必要があります。

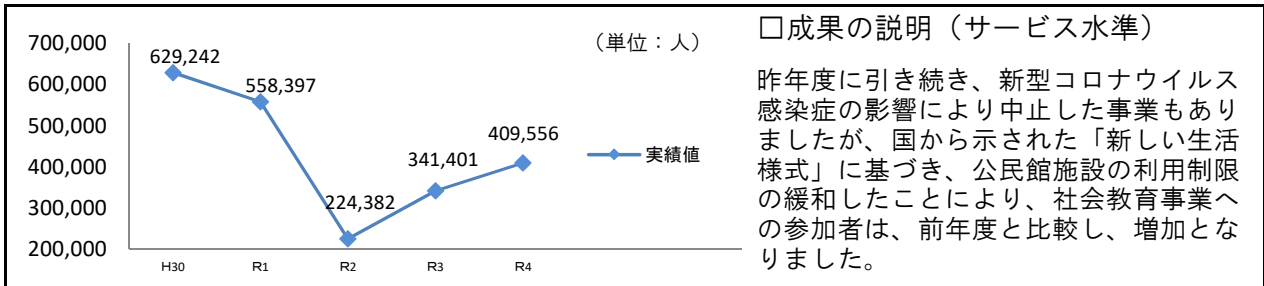
◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

施策番号	3-3-1	実施計画No.	76	重点プロジェクトNo.	①-44	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	公民館運営事業				課名	中央公民館		
事業内容	中央公民館および各地区公民館において、市民の多様な学習ニーズに応えるため、地域にねざした事業を展開し、公民館の事業効果の向上を図るとともに、各種講座の実施や学習情報の提供を行います。				事業開始年度	平成17年度		
					事業見直し年度	令和2年度		
成果指標	社会教育事業への参加者数				現状値 (平成29年度)	634,531人		
現状と課題	社会構造の変化に伴い、地域コミュニティの希薄化が懸念されています。学びを通して人々の交流を活発にし、結びつきを強化するために、学習成果を発表する機会や場の提供など、学習活動を支援する取組が求められています。							

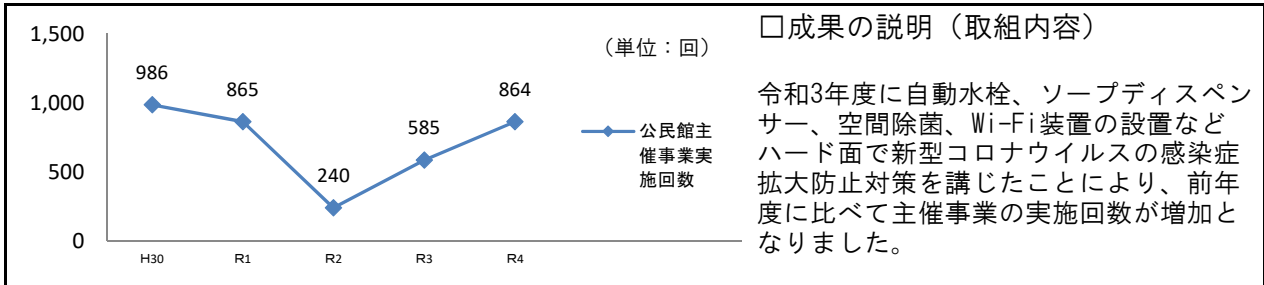
	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	635,000人	636,000人	638,000人	639,000人	640,000人
成果指標の実績値	629,242人	558,397人	224,382人	341,401人	409,556人
達成率	99.1%	87.8%	35.2%	53.4%	64.0%
決算額(千円)	162,373	188,900	250,044	292,791	287,554

※令和3年度の「決算額」については、292,636円(千円)から292,791(千円)へ錯誤のため修正しました。

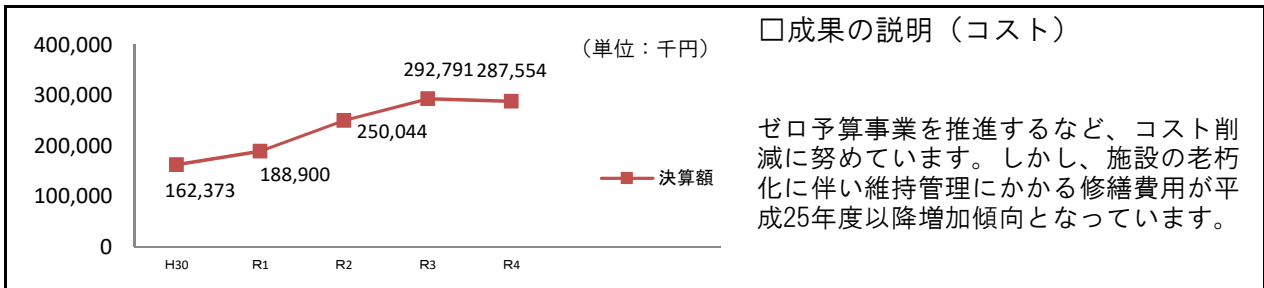
1 社会教育事業への参加者数



2 公民館主催事業実施回数の推移



3 決算額の推移



令和4年度の評価	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一部の主催事業を中止とせざるを得なかったが、感染防止策を講じながら、参加者のスマートフォンを利用した事業（スマホ講座）を増やしたこと、主催事業を再開したこと等により、前年度に比べて増加となりました。	
今後の方向性	見直し	ウィズコロナ・ポストコロナ時代における新たな社会に柔軟に対応した各種事業（青少年リーダー育成等）の展開を図りながら、利用者数の増加を図っていきます。

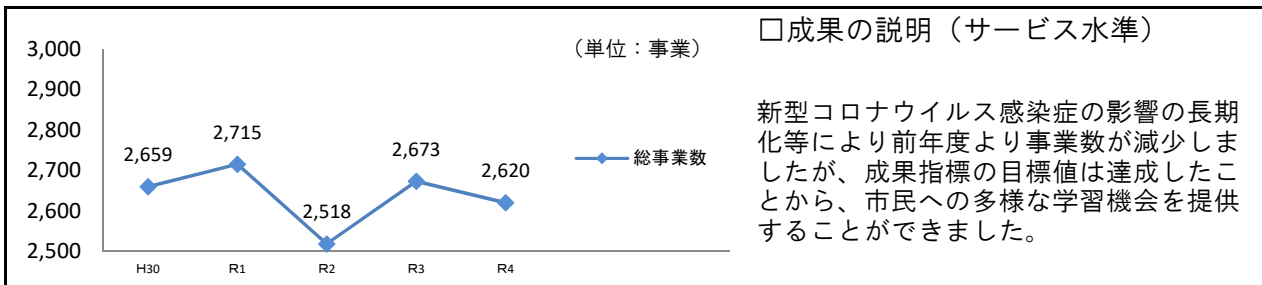
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

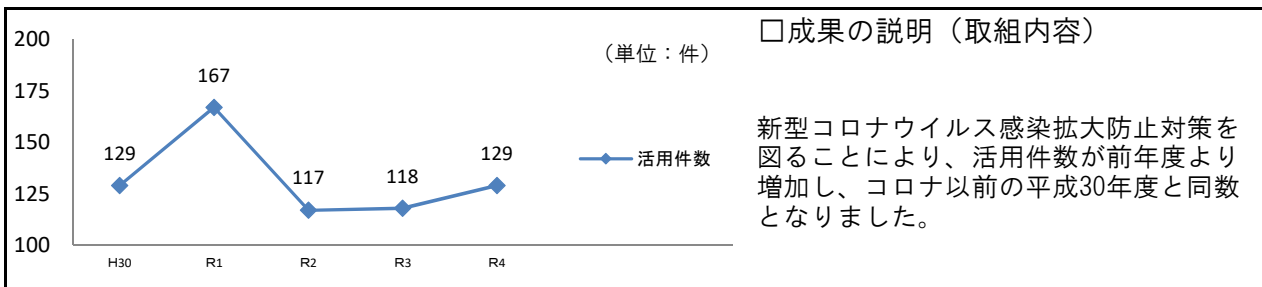
施策番号	3-3-2	実施計画No.	79	重点プロジェクトNo.	①-45	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	生涯学習推進事業					課名	社会教育課	
事業内容	生涯学習関連施策の総合的な推進を図るため、生涯学習推進本部を設置し、さまざまな学習の機会および学習成果の発表の場を提供するものです。					事業開始年度	平成17年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	生涯学習関連事業数				現状値 (平成29年度)	2,464 事業		
現状と課題	新型コロナウイルス感染拡大の影響により、生涯学習関連事業がは前年度を下回りましたが、人材情報登録者の活用件数はコロナ前の平成30年の水準に戻すことができました。今後も市民が安心して事業に参加できるよう対策を図り、より多くの学習機会を市民へ提供していく必要があります。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	2,170 事業	2,190 事業	2,210 事業	2,230 事業	2,250 事業
成果指標の実績値	2,659 事業	2,715 事業	2,518 事業	2,673 事業	2,620 事業
達成率	122.5%	124.0%	113.9%	119.9%	116.4%
決算額(千円)	1,018	620	471	641	598

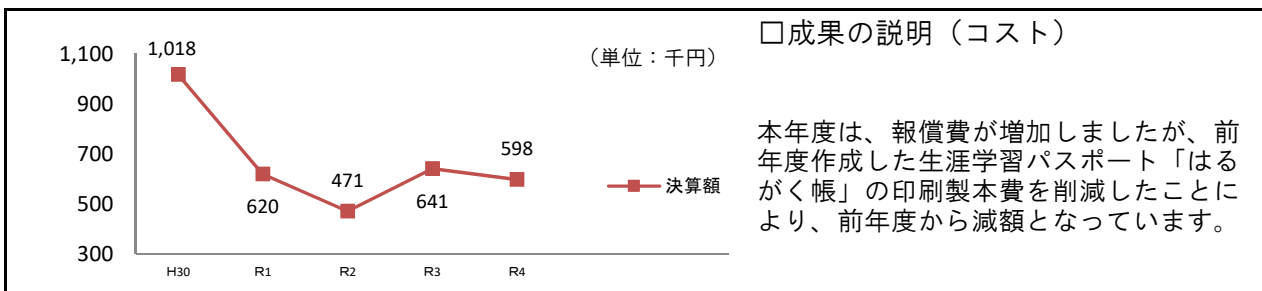
1 生涯学習関連事業数



2 生涯学習人材情報登録者の活用件数



3 決算額の推移



令和4年度の 評価	本年度は、生涯学習関連事業数が前年度から減少しましたが、生涯学習人材情報登録者の活用がコロナ前の平成30年度の水準に回復した状況から、学習機会の充実に努めることができたと考えています。	
今後の 方向性	現状維持	今後も市民が安心して様々な講座を受講でき、市民の新しいニーズを踏まえた学習の提供と機会の充実に努めていきます。

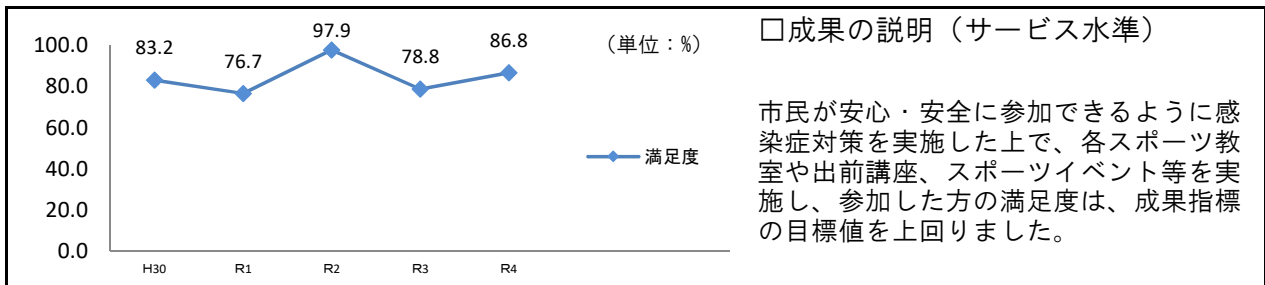
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

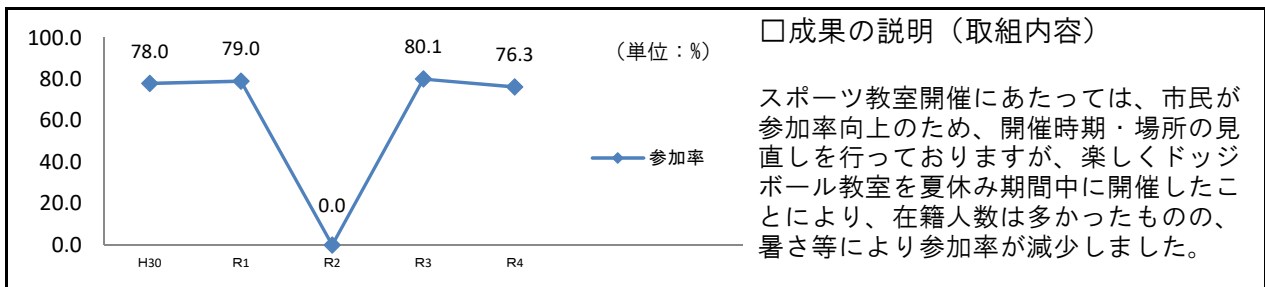
施策番号	3-5-1	実施計画No.	86	重点プロジェクトNo.	①-46	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	体育総務事務				課名	スポーツ推進課		
事業内容	スポーツ推進審議会の運営、創意工夫による各種スポーツ教室や地域の協力によるイベントの実施、指導者の育成、市民へのスポーツ・レクリエーション活動における機会や指導者の提供などにより、本市の生涯スポーツの普及推進を図ります。					事業開始年度	平成17年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	スポーツ教室やイベントの満足度				現状値 (平成29年度)	86.5%		
現状と課題	新型コロナウイルス感染症の影響により、事業の中止、延期、縮小を余儀なくされている状況となっています。感染防止対策を実施し、国等の通知、各種ガイドラインに即した内容で、安心・安全な事業の開催が求められます。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	67.8%	69.8%	71.8%	73.8%	75.8%
成果指標の実績値	83.2%	76.7%	97.9%	78.8%	86.8%
達成率	122.7%	109.9%	136.4%	106.8%	114.5%
決算額(千円)	376	371	72	306	544

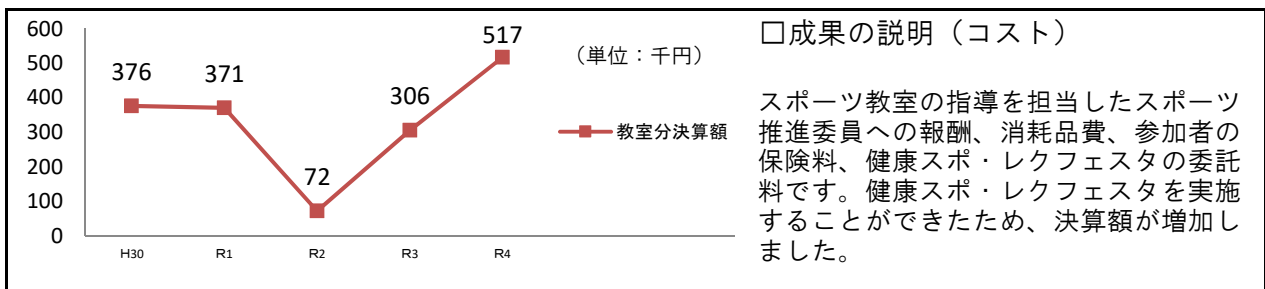
1 スポーツ教室やイベントの満足度



2 スポーツ教室の参加率の推移



3 決算額の推移



令和4年度の評価	本年度は、「スポーツ教室やイベントの満足度」については、毎年活動内容の見直しを図っていること及び感染防止対策を実施して開催したことにより、目標値を上回りました。今後も、開催内容の見直しを図るとともに、感染防止対策を実施し、国等の通知、各種ガイドラインに即した事業の開催に取り組めます。	
今後の方向性	現状維持	新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえつつ、参加者や講師など、すべての人が安心・安全に参加できるスポーツ教室及びイベントの運営方法を検討しながら、事業を実施していきます。

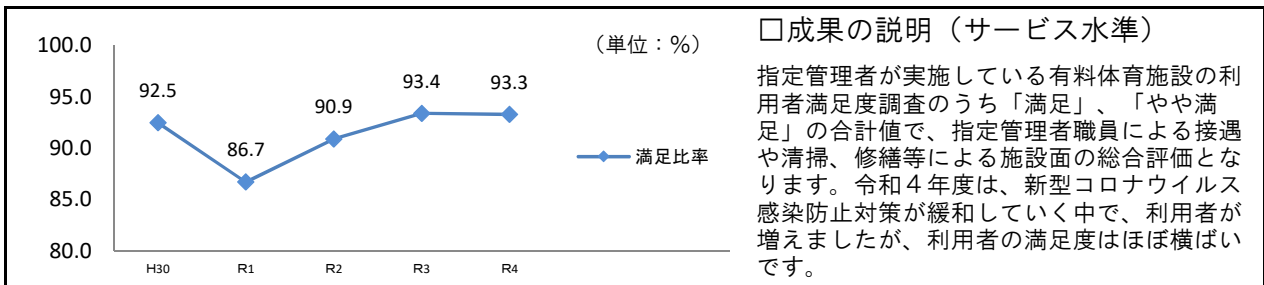
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

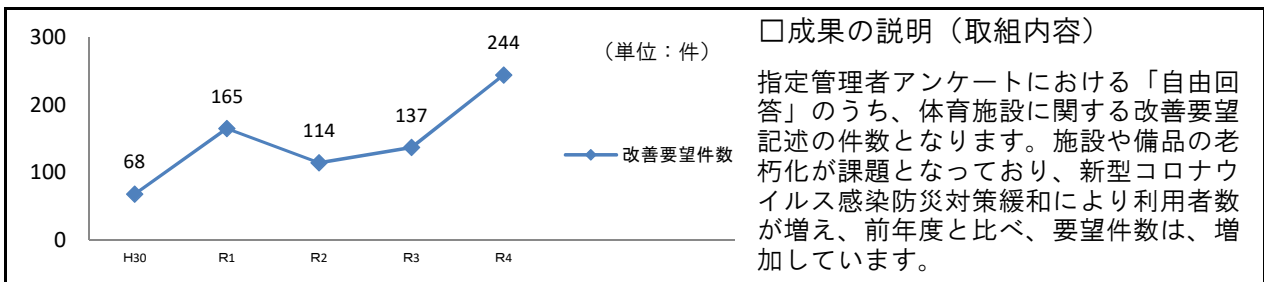
施策番号	3-5-1	実施計画No.	88	重点プロジェクトNo.	①-47	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	体育施設運営事業					課名	スポーツ推進課	
事業内容	体育施設の適切な管理運営を行うことで、安全かつ快適なスポーツ・レクリエーション活動の場を提供し、本市の生涯スポーツの普及推進を図ります。					事業開始年度	平成30年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	市の有料体育施設の満足度					現状値 (平成29年度)	87.5%	
現状と課題	有料体育施設については、民間企業のノウハウを活用した市民サービスの向上を図るため、指定管理者制度を導入し、一定の評価を得ていますが、有料体育施設の多くは老朽化が進んでおり、必要な修繕や改修を計画的に行い、今後もさらなる適正な管理運営を行う必要があります。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	97.7%	97.8%	97.9%	98.0%	98.1%
成果指標の実績値	92.5%	86.7%	90.9%	93.4%	93.3%
達成率	94.7%	88.7%	92.8%	95.3%	95.1%
決算額(千円)	247,205	274,463	265,136	308,825	307,207

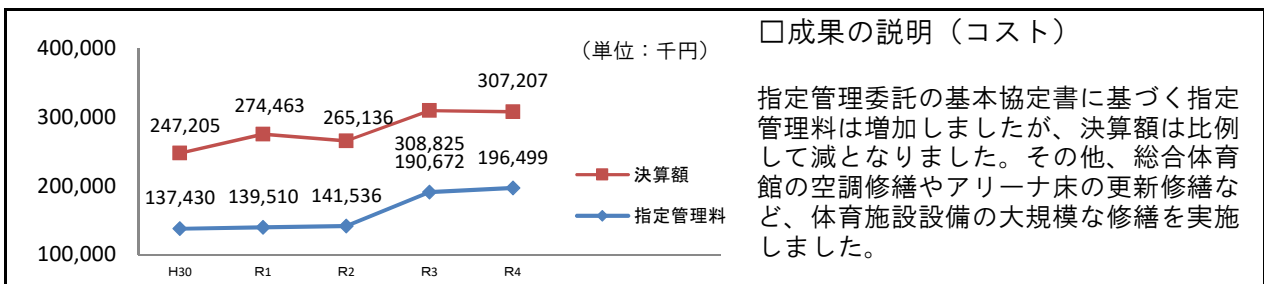
1 市の有料体育施設の満足度の推移



2 指定管理者による利用者アンケートにおける改善要望件数の推移



3 決算額の推移



令和4年度の評価	利用者が安全かつ有効な利用ができるよう維持管理及び総合体育施設の段階的な整備の推進、さらに、有料体育施設の指定管理者による管理・運営については、管理の適正を期するために継続監視を実施し、必要に応じて、指定管理者との協議及び改善指導に取り組みました。また、新型コロナウイルス感染症の影響による施設利用の制限がある中で、徹底した感染防止対策を実施したことから、利用者の満足度は前年度に比べて向上し、改善要望件数は増加しております。	
今後の方向性	現状維持	今後は、引き続き計画どおり事業を継続してまいります。体育施設の修繕について、指定管理者と連携を密にしながら計画的に行います。また、体育施設を有効かつ効果的に利用できるよう指定管理者と連携し、新型コロナウイルス感染症の第5類への引き下げを踏まえつつ、一般利用と広域的な大会などとの利用調整を含め、施設利用を促進してまいります。

【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

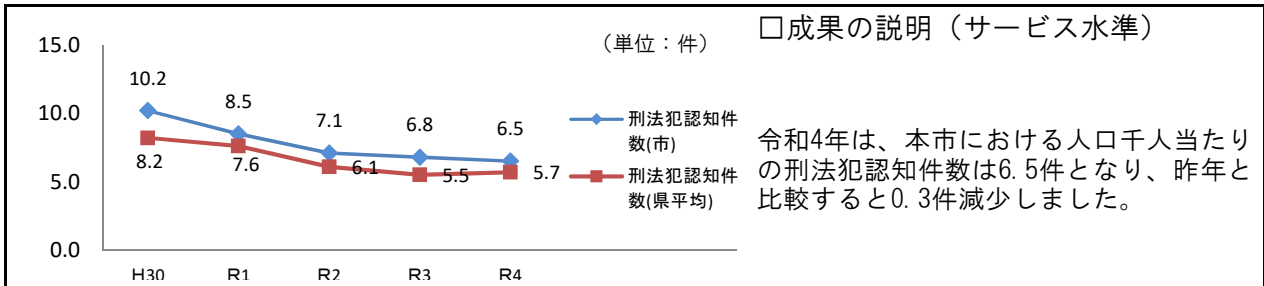


◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

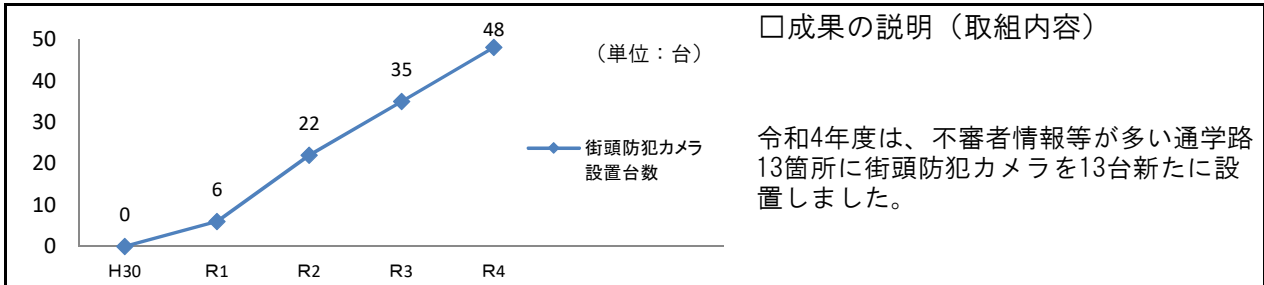
施策番号	4-3-1	実施計画No.	107	重点プロジェクトNo.	①-48	③-100	補助金No.	-	
事業名 (補助金名)	通学路における街頭防犯カメラ設置事業					課名	交通防犯課		
事業内容	犯罪の未然防止を図り、登下校時のさらなる安全に寄与するため、市内小学校の通学路に街頭防犯カメラを設置します。					事業開始年度	平成30年度		
						事業見直し年度	令和2年度		
成果指標	人口千人当たりの刑法犯認知件数					現状値 (平成29年)	9.7件		
現状と課題	本市における人口千人当たりの刑法犯認知件数（犯罪率）は、令和4年が6.5件で、前年より0.3件減少していますが、県平均の5.7件を上回っています。各種施策の推進により市民一人ひとりの防犯意識を向上させ、犯罪の発生件数の減少を目指します。								

	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
成果指標の目標値	9.6件	9.5件	9.4件	9.4件	9.3件
成果指標の実績値	10.2件	8.5件	7.1件	6.8件	6.5件
達成率	94.1%	111.8%	132.4%	138.2%	143.1%
決算額(千円)	0	3,058	13,124	11,715	10,916

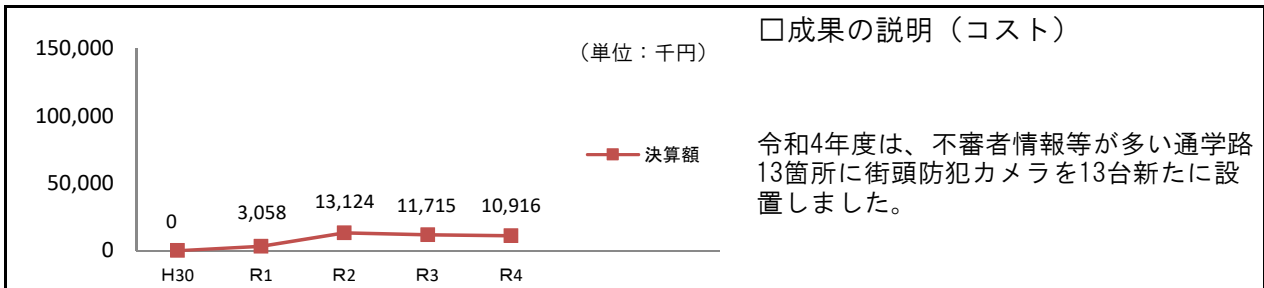
1 人口千人当たりの刑法犯認知件数の推移



2 通学路における街頭防犯カメラ設置台数（累計）



3 決算額の推移



令和4年度の評価	市、警察及び教育委員会による通学路合同点検で抽出した危険箇所や不審者情報等が多い通学路13箇所にて13台の街頭防犯カメラを設置しました。	
今後の方向性	見直し	令和4年度に13箇所にて13台の街頭防犯カメラを設置したことによって、令和元年度から令和4年度の4年間で、市内22小学校及び義務教育学校1校の通学路（学校区）に、概ね2台ずつ、合計46箇所にて48台の街頭防犯カメラを設置する計画が完了した。今後は、令和9年度までに通学路における街頭防犯カメラを概ね1台ずつ増設する。

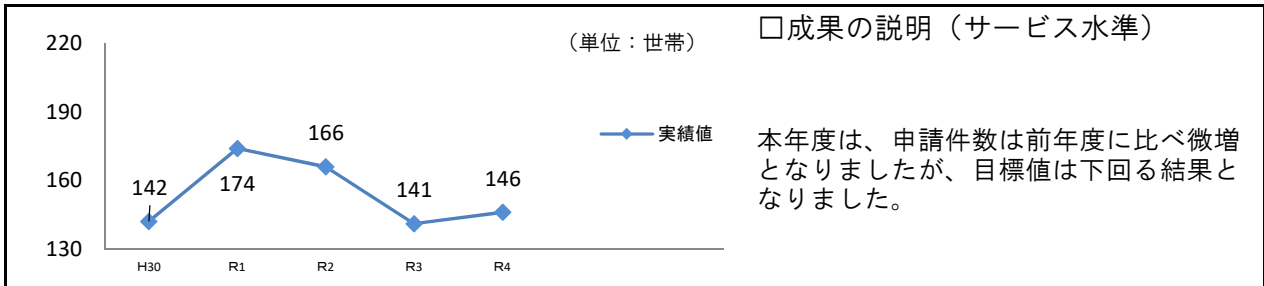
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

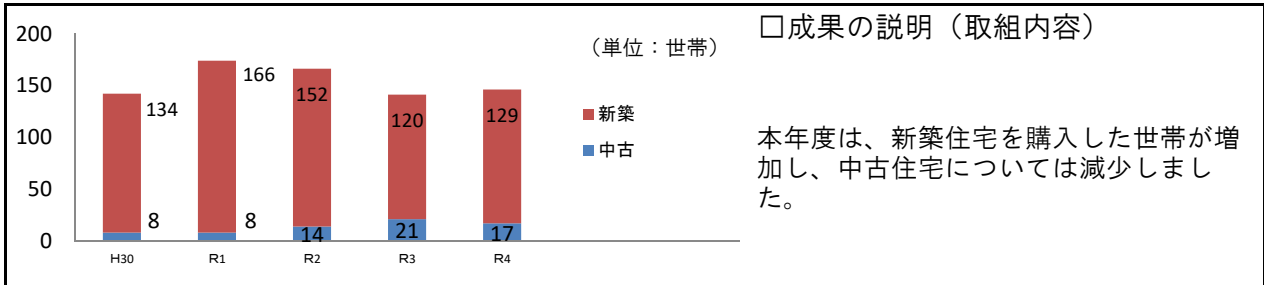
施策番号	6-2-2	実施計画No.	155	重点プロジェクトNo.	①-49	②-75	補助金No.	-	
事業名 (補助金名)	ふれあい家族住宅購入奨励事業					課名	住宅政策課		
事業内容	親世帯と近くに居住するために初めて住宅を取得した子世帯に対し、諸要件を満たした場合に登記費用の一部を支援することで、地域の活性化・定住の促進を図ります。					事業開始年度	平成23年度		
						事業見直し年度	令和2年度		
成果指標	三世代近居をはじめた世帯／年度					現状値 (平成29年度)	195世帯		
現状と課題	申請者の市外からの転入を、いかに増加させるかが課題となっています。また、申請者のうち中古住宅購入者の割合が全体から見て低いため、中古住宅の一層の利用促進を図ることが課題となっています。								

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	196世帯	197世帯	198世帯	199世帯	200世帯
成果指標の実績値	142世帯	174世帯	166世帯	141世帯	146世帯
達成率	72.4%	88.3%	83.8%	70.9%	73.0%
決算額(千円)	23,894	32,130	32,671	25,945	29,366

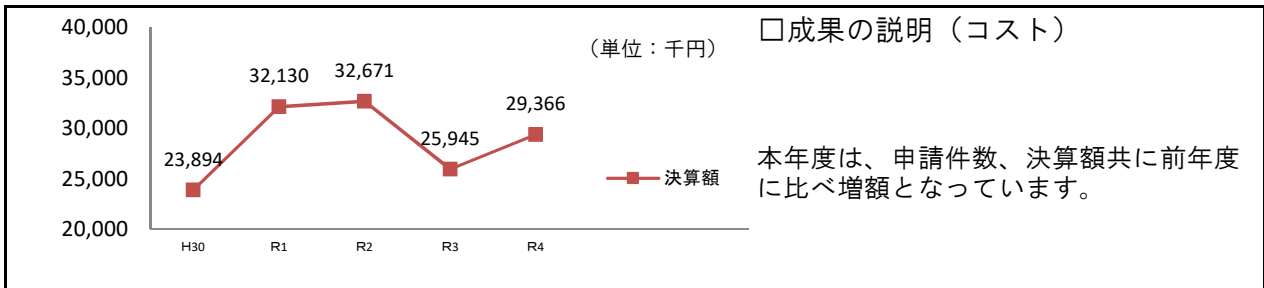
1 三世代近居をはじめた世帯／年度



2 新築住宅・中古住宅を購入した世帯／年度



3 決算額の推移



令和4年度の 評価	本年度は、交付件数は146件と前年度より増加しましたが、目標値（200件）を下回る結果となりました。中古住宅の購入については減少となったことから、より一層、定住の促進及び地域の活性化を図るため、効果的かつ幅広い周知を展開していきます。	
今後の 方向性	現状維持	市外からの転入割合や中古住宅を購入した世帯の増加を図るため、制度の利用を促進し、市公式SNS等の活用により効果的なPRを実施することで、更なる定住の促進・地域の活性化を図っていきます。

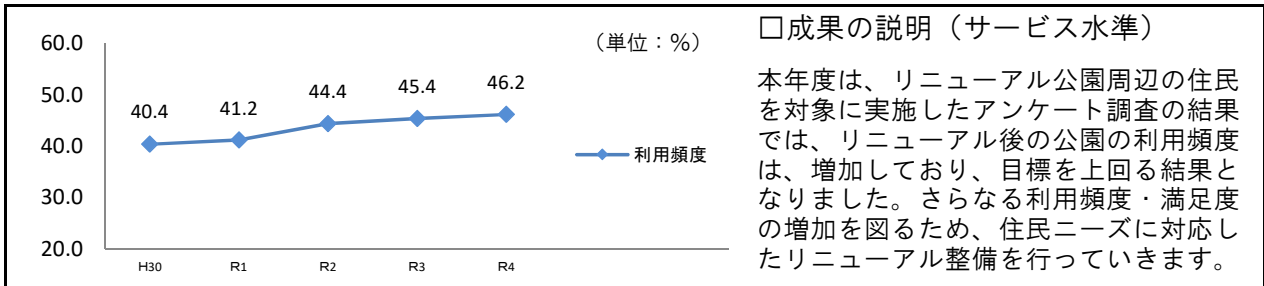
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

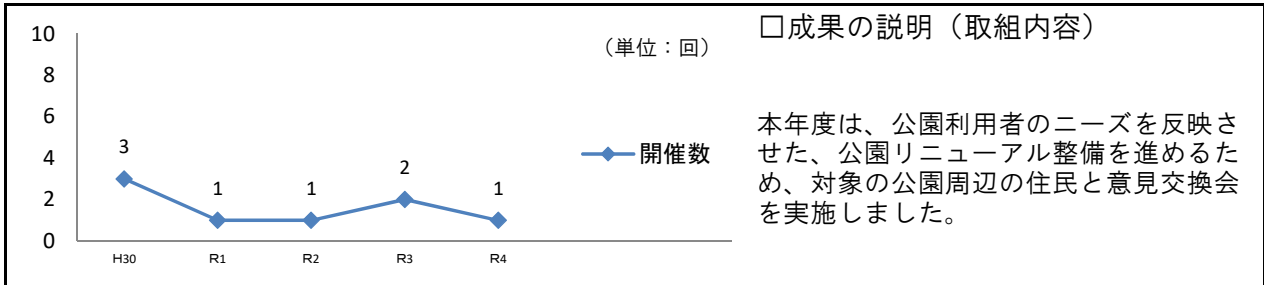
施策番号	6-4-3	実施計画No.	171	重点プロジェクトNo.	①-50	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	子育てふれあい公園リニューアル事業					課名	公園緑地課	
事業内容	子どもから高齢者までが一緒にふれあえる公園として、公園のリニューアルを行います。地域のニーズにあわせた公園の再整備のため、市民参加による公園づくりを行います。					事業開始年度	平成24年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	リニューアル公園の利用頻度増加					現状値 (平成29年度)	42.4%	
現状と課題	公園は住民の多様な余暇活動を支える役割を担っていますが、古くなった公園は、施設の老朽化や十分利用されていない等の課題を抱えております。本市の「子育てしやすいまちの実現」や「高齢社会に対応したまちの実現」のため、住民ニーズに対応した公園の整備が求められています。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	43.4%	44.1%	44.8%	45.5%	46.1%
成果指標の実績値	40.4%	41.2%	44.4%	45.4%	46.2%
達成率	93.1%	93.4%	99.1%	99.8%	100.2%
決算額(千円)	19,224	21,120	21,120	19,358	19,620

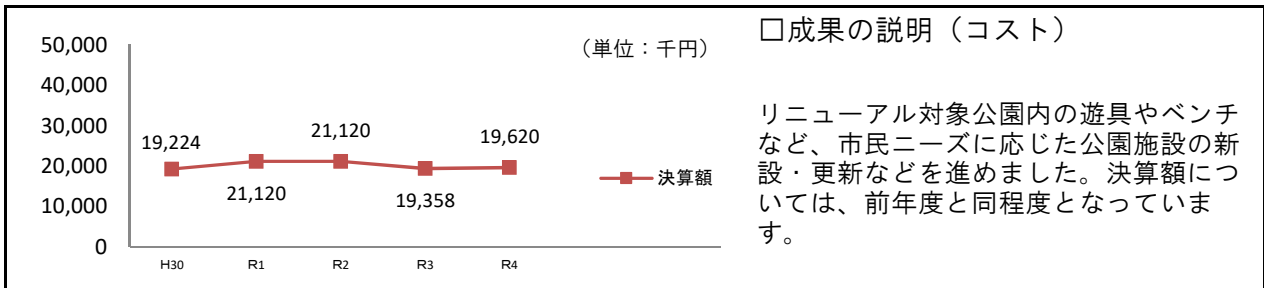
1 リニューアル公園の利用頻度増加



2 再整備実施に伴う意見交換会開催数



3 決算額の推移



令和4年度の 評価	令和4年度は、千間1丁目地内の武里第6公園について、周辺住民へのアンケート調査の実施、意見交換の開催などを行い、住民ニーズに応じた、公園施設の新設・更新などのリニューアルを実施しました。公園施設の更新に加え、市民ニーズに応じた公園リニューアルを進めたことから、公園の魅力が向上するなど、公園の利用頻度も増加したものと考えています。	
今後の 方向性	現状維持	住民にとって「身近な公園」は、年少の子供を抱える子育て家庭や高齢者にとって重要な空間であることから、古くなった公園を、誰もが安心・安全に利用でき、また、利用者ニーズを踏まえるには、大規模な改修が必要となっています。今後も引き続き地区住民の意見を取り入れながら、公園のリニューアルを実施してまいります。

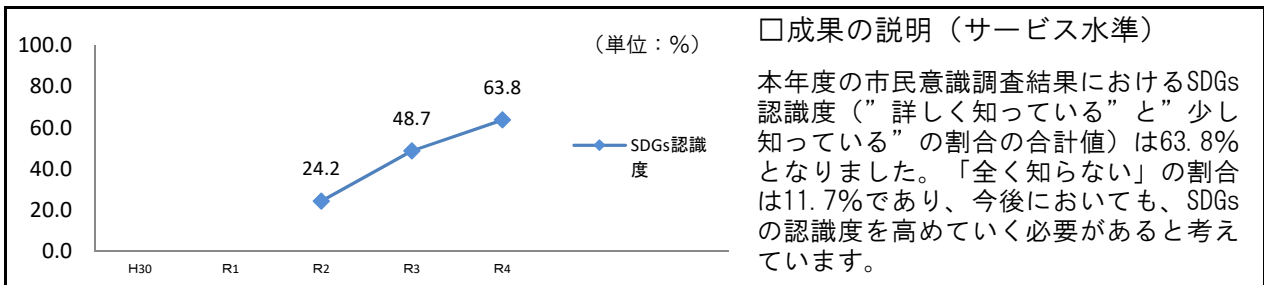
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

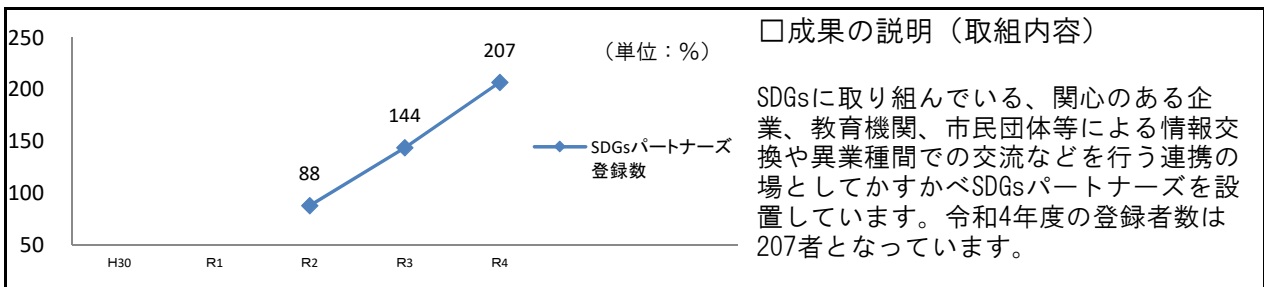
施策番号	7-1-1	実施計画No.	183	重点プロジェクトNo.	①-51 ②-83 ③-122	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	SDGs推進事業				課名	政策課	
事業内容	SDGsの理念を盛り込んだ持続可能なまちづくりを推進するために、SDGsの理念の共有、理解に向けた情報発信・普及啓発に取り組みます。				事業開始年度	令和2年度	
					事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	SDGsの市民認識度				現状値 (令和元年度)	-	
現状と課題	SDGsを推進していくためには、市民をはじめとするすべてのステークホルダーのSDGs認知度を高める必要があります、SDGsの機運醸成を図ることが課題となっています。						

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	-	-	25.0%	40.0%	50.0%
成果指標の実績値	-	-	24.2%	48.7%	63.8%
達成率	-	-	96.8%	121.8%	127.6%
決算額(千円)	-	-	1,510	4,233	1,570

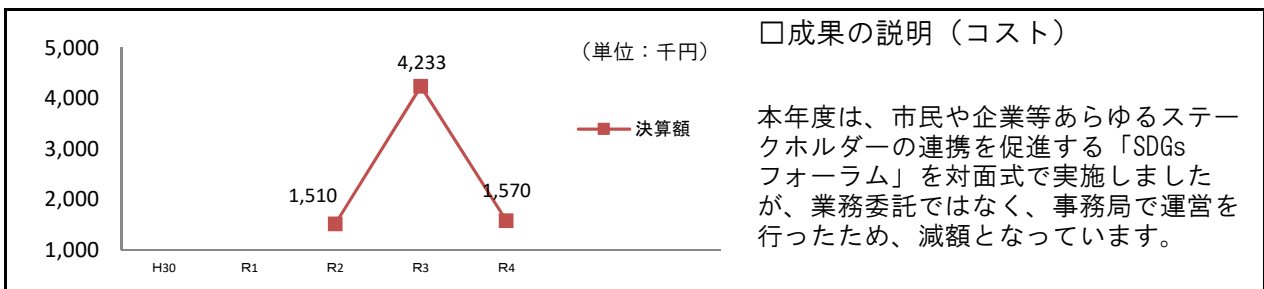
1 SDGs認知度



2 SDGsパートナーズ登録数



3 決算額の推移



令和4年度の評価	本年度は、SDGs理解促進に向けた職員研修の実施やステークホルダー（企業等）の連携に向けた「SDGsパートナーズミーティング」の実施、また、市民一人ひとりのSDGs理解を目的とした講座「SDGsカフェ」の実施、さらに、市民や企業等あらゆるステークホルダーの連携を促進する機会とする「SDGsフォーラム」の実施などを通じ、SDGs理解促進に努めてきました。今後もSDGsの認知度の向上や機運醸成を図る必要があると考えます。	
今後の方向性	現状維持	今後も市民をはじめとするすべてのステークホルダーのSDGs機運醸成を図り、SDGsの理念を盛り込んだ持続可能なまちづくりを推進してまいります。

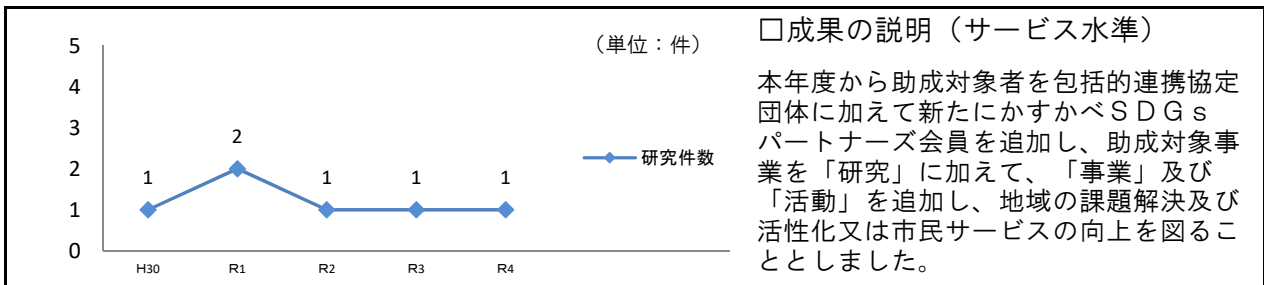
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

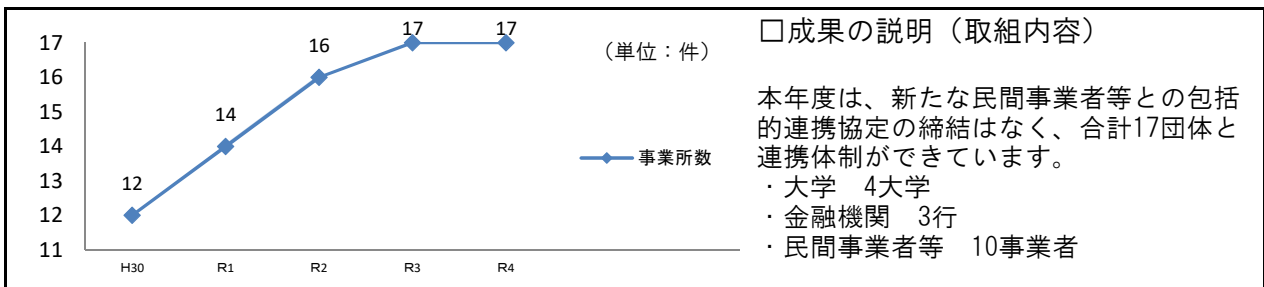
施策番号	7-1-1	実施計画No.	185	重点プロジェクトNo.	①-52	-	補助金No.	2
事業名 (補助金名)	包括的連携推進事業助成補助金					課名	政策課	
事業内容	市と包括的連携協定を締結している大学等が行う市のまちづくりに関する 創意工夫あふれる研究に対し、研究費を助成します。					事業開始 年度	平成20年度	
						事業見直し 年度	令和4年度	
成果 指標	助成対象研究件数				現状値 (平成29年度)	2件		
現状と 課題	近年、大学や民間事業者等において社会貢献活動が重視されており、活動の受け皿となる市の 体制を整え、大学や民間事業者等の持つ知的資産、人的資産等を効果的に活用し、地域の発展 に繋げることが求められています。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	3件	3件	3件	3件	3件
成果指標の実績値	1件	2件	1件	1件	1件
達成率	33.3%	66.7%	33.3%	33.3%	33.3%
決算額(千円)	300	531	283	108	6

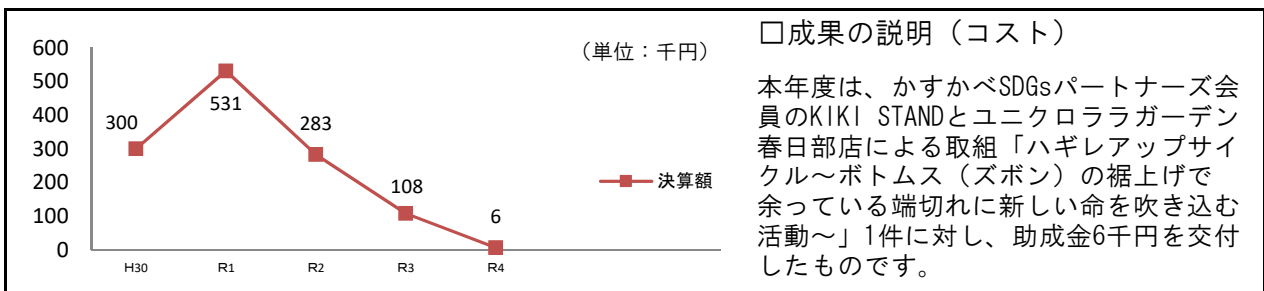
1 助成対象研究件数



2 包括的連携協定締結事業所数



3 決算額の推移



令和4 年度の 評価	本年度は、かすかべSDGsパートナーズ会員のKIKI STANDとユニクロララガーデン春日部店による取組「ハギレアップサイクル～ボトムス（ズボン）の裾上げで余っている端切れに新しい命を吹き込む活動～」の1本が申請され、余っている端切れを通して、アップサイクルの普及啓発とSDGsへの意識を醸成することができたと報告を受けたものです。今後も、本市のまちづくりに対する課題を的確に把握し、連携を強化する必要があると考えています。	
今後の 方向性	現状維持	今後も、包括的連携協定団体やかすかべSDGsパートナーズ会員の様々な視点から、本市のまちづくりに対する研究・事業・活動を行っていただくとともに、それぞれが持つ知的資産、人的資産等を効果的に活用し、地域の発展に繋げてまいります。

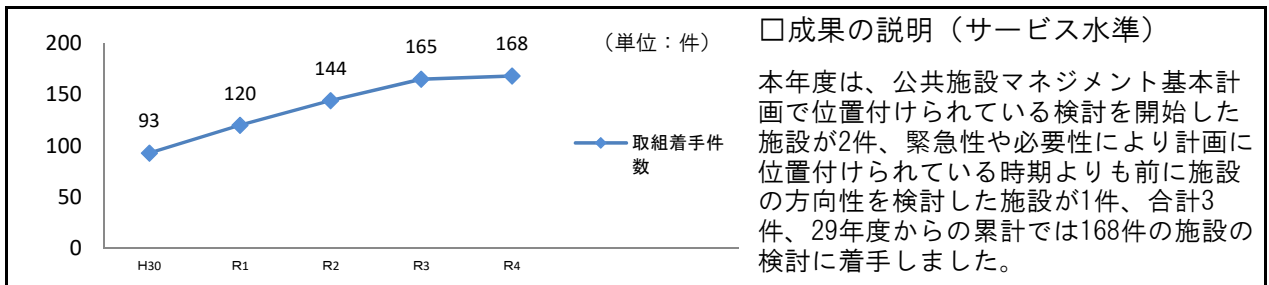
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

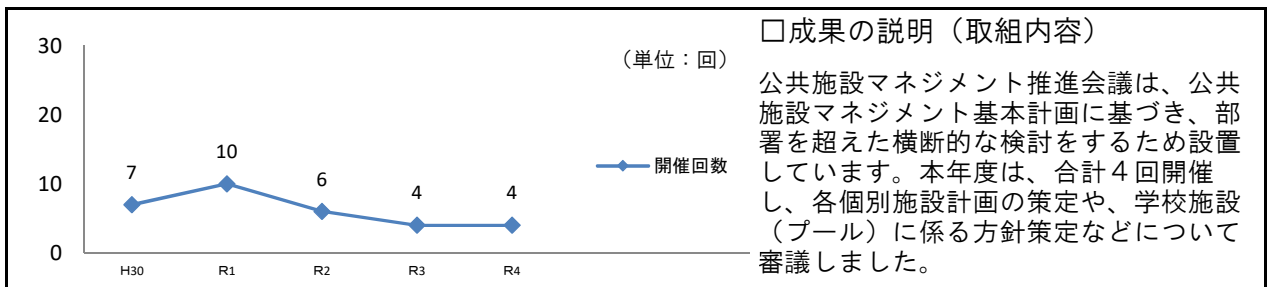
施策番号	7-1-1	実施計画No.	186	重点プロジェクトNo.	①-53	③-123	補助金No.	-	
事業名 (補助金名)	公共施設マネジメント推進事業					課名	公共施設事業調整課		
事業内容	2016年度（平成28年度）に策定した「公共施設マネジメント基本計画」に基づき、計画的・戦略的な公共施設の再編・管理に取り組み、施設総量の適正化や公共施設に要する経費の縮減を図ります。					事業開始年度	平成29年度		
						事業見直し年度	令和2年度		
成果指標	公共施設マネジメント基本計画における工程表の取組着手件数（インフラ除く）					現状値 (平成29年度)	74件		
現状と課題	人口減少、少子高齢化の進行などにより財政状況が厳しさを増していくことが予想される一方で、公共施設の老朽化が進んでおり、今後、集中的に改修や更新時期を迎えます。そのため、今後の公共施設のあり方を検討し、施設再編などに取り組んでいく必要があります。								

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	90件	101件	118件	140件	165件
成果指標の実績値	93件	120件	144件	165件	168件
達成率	103.3%	118.8%	122.0%	117.9%	101.8%
決算額(千円)	84	10,899	320	935	43

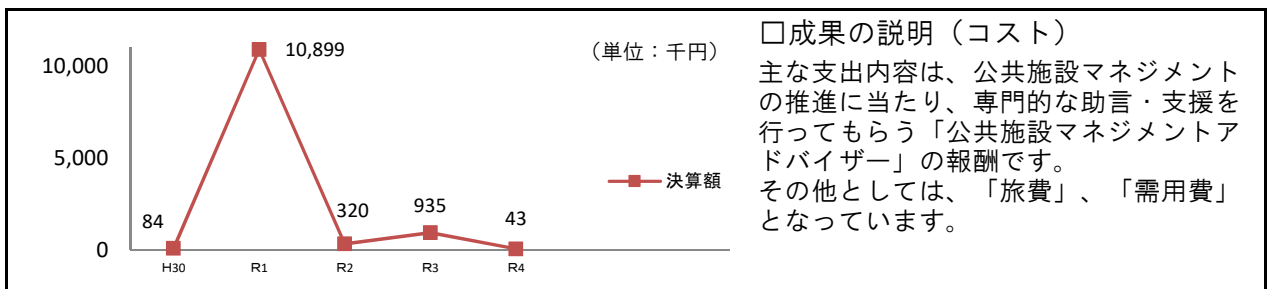
1 公共施設マネジメント基本計画における工程表の取組着手件数（インフラ除く）



2 公共施設マネジメント推進会議の開催回数の推移



3 決算額の推移



令和4年度の評価	本年度は、「春日部市消防本部消防施設整備計画」、「春日部市学校プールの効率的利用に関する方針（案）」、「春日部市庄和市民センター正風館及び庄和高齢者憩いの家 個別施設計画」、「庄和保健センター事業の実施場所の変更及び庄和総合支所の執務室利活用」の各計画について審議しました。これにより方針が確定したことから、本市にとって有意義となる取り組みの推進が図れたものと考えます。		
今後の方向性	現状維持	「公共施設マネジメント基本計画」に基づき、関係機関と連携を図りながら、施設所管部署と共に個別具体的な施設の方向性を検討し、施設再編などに取り組んでまいります。	

【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討